

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。取扱いには十分注意してください。
 - ・平らな場所に立てかけないように保管してください。
 - ・暖房機や焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 設置場所を確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱排気による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
 - ・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはしないでください。
- 人工木は表面に研磨加工処理を施してありますので、床板の施工方向によっては色調に濃淡が出ます。
- デッキ上にフェンス、エクシオール柱等を設置する場合は、必要に応じて、あらかじめ床板補強材を取付けてください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- 施工手順は、「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。
- 市販の研磨紙を利用する際は、60番の研磨紙を用いてください。

樹の木Ⅲ取説区分表

施工手順	使用する取付説明書	取説コード
デッキの施工 束柱施工位置決め	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然浴家族ジーマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー ・ 暖蘭物語ーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー ・ フィリアⅡーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー ・ ココマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー 	E271 E215 E216 E221
デッキの施工 基礎石の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹の木Ⅲ 	E203
デッキの施工 床板補強材の位置出し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然浴家族ジーマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー ・ 暖蘭物語ーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー ・ フィリアⅡーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー 	E271 E215 E216
デッキの施工 床板補強材の取付け～幕板の取付け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹の木Ⅲ 	E203
"内面デッキの施工 柱の建て込み ～内面デッキの取付け"	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然浴家族ジーマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー ・ 暖蘭物語ーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー ・ フィリアⅡーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー ・ ココマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー 	E271 E215 E216 E221

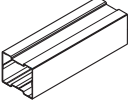

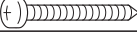

<施工上のご注意>

注意

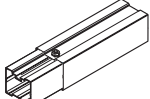

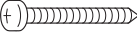

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 束柱の移動範囲は弊社指定範囲にしてください。
- ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。
- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って行なってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

■ 梱包明細表

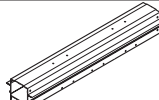
【1】 束柱Aセット

名 称	略 図	員 数			
		1本入り	4本入り	6本入り	9本入り
束柱A		1	4	6	9
束柱固定金具		1	4	6	9
【1-1】 φ5×35セルフタップアンカー		1	4	6	9
【1-2】 φ4×13ナベドリルネジ		5	20	30	45

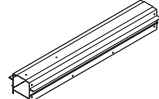
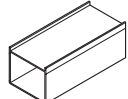

【2】 束柱Bセット

名 称	略 図	員 数		
		1本入り	3本入り	4本入り
束柱B		1	3	4
束柱固定金具		1	3	4
【2-1】 φ5×35セルフタップアンカー		1	3	4
【2-2】 φ4×19ナベドリルネジ		9	27	36

【3】 大引きセット

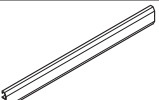

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引き		1	2

【4】 大引き 連棟用

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引き		1	2
大引きスリーブ		1	2
【4-1】 φ4×19ナベドリルネジ		9	17

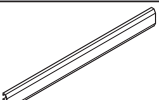

【5】 根がらみ6尺、7尺

オプション



名 称	略 図	員 数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
【5-1】 φ4×19ナベドリルネジ		6	9

【6】 根がらみ8尺、9尺、10尺





オプション

名 称	略 図	員 数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
【6-1】 φ4×19ナベドリルネジ		9	12

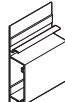




【7】 側面幕板A取付材セット

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
側面幕板A取付材		1	3	5
幕板金具A		1	3	5

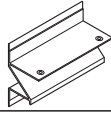



【7】 つづき

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
クッション材		1	3	5
【7-1】 φ5×20トラスタッピン1種		2	6	10
【7-2】 φ4×40サラドリルネジ		4	8	12
【7-3】 φ4×20ナベタッピン2種G=5		4	12	20

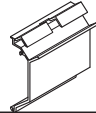


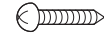


【8】 側面幕板B取付材セット

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
側面幕板B取付材		1	3	5
幕板B取付補助部材		2	4	6
【8-1】 φ4×25サラドリルネジ		6	12	18
【8-2】 φ4×20ナベタッピン2種G=5		4	12	20
【8-3】 φ4×30トラスタッピン1種		4	8	12

【9】 正面幕板A取付材セット (大引き固定用)

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板A取付材 (大引き固定用)		1	3	5
【9-1】 φ5×20トラスタッピン1種		2	6	10
【9-2】 φ4×40サラドリルネジ		4	8	12
【9-3】 φ4×13サラドリルネジ		2	6	10

【10】 正面幕板A取付材セット (床板固定用)

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板A取付材 (床板固定用)		1	3	5
幕板金具A		1	3	5
クッション材		1	3	5
【10-1】 φ5×20トラスタッピン1種		2	6	10
【10-2】 φ4×40サラドリルネジ		4	8	12
【10-3】 φ4×40ナベドリルネジ		2	6	10

梱包明細表つづき

【11】正面幕板B取付材セット（床板固定用）

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板B取付材（床板固定用）		1	4	6
【11-1】φ4×25サラドリルネジ		4	10	14
【11-2】φ4×40ナベドリルネジ		2	8	12

【12】床板縦切り用インナー材

オプション

名 称	略 図	員 数
床板縦切り用インナー材		1
【12-1】φ4×16サラドリルネジ		4

【13】床板セット

名 称	略 図	員 数		
		1本入り	2本入り	3本入り
床板		1	2	3

【14】幕板Aセット

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板A		1	2

【15】幕板Bセット

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板B		1	2

【16】コーナー幕板A取付材セット（角度切り用）

名 称	略 図	員 数
コーナー幕板A取付材		2
幕板金具B		1
【16-1】φ5×20トラスタッピン1種		2
【16-2】φ4×40サラドリルネジ		4
【16-3】φ4×40ナベドリルネジ		2

【17】コーナー幕板B取付材セット（R用/角度切り用）

名 称	略 図	員 数
コーナー幕板B取付材1		1
コーナー幕板B取付材2		2
【17-1】φ4×25サラドリルネジ		4
【17-2】φ4×40ナベドリルネジ		2

【18】幕板Aコーナーキャップセット

名 称	略 図	員 数		
		90°	入隅	フリ-
幕板A90°コーナーキャップ		1	-	-
幕板A入隅コーナーキャップ		-	1	-
幕板AフリーコーナーキャップA		-	-	1
幕板AフリーコーナーキャップB		-	-	1
【18-1】φ4×14サラタッピン1種		4	4	4

【19】幕板Bコーナーキャップセット

名 称	略 図	員 数		
		90°	入隅	フリ-
幕板B90°コーナーキャップ		1	-	-
幕板B入隅コーナーキャップ		-	1	-
幕板BフリーコーナーキャップA		-	-	1
幕板BフリーコーナーキャップB		-	-	1
【19-1】φ4×14サラタッピン1種		2	2	4

【20】幕板連結キャップ

名 称	略 図	員 数	
		A	B
幕板A連結キャップ		1	-
幕板B連結キャップ		-	1
【20-1】φ4×14サラタッピン1種		2	2

【24】床板取付部品セット

名 称	略 図	員 数		
		基本	追加40	追加20
横止め金具		60	40	20
孔開け治具		1	-	-
補修用研磨紙		2	-	-
【24-1】φ4×13ナベドリルネジ		66	44	22
取付説明書〈E203〉	-	1	-	-
取扱説明書〈UE057〉	-	1	-	-

【25】床板取付部品セット（補修用）

オプション

名 称	略 図	員 数		名 称	略 図	員 数	
		上止め補修	横止め補修			上止め補修	横止め補修
横止め金具		5	10	横止め金具移動治具		1	1
孔開け治具		1	1	交換用ビット		1	1

【21】補助根太セット

名 称	略 図	員 数
補助根太		1
補助根太取付部品		4
【21-1】φ4×13ナベドリルネジ		16

【22】床板補強材

名 称	略 図	員 数
床板補強材		1
【22-1】φ4×13ナベドリルネジ		20
【22-2】φ3.8×13ナベタッピンネジ		40
【22-3】φ4×70トラスタッピン1種		24

【23】躯体付けアングルセット

オプション

名 称	略 図	員 数
躯体付けアングル		1
【23-1】φ6×70六角タッピンネジ1種		6

■ 梱包明細表つづき

【25】 つづき

オプション

名称	略図	員数	
		上止め補修	横止め補修
補修用研磨紙		1	1
【25-1】φ4×65サラダリルネジ		20	—
【25-2】φ4×13ナベドリルネジ		7	12
取付説明書〈E203〉	—	1	1

【26】 タイルフローアー根太セット

オプション

名称	略図	員数
タイルフローアー根太		3
隙間隠しパッキン		4
【26-1】φ4×13ナベドリルネジ		13
【26-2】φ4×35サラダリルネジ		10

【27】 タイルフローアーベース

オプション

名称	略図	員数
タイルフローアーベース		1

【28】 タイルフローアー

オプション

名称	略図	員数
タイルフローアー		9

【29】 くり貫き部用幕板固定金具セット

オプション

名称	略図	員数
くり貫き部用幕板固定金具		4
正面幕板B取付材(床板固定用)		4
【29-1】M4×25サラ小ネジ		8
【29-2】M4六角ナット		8
【29-3】M4用平座金		8
【29-4】M4用バネ座金		8
【29-5】φ4×25サラダリルネジ		16
【29-6】φ4×40ナベドリルネジ		8

【30】 床下化粧材縦枠

オプション

名称	略図	員数
縦枠		1
【30-1】φ4×40ナベドリルネジ		4

【31】 床下化粧材コーナー枠

オプション

名称	略図	員数
コーナー枠		1
【31-1】φ4×35ナベドリルネジ		4

【32】 床下化粧材上下枠

オプション

名称	略図	員数
上下枠		1
【32-1】φ4×10トラスネジ1種		10

【33】 筋交いセット

オプション

名称	略図	員数	
		2本入り	3本入り
筋交い		2	3
筋交いキャップ		4	6
【33-1】φ4×25ナベドリルネジ		4	6

【34】 ラチスパネル

オプション

名称	略図	員数
ラチスパネル		1

【35】 躯体側隙間塞ぎ材

オプション

名称	略図	員数
躯体側隙間塞ぎ材		1

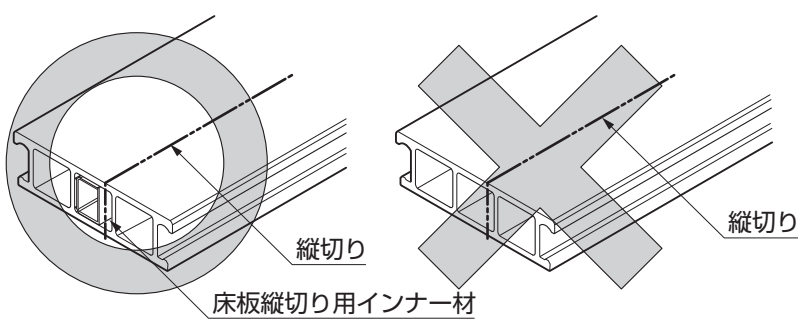
INDEX

1	施工時の重要確認事項	11
2	基本寸法と各部名称	12
1.	各部名称	12
2.	詳細納まり	13
2-1	幕板床板固定 間口方向納まり図（正面）	13
2-2	幕板床板固定 出幅方向納まり図（側面）	13
2-3	幕板大引き固定 出幅方向納まり図（側面）	14
2-4	タイルフロアー納まり図	14
2-5	くり貫き納まり図	14
3.	基本寸法	15
3-1	基本寸法	15
3-2	1.5間	16
3-3	2.0間	17
3-4	2.5間	18
3	本体の施工方法	19
1.	基礎石配置	19
2.	基礎の施工	19
2-1	基礎石の埋込み	19
2-2	束柱の加工	19
3.	束柱・大引きの取付け	20
3-1	束柱と大引きの取付け	20
3-2	大引きの連結方法	21
3-3	束柱の固定	21
4.	筋交いの取付け	21
4-1	筋交いの基本設定	21
4-2	筋交いの施工実施例	22
(1)	出幅4000mm未満、間口4000mm未満の場合	22
(2)	出幅4000mm以上、間口4000mm未満の場合	22
(3)	出幅4000mm未満、間口4000mm以上の場合	22
(4)	出幅4000mm以上、間口4000mm以上の場合	22
4-3	筋交いの取付け	23
5.	根がらみの取付け オプション	23
6.	側面幕板取付材の取付け	24
6-1	側面幕板A取付材の取付け	24
6-2	側面幕板B取付材の取付け	24
7.	床板補強材の取付け	25
7-1	床板補強材の取付位置の確認	25
(1)	デッキ前面部にフェンス柱を取付ける場合	25
(2)	デッキ中間部にハイパーティション柱を取付ける場合	25
7-2	床板補強材の取付け	26
8.	補助根太の取付け	27
8-1	補助根太取付部品の取付け	27
8-2	角度切り	28
8-3	R加工	29
9.	躯体付けアングルの取付け オプション	30

INDEX

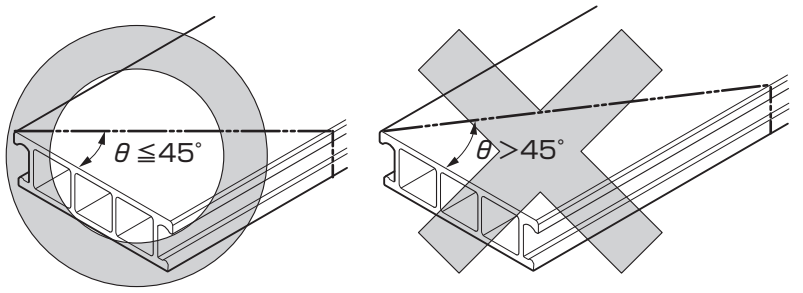
10.	正面幕板取付材（大引き固定用）の取付け	30
10-1	正面幕板取付材（大引き固定用）の取付位置の確認	30
10-2	正面幕板取付材（大引き固定用）の取付け	30
	（1）正面幕板A取付材（大引き固定用）の場合	30
	（2）正面幕板A取付材（大引き固定用）を内側からネジ止めする場合	31
11.	床板の取付け	32
11-1	床板取付上の注意	32
	（1）Rコーナー、角度切り取付上の注意	32
	（2）くり貫き納まりの床板取付上の注意	32
	（3）タイルフロアの床板取付上の注意	32
11-2	床板の固定	33
11-3	横止め金具で固定できない場合	35
11-4	入隅納りの場合	36
11-5	床板の縦連結の場合	36
12.	くり貫き部幕板の取付け オプション	37
13.	タイルフロアの取付け オプション	39
14.	正面・コーナー幕板取付材の取付け	42
14-1	正面幕板取付材の取付位置の確認	42
14-2	幕板取付材の取付け	43
	（1）正面幕板A取付材（床板固定用）の場合	43
	（2）正面幕板B取付材（床板固定用）の場合	43
	（3）コーナー幕板A取付材（角度切り用）の場合	44
	（4）コーナー幕板B取付材セット（R用/角度切り用）の場合	45
15.	幕板の取付け	46
15-1	幕板Aの場合	46
	（1）幕板金具の取付け	46
	（2）連結部の場合	46
	（3）直線・90度コーナーの場合	47
	（4）90度コーナー（出隅仕様）の場合	48
	（5）90度コーナー（入隅仕様）の場合	48
	（6）フリーコーナー部の場合	49
15-2	幕板Bの場合	50
	（1）直線・90度コーナーの場合	50
	（2）90度コーナー（出隅仕様）の場合	52
	（3）90度コーナー（入隅仕様）の場合	52
	（4）フリーコーナー部の場合	53
	（5）R納まりの場合	54
16.	床下化粧材の取付け オプション	55
16-1	床下化粧材の切断	55
16-2	縦枠の取付け	55
16-3	ラチスパネル、上下枠の取付け	56
16-4	コーナー枠の取付け	56
17.	躯体側隙間塞ぎ材の取付け オプション	57
18.	施工後の仕上げ	57
19.	横止め金具の付け替え オプション	58
20.	床板縦切りインナー材の固定 オプション	59

1 施工時の重要確認事項



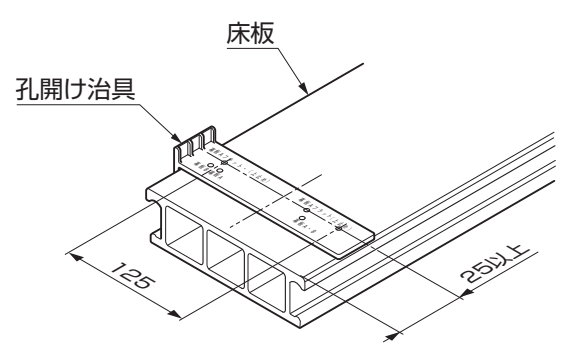
ポイント

- 床板の間口調整は、床板枚数単位で行なってください。
- 納まり上、床板の縦切りが部分的に必要な場合は、「床板縦切り用インナー材」を使用してください。



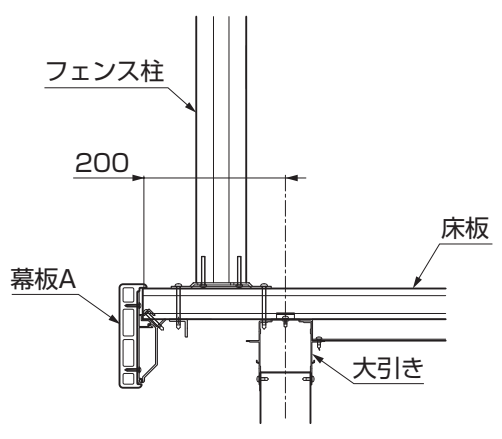
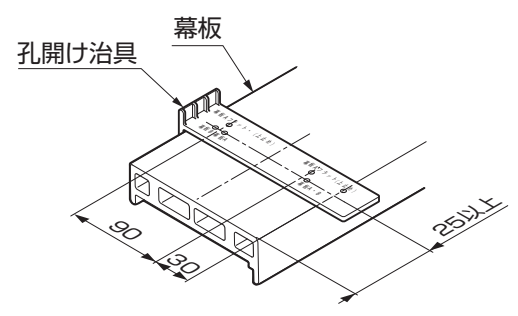
ポイント

- 床板・幕板を斜め切りするときは、 45° 以内にしてください。
切り込み過ぎは、材料の変形・破損の原因になります。



ポイント

- 床板・幕板を取付ける際は、専用の孔開け治具を使い固定してください。ネジの打込み位置がずれると、材料の変形・破損の原因になります。

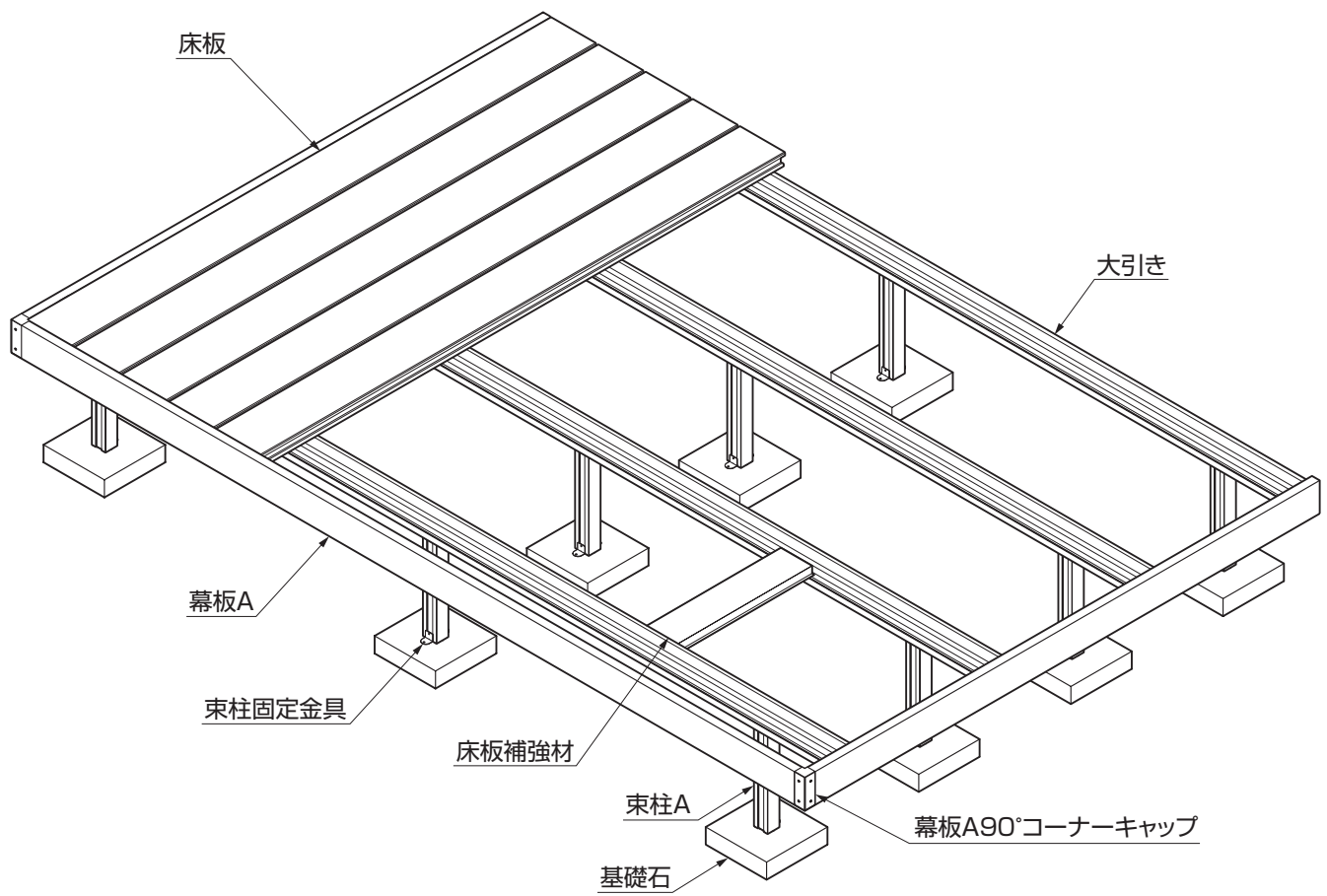


ポイント

- デッキ前面部にフェンス柱を取付ける場合は、床板の張出しを大引きの中心から200mmにしてください。
短くすると、柱が取付かなくなる場合があります。

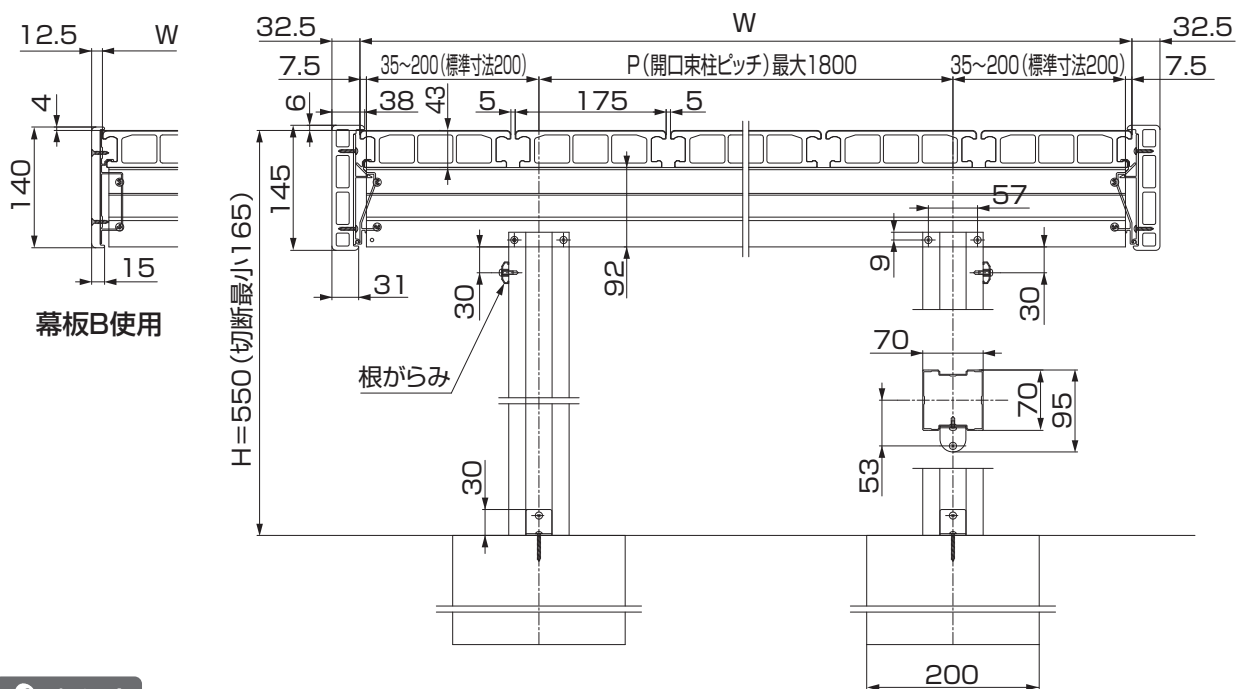
2 基本寸法と各部名称

1. 各部名称



2. 詳細納まり

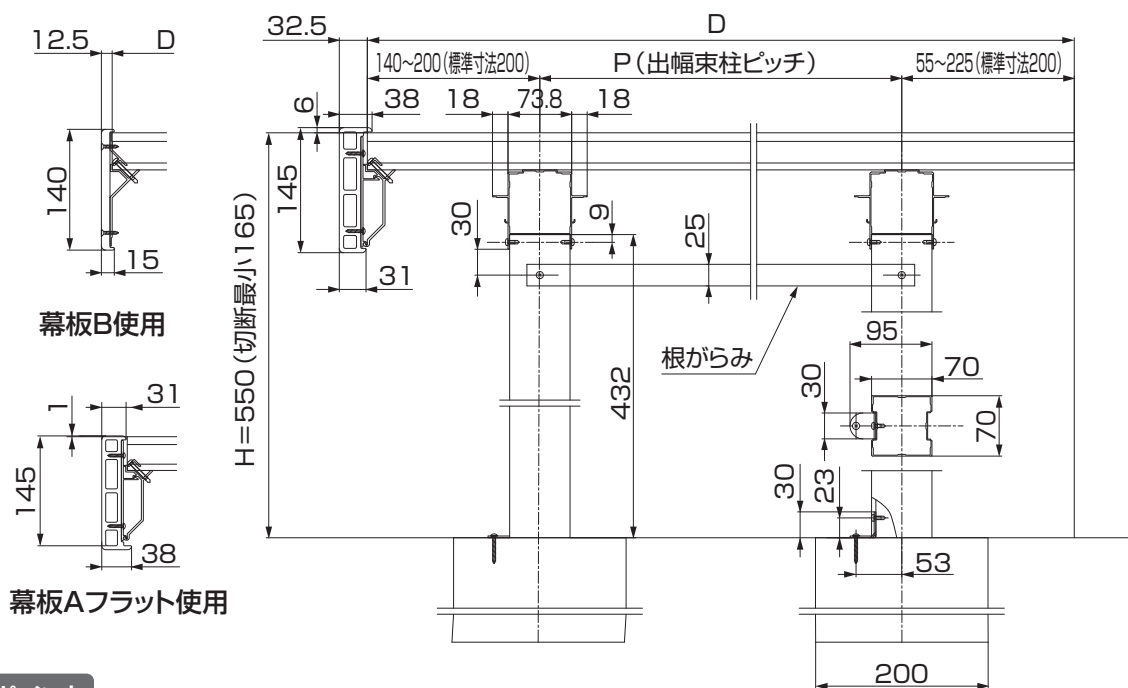
2-1 幕板床板固定 間口方向納まり図(正面) ※標準束柱・幕板A使用の場合を示します。



ポイント

- デッキの間口最大寸法は、 $W+65\text{mm}$ (25mm) です。()は、幕板B寸法です。
- デッキ最低H寸法は、束柱A:165mm、束柱B:250mmです。

2-2 幕板床板固定 出幅方向納まり図(側面) ※標準束柱・幕板A使用の場合を示します。

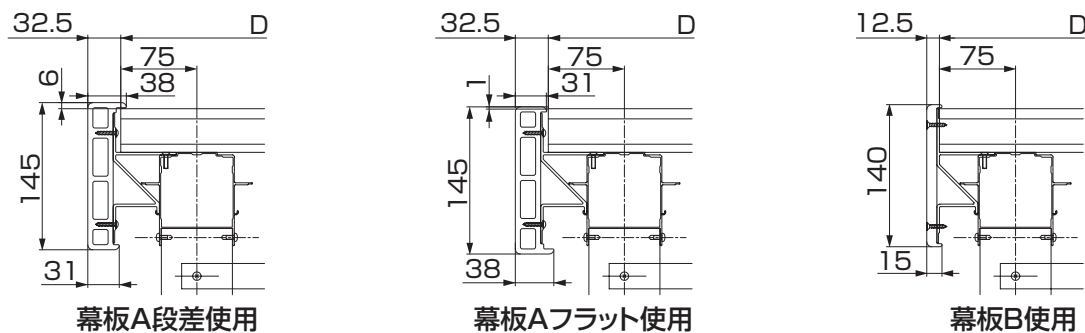


ポイント

- デッキの出幅最大寸法は、 $D+32.5\text{mm}$ (12.5mm) です。
- デッキ最低H寸法は、束柱A:165mm、束柱B:250mmです。

2. つづき

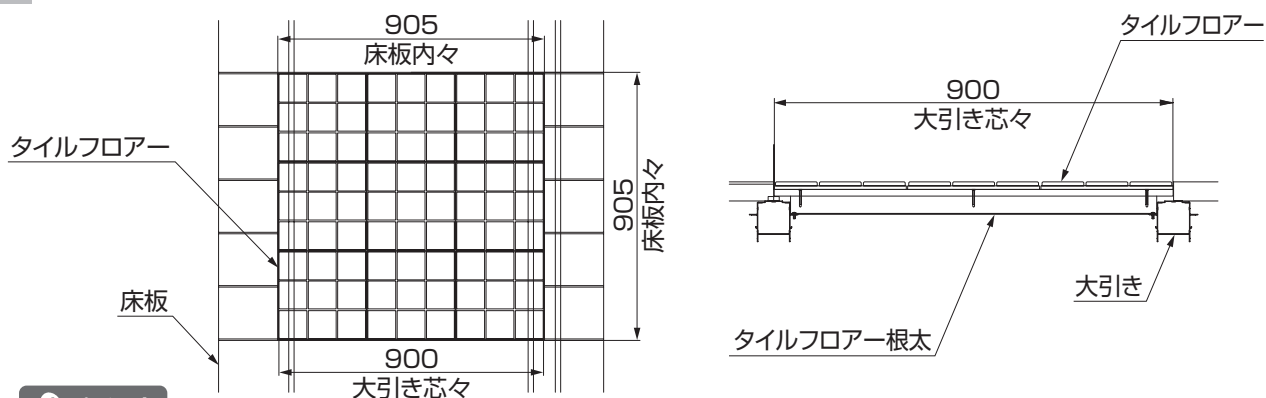
2-3 幕板大引き固定 出幅方向納まり図(側面)



ポイント

- デッキの出幅最大寸法は、 $D+32.5\text{mm}$ (12.5mm) です。
- デッキの間口最大寸法は、 $W+65\text{mm}$ (25mm) です。()は、幕板B寸法です。
- デッキ最低H寸法は、束柱A:165mm、束柱B:250mmです。

2-4 タイルフローアー納まり図



ポイント

- タイルフローアーを取付ける位置の大引きピッチは900mmです。
- タイルフローアーを切りつめて取付ける場合は大引きピッチを600mmまたは300mmです。

2-5 くり貫き納まり図 ※ ()は床板4枚分の場合の寸法です。

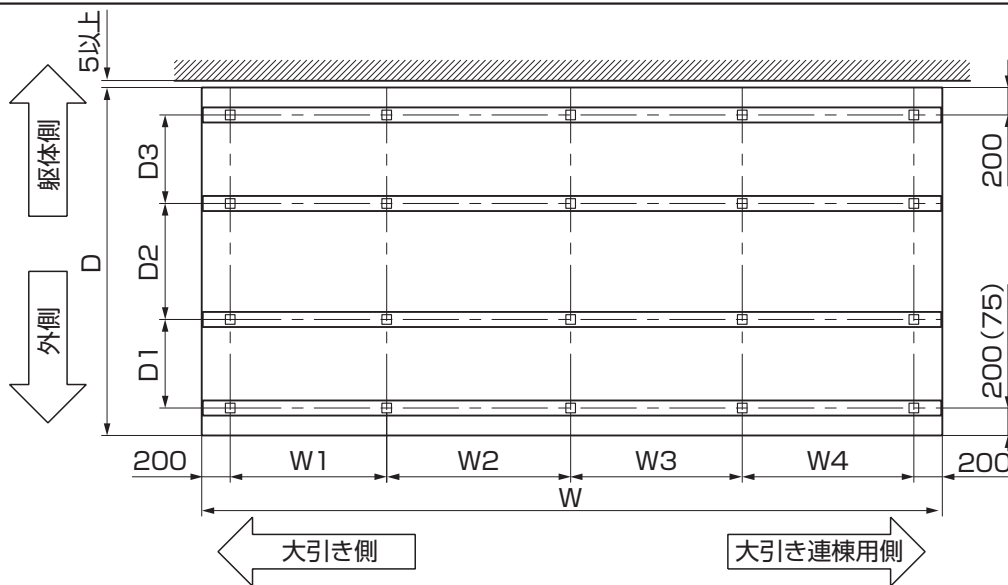


ポイント

- デッキくり貫きが可能な寸法は、床板3枚分、もしくは4枚分です。
- くり貫き部の床板張出し寸法は、200mm以内としてください。

3. 基本寸法

3-1 基本寸法



開口方向寸法

	床板外々 W	幕板A デッキ外々 W+65	幕板B デッキ外々 W+25	束柱 ピッチ	ピッチ寸法 (大引き側) ↔ (大引き連棟用側)						使用大引
					W1	W2	W3	W4	W5	W6	
					1.5間	2695	2760	2720	2	1140	
2.0間	3595	3660	3620	2	1590	1590	-	-	-	-	2.0間
2.5間	4315	4380	4340	3	1300	1300	1300	-	-	-	2.5間
3.0間	5395	5460	5420	4	1140	1340	1250	1250	-	-	1.5間+1.5間(連棟用)
3.5間	6295	6360	6320	4	1140	1340	1700	1700	-	-	1.5間+2.0間(連棟用)
4.0間	7195	7260	7220	4	1590	1790	1700	1700	-	-	2.0間+2.0間(連棟用)
4.5間	7915	7980	7940	5	1300	1300	1500	1700	1700	-	2.5間+2.0間(連棟用)
5.0間	8815	8880	8840	6	1300	1300	1500	1500	1400	1400	2.5間+2.5間(連棟用)

大引き連結部分

出幅方向寸法

	床板出幅 D	幕板A デッキ出幅 D+33	幕板B デッキ出幅 D+13	大引き ピッチ	ピッチ寸法 (外側) ↔ (躯体側)					使用床板
					D1	D2	D3	D4	D5	
					3尺	900	933	913	-	
4尺	1200	1233	1213	-	800	-	-	-	-	L=1200
5尺	1500	1533	1513	2	550	550	-	-	-	L=1500
6尺	1800	1833	1813	2	700	700	-	-	-	L=1800
7尺	2100	2133	2113	2	850	850	-	-	-	L=2100
8尺	2400	2433	2413	3	700	600	700	-	-	L=2400
9尺	2700	2733	2713	4	700	900	700	-	-	L=2700
10尺	2900	2933	2913	4	700	900	900	-	-	L=2900
12尺	3600	3633	3613	4	700	900	900	700	-	L=3600
15尺	4500	4533	4513	5	700	900	900	900	700	L=1800,2700

床板連結部分

ポイント

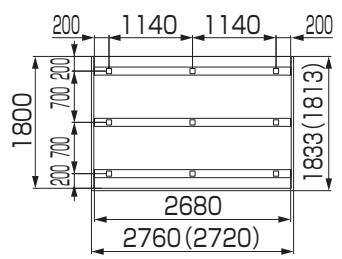
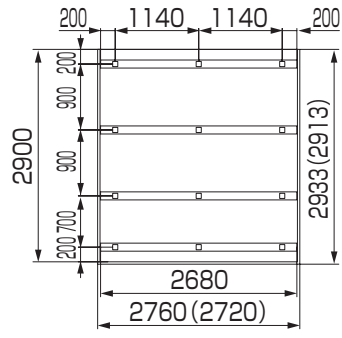
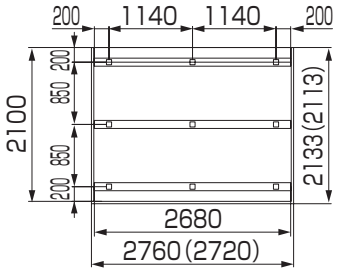
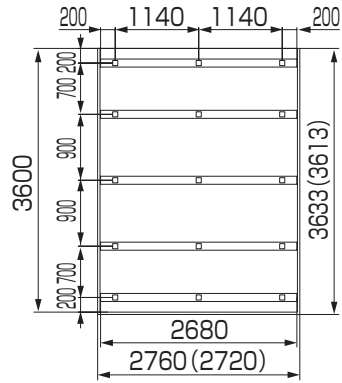
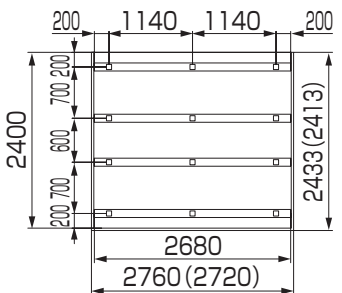
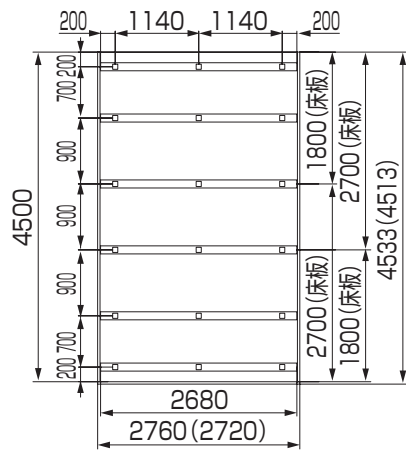
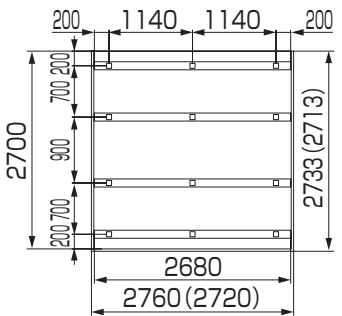
- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内になしてください。
- 床下化粧材を取付ける位置の束柱芯々寸法は900mm以内になしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内になしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は200mm以内になしてください。
- 床板と躯体等は5mm以上すき間をあけてください。
- 大引きは、間口3.0間以上で連結部があります。
- 大引きの連結部は、束柱を取付けてください。
- 床板は出幅12尺を超えると連結部があります。
- ()寸法は、幕板を大引き固定する場合の寸法です。

3. つづき

3-2 1.5間 ※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引き固定は「**3-1 基本寸法**」を参照してください。
 ※()は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。
 ※代表サイズが記載されています。3～5尺に関しては「**3-1 基本寸法**」を参照してください。

ポイント

- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。
- 床板と躯体等のすき間は5mm以上あけてください。

間口	1.5間	間口	1.5間
出幅		出幅	
6尺		10尺	
7尺		12尺	
8尺		15尺	
9尺			

3. つづき

3-3 2.0間 ※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引き固定は「**3-1 基本寸法**」を参照してください。
 ※ () は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。
 ※代表サイズが記載されています。3~5尺に関しては「**3-1 基本寸法**」を参照してください。

ポイント

- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。
- 床板と躯体等のすき間は5mm以上あけてください。

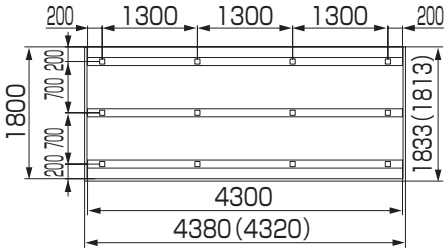
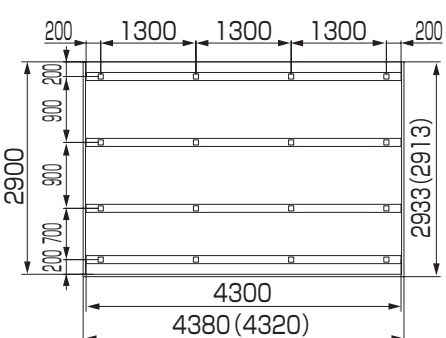
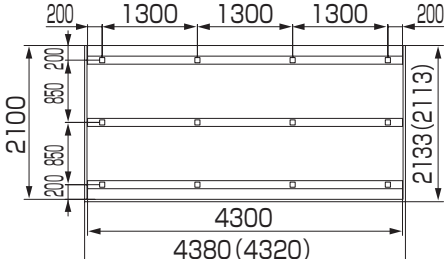
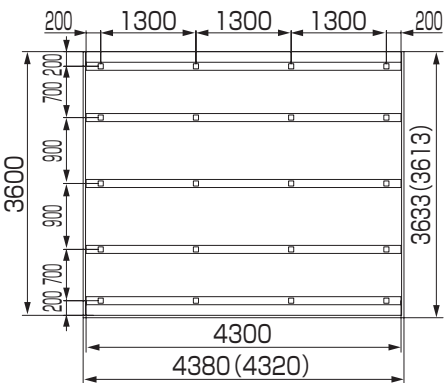
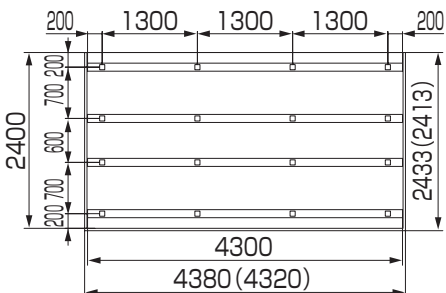
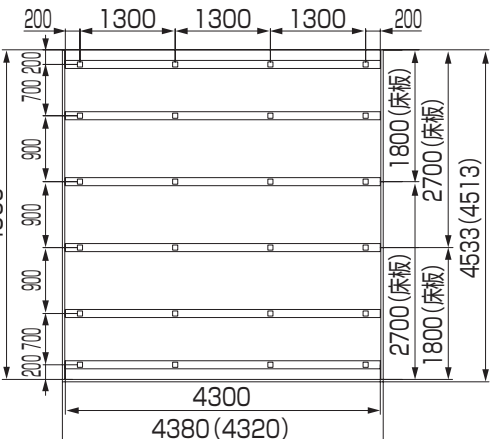
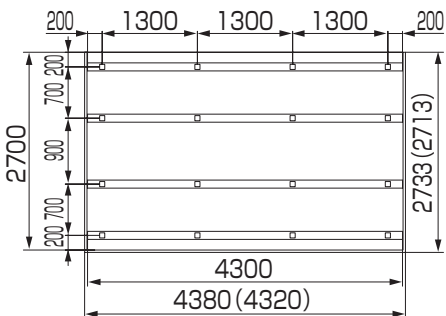
間口 出幅	2.0間	間口 出幅	2.0間
6尺		10尺	
7尺		12尺	
8尺		15尺	
9尺			

3. つづき

3-4 2.5間 ※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引き固定は「3-1 基本寸法」を参照してください。
 ※()は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。
 ※代表サイズが記載されています。3～5尺に関しては「3-1 基本寸法」を参照してください。

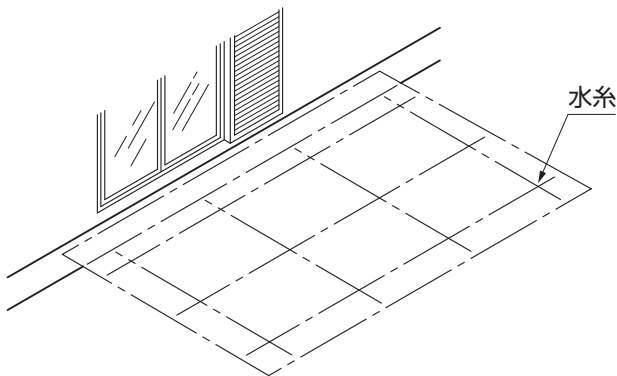
ポイント

- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。
- 床板と躯体等のすき間は5mm以上あげてください。

間口	2.5間	間口	2.5間
出幅		出幅	
6尺		10尺	
7尺		12尺	
8尺		15尺	
9尺			

3 本体の施工方法

1. 基礎石配置



- ① 「2.基本寸法と各部名称 3.基本寸法」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、基礎石の位置を決定してください。

ポイント

- 本体の仕様位置によっては、柱と基礎石が干渉する場合があります。本体の施工前にその事を確認の上、必要に応じて基礎を移動してください。

2. 基礎の施工

2-1 基礎石の埋込み

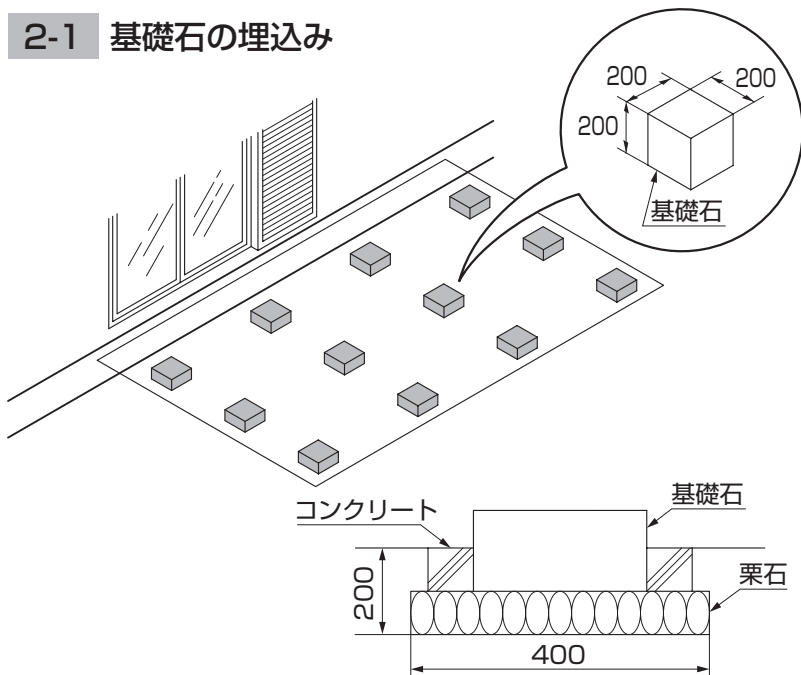


図2-1

- ① 各基礎石の位置を約400mm角、深さ200mmに掘り、栗石を敷いて、基礎石を据えてください。

ポイント

- この作業が十分でないと、基礎の沈みが発生する場合があります。

- ② 基礎石のレベルを出してください。
③ 基礎石のまわりをコンクリートで固めてください。

ポイント

- コンクリートで基礎を固めないと、基礎の浮き沈みが発生する場合があります。

2-2 束柱の加工

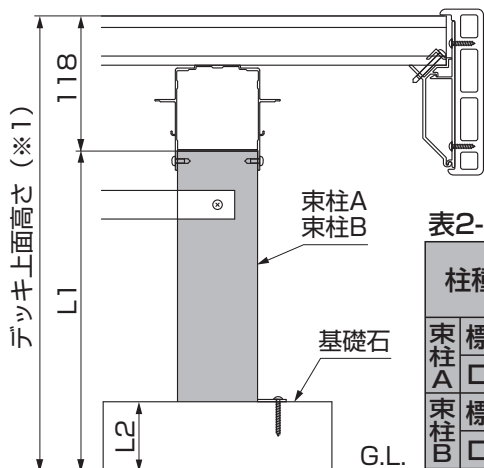


図2-2

表2-1

柱種類	束柱最大切詰寸法	デッキ最低寸法
束柱A	標準	385
	ロング	935
束柱B	標準	各150
	ロング	上700 下150

- ① デッキ上面高さ (※1) を決定してください。

補足

- デッキ上面高さを決めると、L1が決ります。

- ② 束柱Aまたは束柱Bを、L1からL2を引いた寸法で切断加工してください。

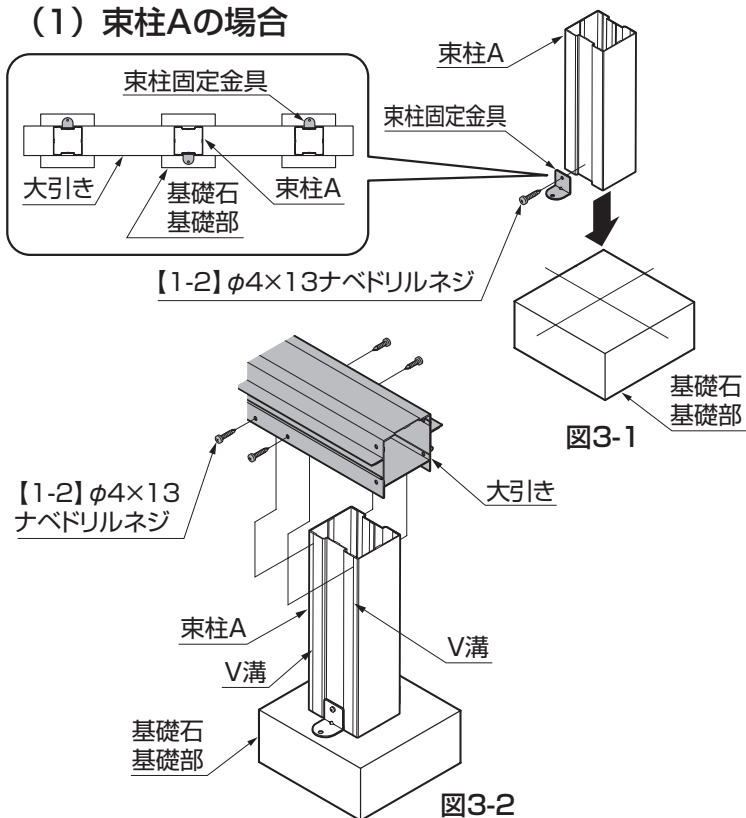
補足

- 束柱Aまたは束柱Bを切断するときには、基礎石の寸法を考えて切断加工してください。
- 束柱Bは高さ調整式で、調整寸法は150mmです。
- 束柱Bの切断は、柱下部側の下面方向ならびに柱上部側の上面方向より、同寸法で行ってください。

3. 束柱・大引きの取付け

3-1 束柱と大引きの取付け

(1) 束柱Aの場合



①束柱Aに、束柱固定金具を【1-2】で固定してください。

ポイント

●束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互に取付けてください。(図3-1参照)

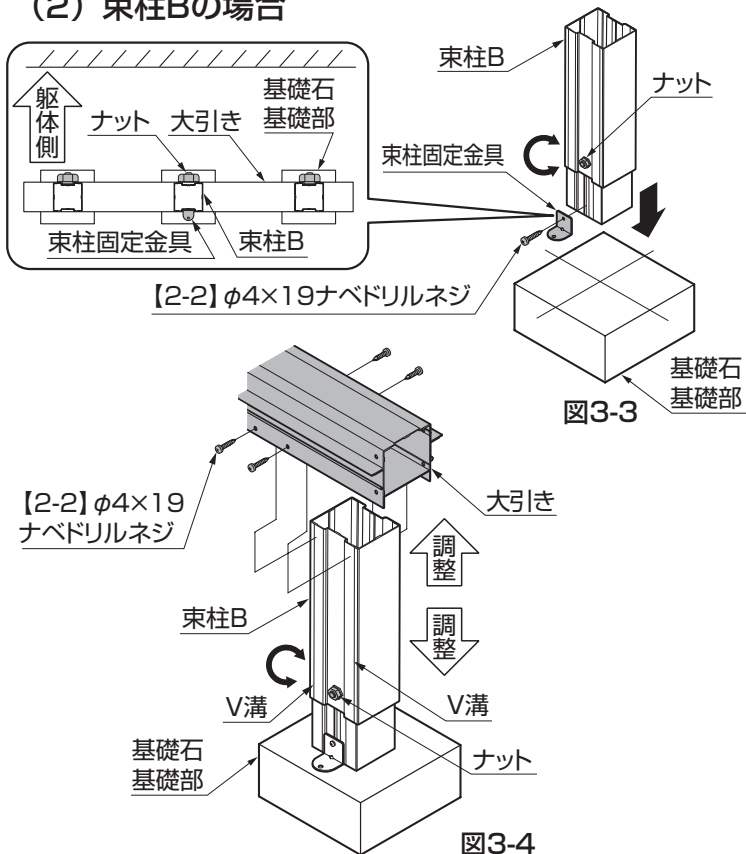
②「**2.基本寸法と各部名称** **3.基本寸法**」を参照して、前面・両側面の水系に寸法出しをし、基礎石または基礎部に束柱Aをのせてください。

ポイント

●基礎部材の水平・直角等を確認してください。

③大引きと束柱AをV溝に合わせて【1-2】で固定してください。

(2) 束柱Bの場合



①束柱Bに、束柱固定金具を【2-2】で固定してください。

ポイント

●束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互に取付けてください。(図3-3参照)

●束柱Bはナットを緩め、内側の束柱をスライドさせて表へ出し、ナットを仮締めして、内側の束柱が下になるように取付けてください。

●束柱Bの場合は、ナット部分が躯体側になるように取付けてください。

②「**2.基本寸法と各部名称** **3.基本寸法**」を参照して、前面・両側面の水系に寸法出しをし、基礎石または基礎部に束柱Bをのせてください。

ポイント

●基礎部材の水平・直角等を確認してください。

●束柱Bはナットを緩め、高さを調節し、水平・直角を確認してからナットを締め、V溝に【2-2】で固定してください。

③大引きと束柱BをV溝に合わせて【2-2】で固定してください。

3. つづき

3-2 大引きの連結方法

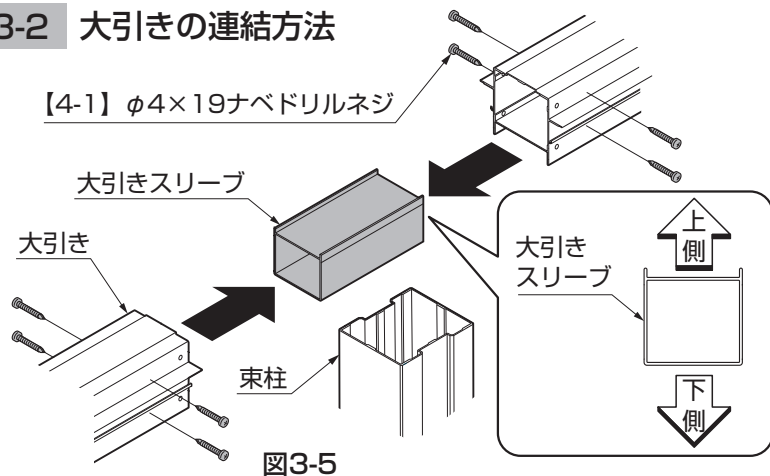


図3-5

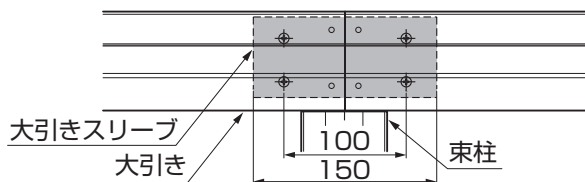


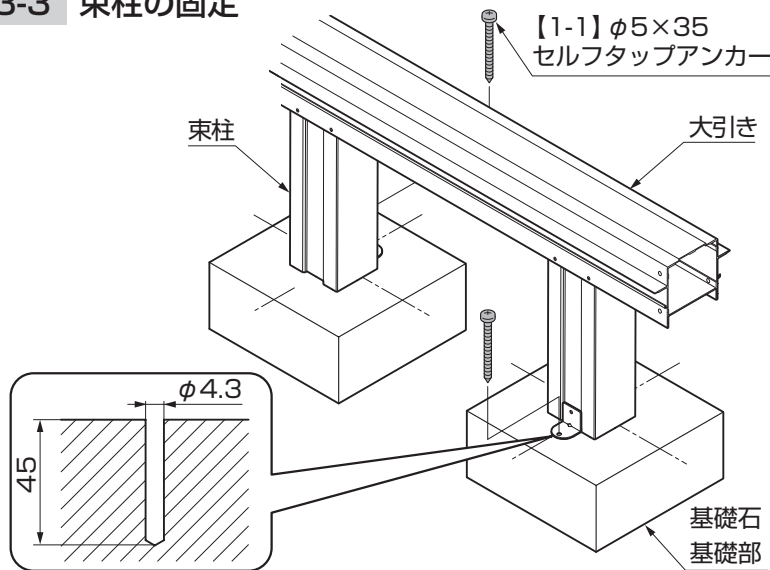
図3-6

①大引きスリーブを大引きに挿入して、【4-1】で固定してください。

ポイント

- 大引きの連結部は、束柱の中央上部で突き合わせて固定してください。(図3-6参照)
- 大引きスリーブ材の上下を確認してから、組付けてください。

3-3 束柱の固定



①基礎石または基礎部に、φ4.3で深45mmの下孔をあけてください。

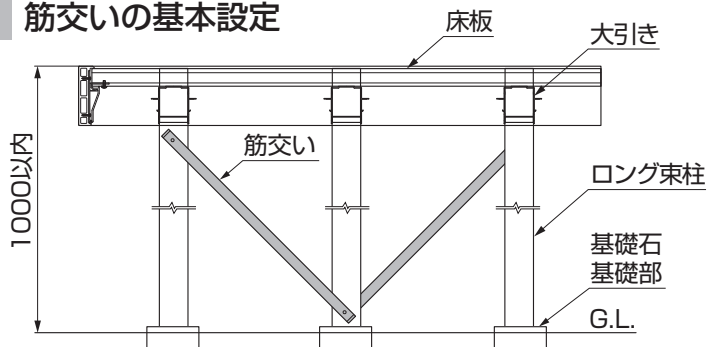
②束柱固定金具を基礎石または基礎部に【1-1】で固定してください。

ポイント

- 束柱と基礎石の固定は、基礎部材の水平・直角等を確認後に行ってください。

4. 筋交いの取付け ※ロング束柱の場合の作業です。

4-1 筋交いの基本設定



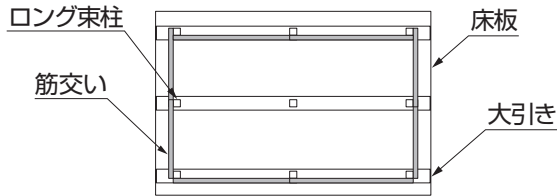
ポイント

- 筋交いの取付けは、筋交い基本設定基準および施工実施例を参考に施工してください。
- 床下化粧材を取付ける場合は、筋交いをデッキ内側に取付けてください。

4. つづき

4-2 筋交いの施工実施例

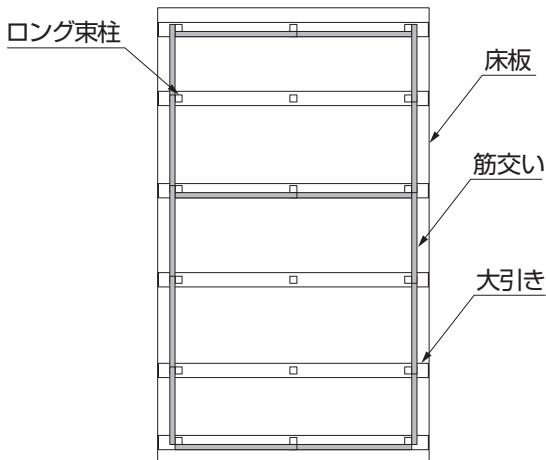
(1) 出幅4000mm未満、間口4000mm未満の場合



ポイント

- 大引き方向は、前面側と躯体側に配置してください。
- 床板方向は、両側面側に配置してください。

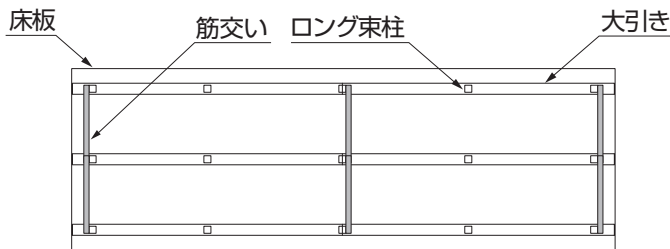
(2) 出幅4000mm以上、間口4000mm未満の場合



ポイント

- 大引き方向は、前面側、躯体側ならびに出幅4000mmにつき1筋配置してください。
- 床板方向は、両側面側に配置してください。

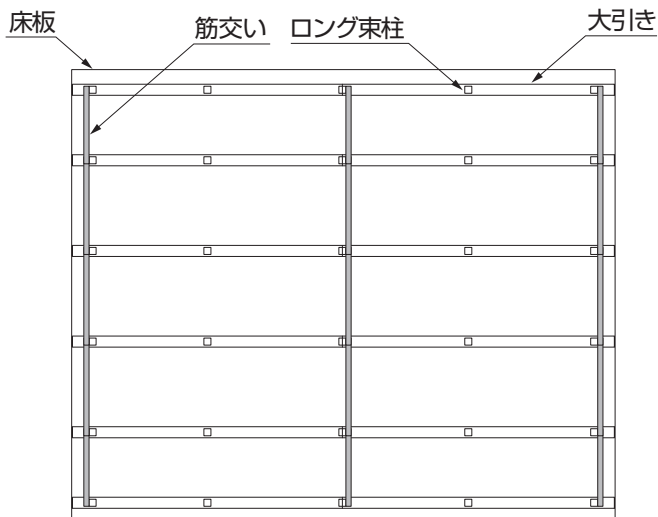
(3) 出幅4000mm未満、間口4000mm以上の場合



ポイント

- 床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。

(4) 出幅4000mm以上、間口4000mm以上の場合



ポイント

- 床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。

4. つづき

4-3 筋交いの取付け

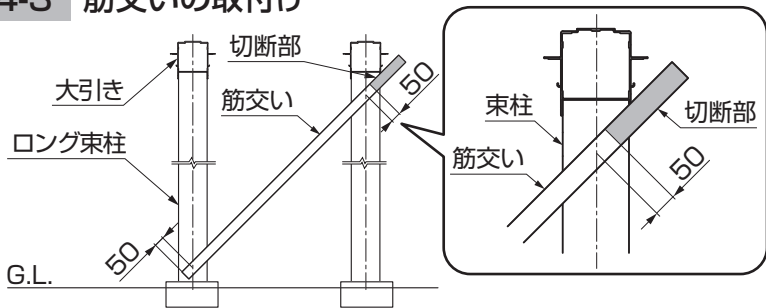


図4-1

①取付位置を確認し、束柱の中心から50mm程度で切断してください。

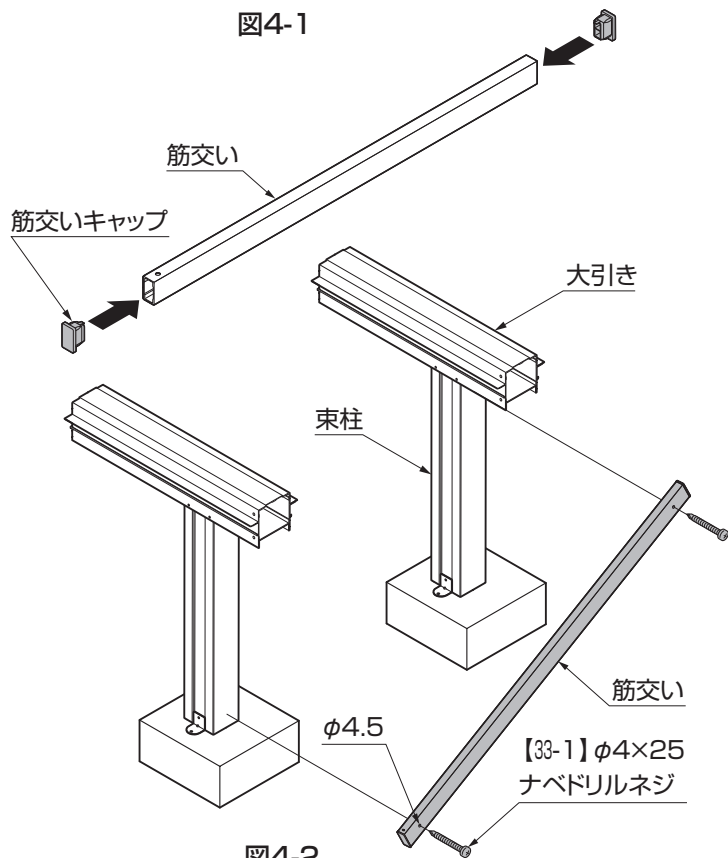


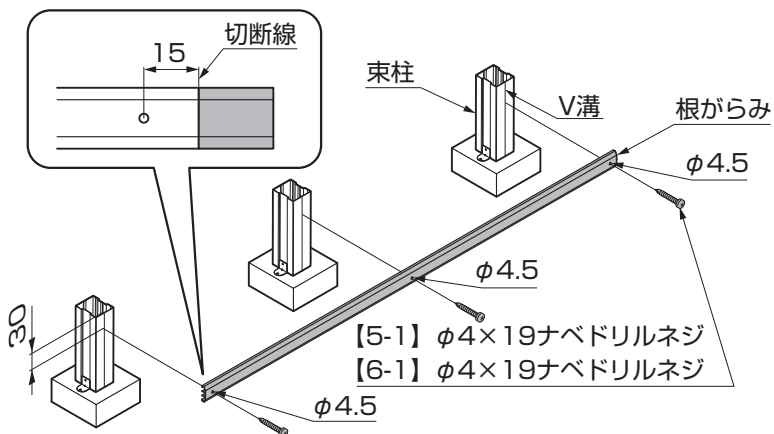
図4-2

②筋交いの両端に筋交いキャップを押し込んで取付けてください。

③筋交いにφ4.5の孔をあけてください。

④束柱に筋交いを、【33-1】で固定してください。

5. 根がらみの取付け **オプション**



①大引きのピッチにあわせて根がらみにφ4.5の孔をあけてください。

②根がらみを端部の孔から15mmの位置で切断してください。

③束柱のV溝にあわせて根がらみを束柱の上端から30mmの位置に、【5-1】または【6-1】で取付けてください。

6. 側面幕板取付材の取付け

6-1 側面幕板A取付材の取付け

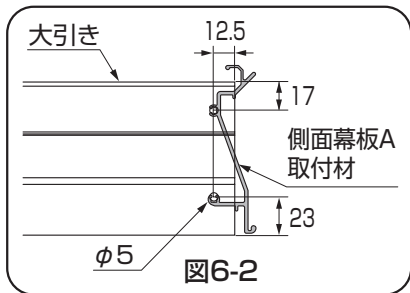
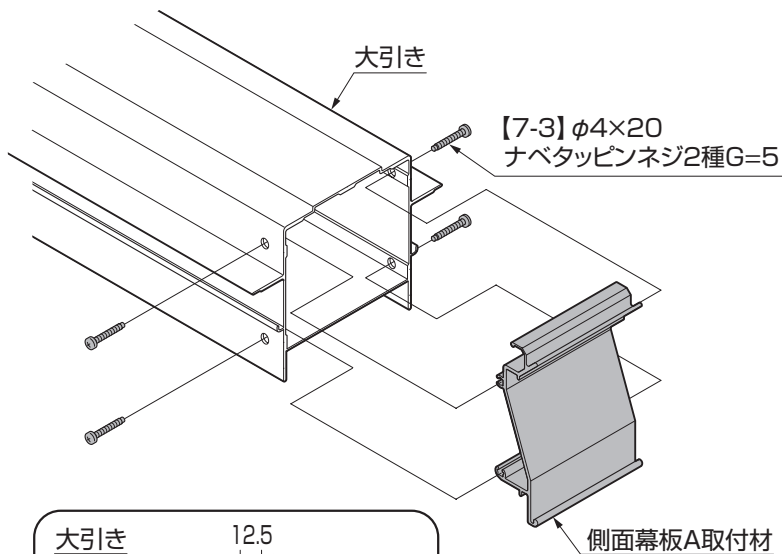


図6-1

- ①床板を取付け始める側に、側面幕板A取付材を大引きに【7-3】で固定してください。

ポイント

- 反対側は床板を取付け終わってから、側面幕板A取付材を取付けてください。
- 大引き切断の場合は、図6-2を参照して下孔をあけてください。

6-2 側面幕板B取付材の取付け

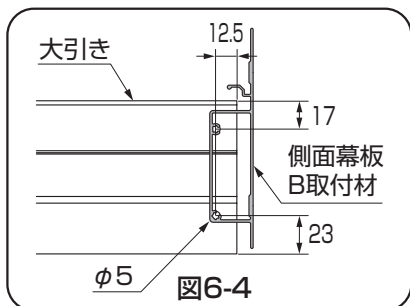
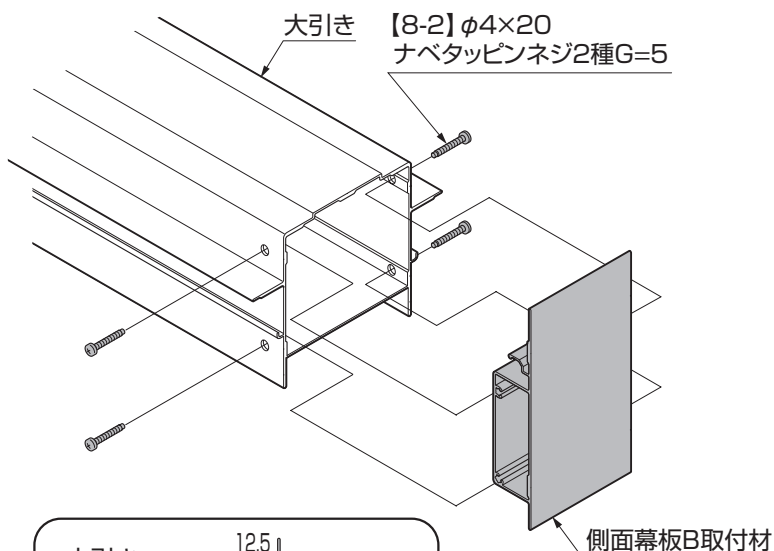


図6-3

- ①床板を取付け始める側に、側面幕板B取付材を大引きに【8-2】で固定してください。

ポイント

- 反対側は床板を取付け終わってから、側面幕板B取付材を取付けてください。
- 大引き切断の場合は、図6-4を参照して下孔をあけてください。

7. 床板補強材の取付け

7-1 床板補強材の取付け位置の確認

(1) デッキ前面部にフェンス柱を取付ける場合

※デッキ前面部に取付ける場合の作業です。デッキ側面部には不要です。

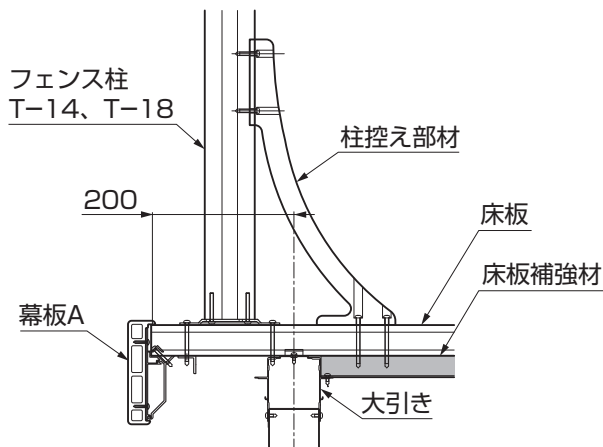


図7-1

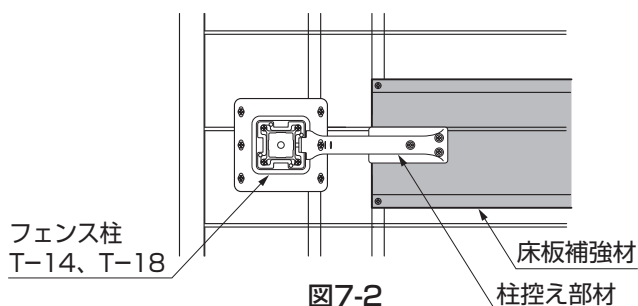
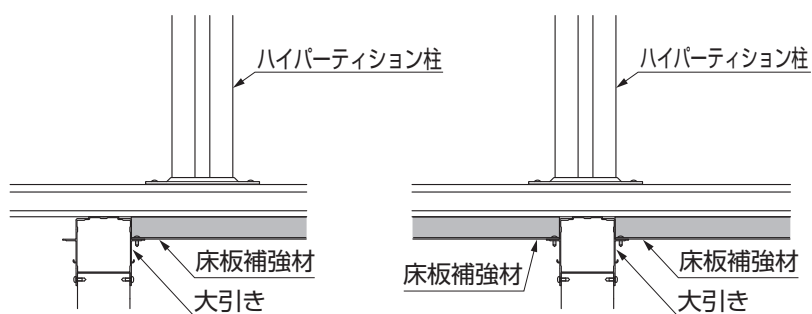


図7-2

注意

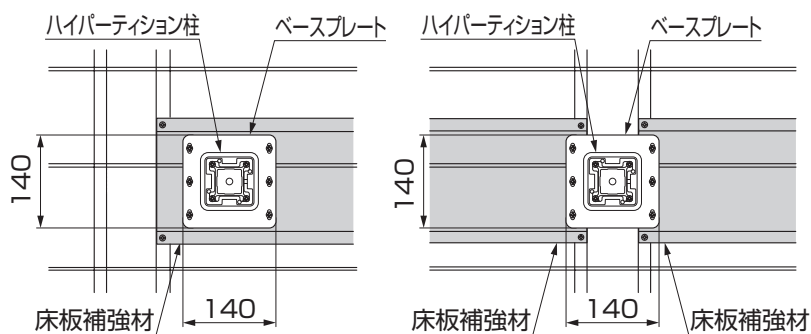
- 左図はフェンス柱がT-14以上の場合です。T-12以下の場合、床板補強材および柱控え部材は不要です。
- フェンス柱T-14、T-18をデッキ前面部に取付ける場合は、柱控え部材の固定、強度確保のために床板補強材を取付けてください。
- 床板の張出しを大引きの中心から200mmにしてください。短くすると、柱が取付かなくなる場合があります。

(2) デッキ中間部にハイパーティション柱を取付ける場合



注意

- ハイパーティション柱をデッキ中間部に取付ける場合は、ベースプレートの固定、強度確保のために床板補強材を取付けてください。



7. つづき

7-2 床板補強材の取付け

※樹の木Ⅲ 7-1 の施工時以外に、各自然浴商品でエクシオール柱を取付ける場合にも、床板補強材の取付けが必要となります。床板等を固定した後の施工は非常に困難なため、取説区分表から各取説を参照して、確実に施工してください。

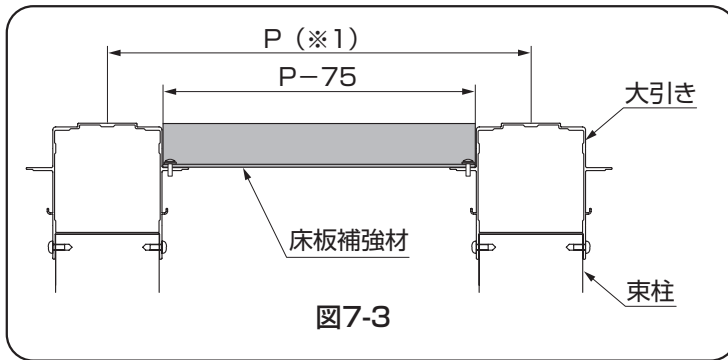


図7-3

①大引きピッチ(※1)にあわせて床板補強材を切断してください。(図7-4参照)

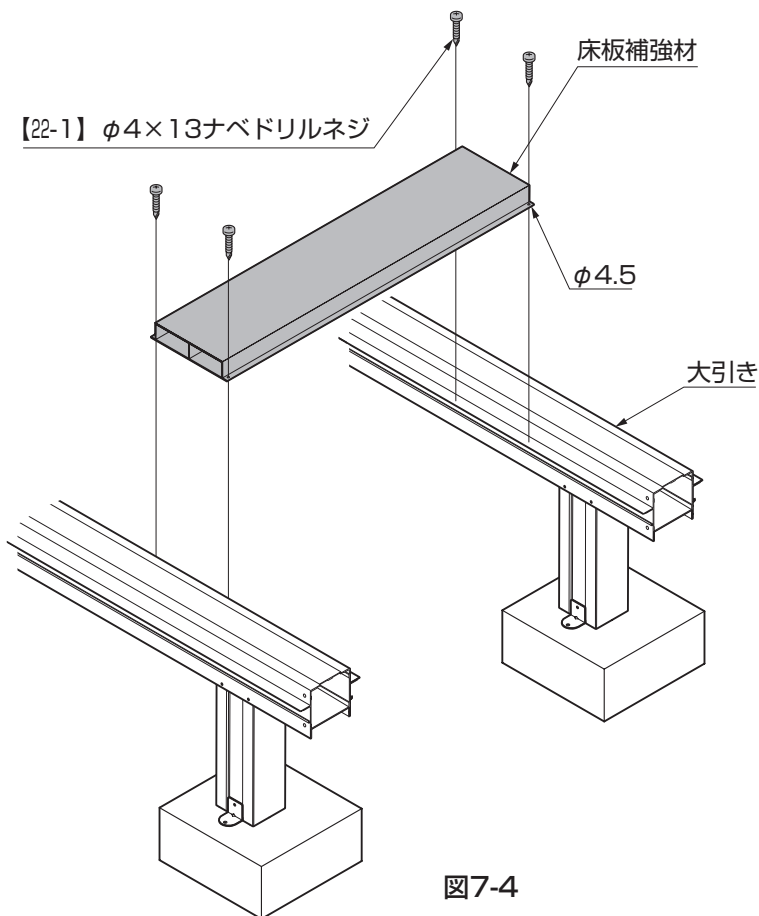


図7-4

②床板補強材1本当りに4ヶ所、φ4.5の孔をあけてください。

③大引きに床板補強材を、【22-1】で固定してください。

8. 補助根太の取付け

8-1 補助根太取付部品の取付け ※特殊納まりの加工です。

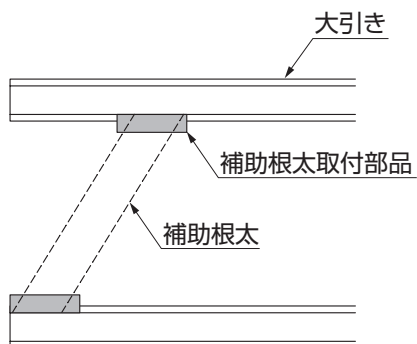


図8-1

①補助根太を取付ける位置を確認してください。

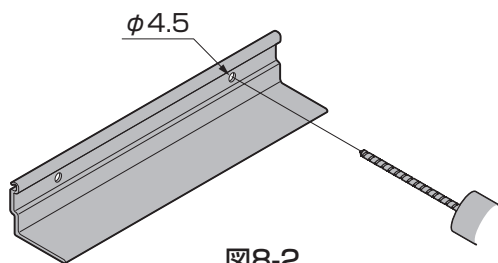


図8-2

②補助根太取付部品に2ヶ所、φ4.5の孔をあけてください。

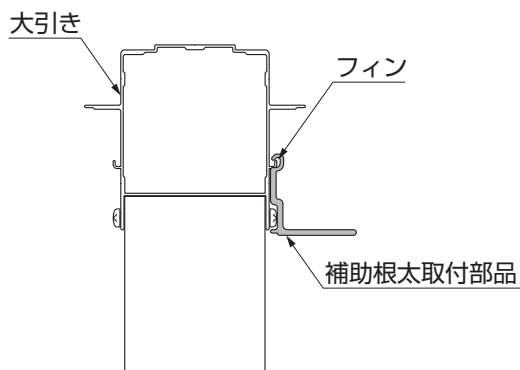


図8-3

③補助根太取付部品の上部を、大引きのフィンにひっかけて取付けてください。

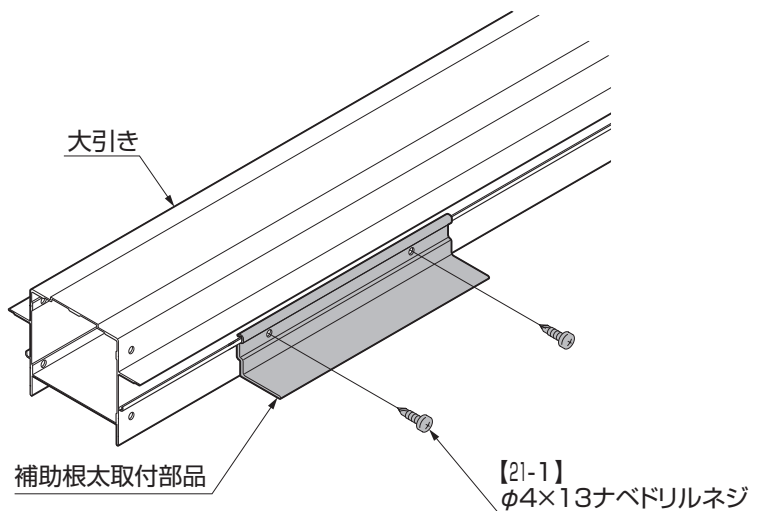


図8-4

④大引きに補助根太取付部品を、【21-1】で固定してください。

8. つづき

8-2 角度切り ※特殊納まりの加工です。

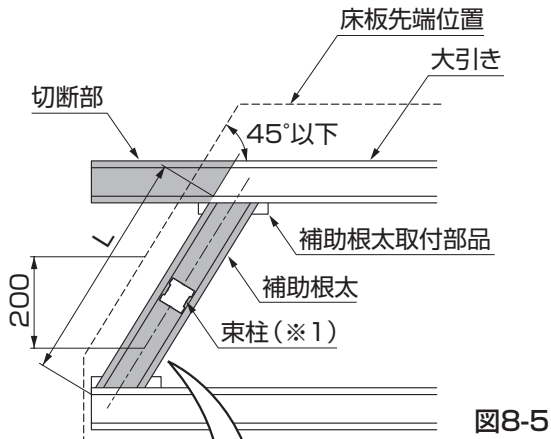
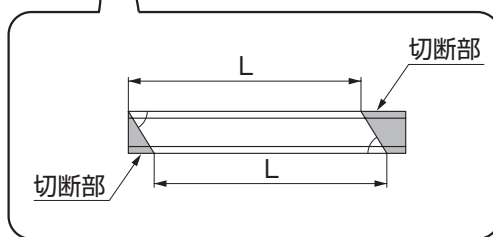


図8-5



ポイント

- 床板の角度切りは、45°以下で切断するように補助根太をつけてください。

- ①角度切りする角度で大引きを切断してください。

ポイント

- L寸法が800mm以上の場合は、中間部に束柱(※1)を設置してください。
- 補助根太の中心から床板先端まで200mm以内にしてください。

- ②L寸法を実測して、角度切りする角度で、補助根太を切断してください。

ポイント

- L寸法が2000mm以上の場合は、補助根太の代わりに大引きを使用し、束柱を2本設置してください。

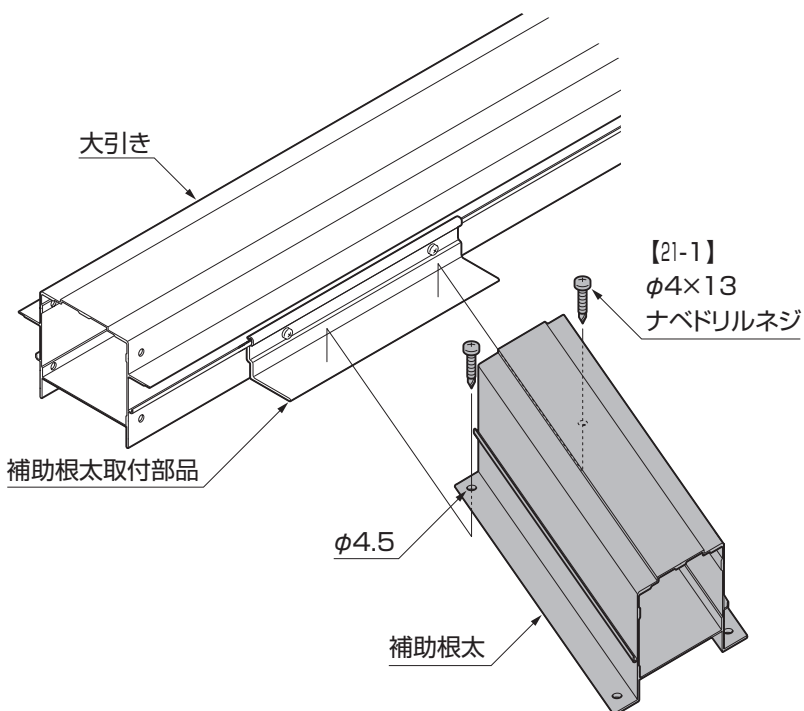


図8-6

- ③補助根太に4ヶ所、φ4.5の孔をあけてください。

- ④補助根太を補助根太取付部品に、[2I-1]で固定してください。

8. つづき

8-3 R加工 ※特殊納まりの加工です。

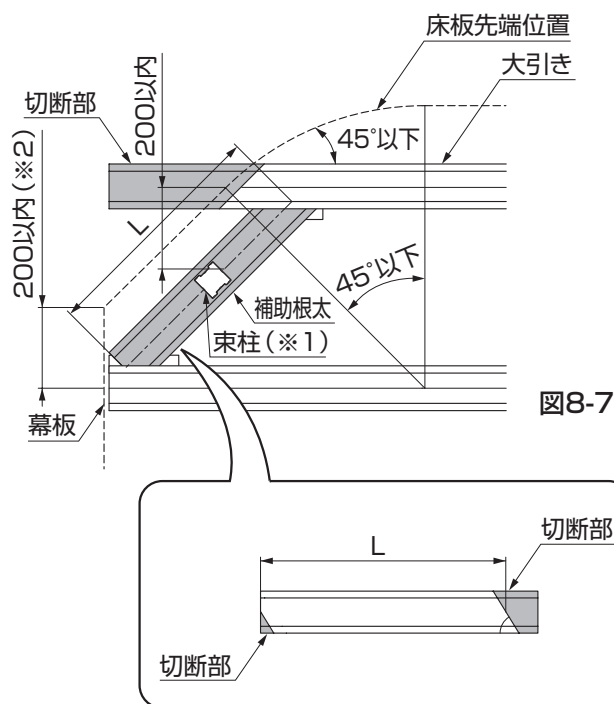


図8-7

ポイント

- 床板の角度切りは、45°以下で切断するように補助根太をつけてください。

- ①床板の先端に合わせて大引きを切断してください。

ポイント

- L寸法が800mm以上の場合、中間部に束柱(※1)を設置してください。
- 補助根太の中心から床板先端まで200mm以内にしてください。
- 側面幕板のとび出し(※2)は200mm以内にしてください。

- ②L寸法を実測して、現物に合わせて補助根太を切断してください。

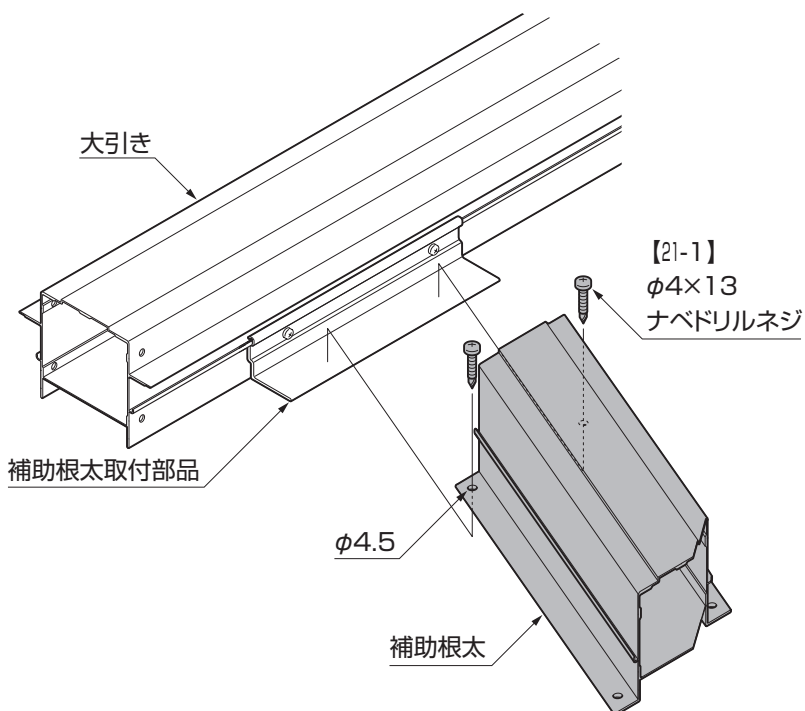


図8-8

- ③補助根太に3ヶ所、φ4.5の孔をあけてください。

- ④補助根太を補助根太取付部品に、【21-1】で固定してください。

9. 躯体付けアングルの取付け **オプション**

※躯体面と大引きとの距離が200mmを超える場合の作業です。

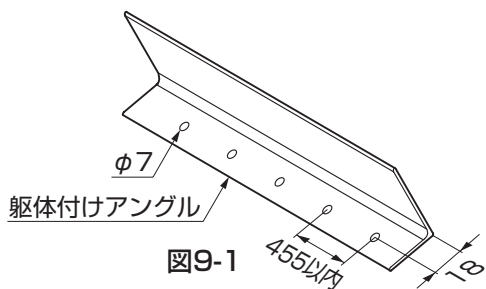


図9-1

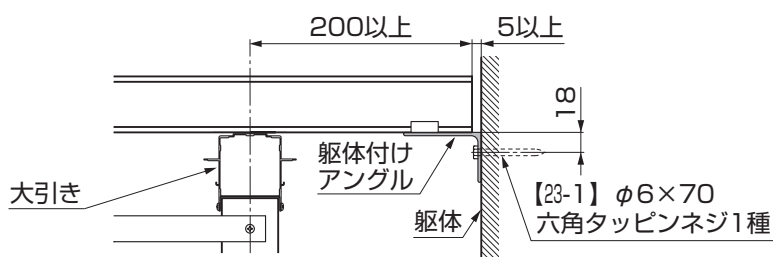


図9-2

ポイント

● 躯体付けアングル上面と、大引き上面の高さは同じにしてください。

- ① 躯体付けアングルにφ7の孔を、455mmピッチ以内であけてください。
- ② 躯体付けアングルの躯体に【23-1】で固定してください。

ポイント

● 【23-1】は、躯体の構造部材に取付けてください。

10. 正面幕板取付材(大引き固定用)の取付け ※正面幕板を大引き固定する場合の作業です。

10-1 正面幕板取付材(大引き固定用)の取付け位置の確認

(1) 幕板Aの場合

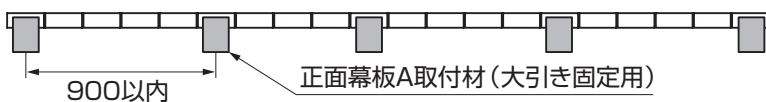


図10-1

- ① 図を参照して、正面幕板A取付材(大引き固定用)を取付ける位置を確認してください。

ポイント

- 取付位置は幕板Aでは床板3枚おきの箇所と床板4枚おきの箇所がありますので、注意してください。
- 正面幕板取付材(大引き固定用)は、始まりと終わり、および幕板接続部に必ず取付けてください。
- フェンスベースプレートの固定に正面幕板取付材(大引き固定用)を用いる場合は、「E204デッキフェンス、E205ウッドパーティション、E206ハイパーパーティション、E290サニープリーズフェンスベースプレート仕様、E291モダンデッキフェンス」の取付説明書を参考に位置を確認してください。

10-2 正面幕板取付材(大引き固定用)の取付け

(1) 正面幕板A取付材(大引き固定用)の場合

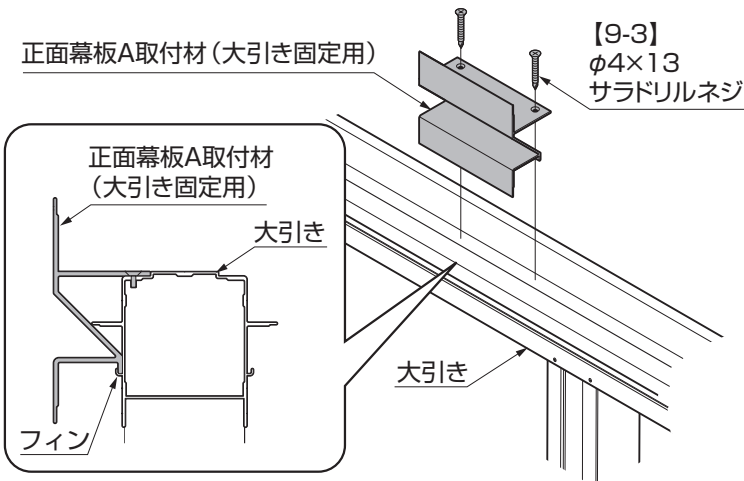


図10-2

- ① 正面幕板A取付材(大引き固定用)を大引きのフィンに引っかけて取付けてください。
- ② 正面幕板A取付材(大引き固定用)を大引きに【9-3】で固定してください。

10. つづき

(2) 正面幕板A取付材(大引き固定用)を内側からネジ止めする場合

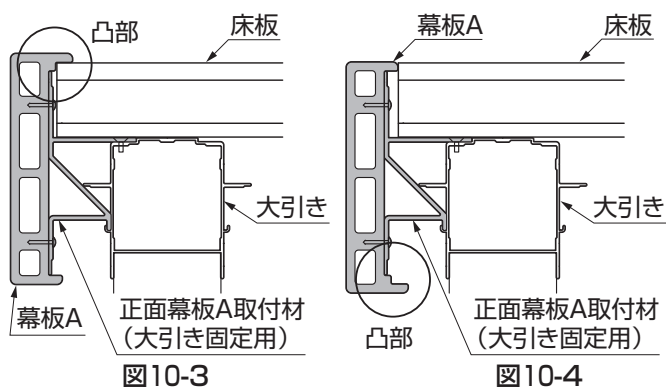


図10-3

図10-4

ポイント

- 幕板Aの凸部を上(上)に正面幕板A取付材(大引き固定用)を取付けると、幕板と床板のすき間を隠すことができますが、床板との段差ができます。(図10-3参照)
- 幕板Aの凸部を下(下)に正面幕板A取付材(大引き固定用)を取付けると、床板はフラットになります。(図10-4参照)

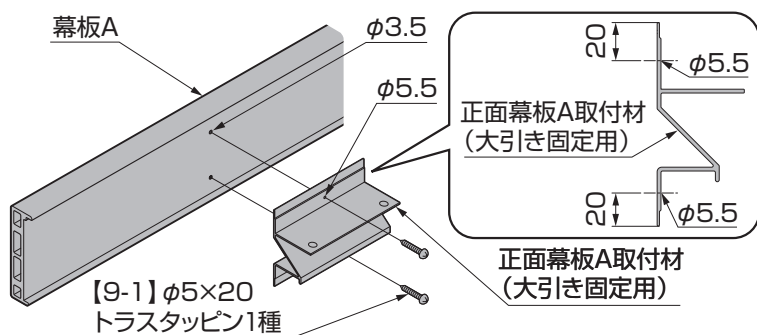


図10-5

- ①正面幕板A取付材(大引き固定用)に上部から20mmと下部から20mmに2ヶ所、φ5.5の孔をあけてください。(図10-5参照)
- ②正面幕板A取付材(大引き固定用)を幕板Aにあてて、幕板Aにφ3.5の下孔をあけてください。
- ③正面幕板A取付材(大引き固定用)を幕板Aに、【9-1】で取付けてください。
- ④正面幕板A取付材(大引き固定用)を、大引きのフィンに引っかけて取付けてください。
- ⑤正面幕板A取付材(大引き固定用)を、大引きに【9-3】で固定してください。

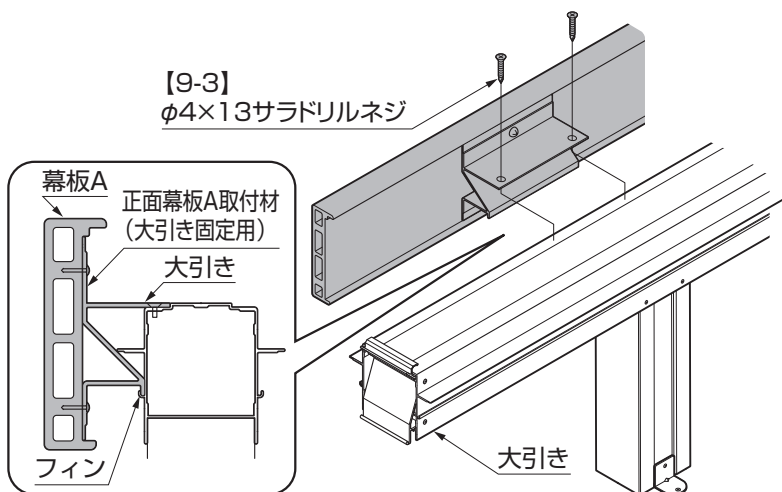


図10-6

11. 床板の取付け

11-1 床板取付上の注意

(1) Rコーナー、角度切り取付上の注意

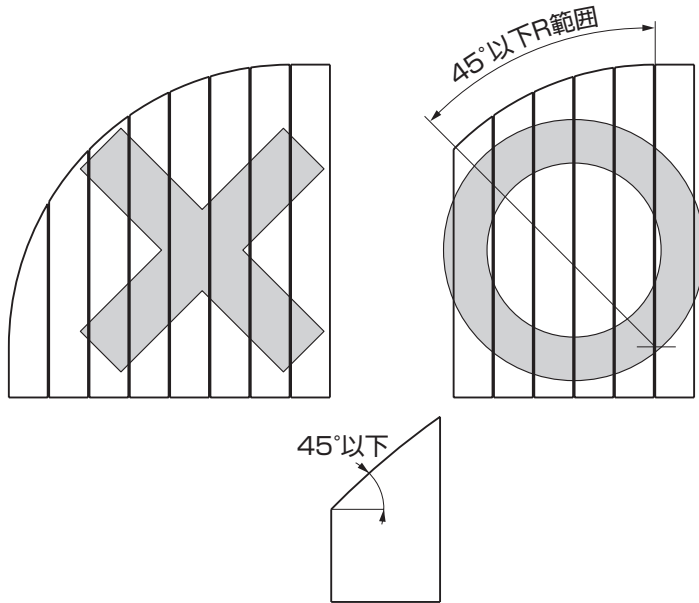


図11-1

ポイント

- Rコーナーは800R以上にしてください。
- 床板のRコーナー納りは正面側から45°の範囲までです。
- 床板の切断は45°以下にしてください。(図11-1参照)

(2) くり貫き納まりの床板取付上の注意

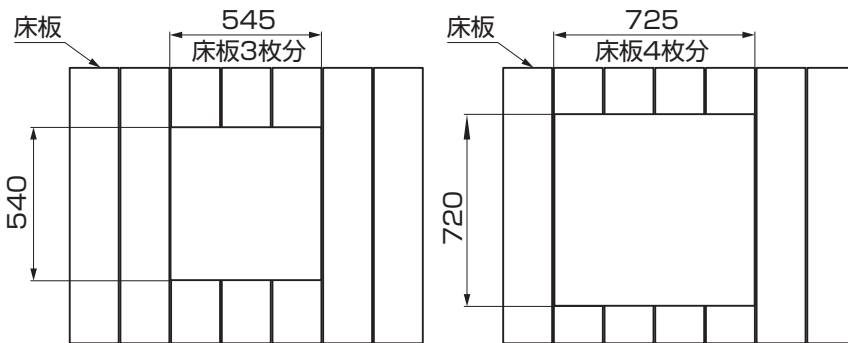


図11-2

ポイント

- 床板3枚分、または4枚分をあけて床板を取付けてください。

(3) タイルフロアの床板取付上の注意

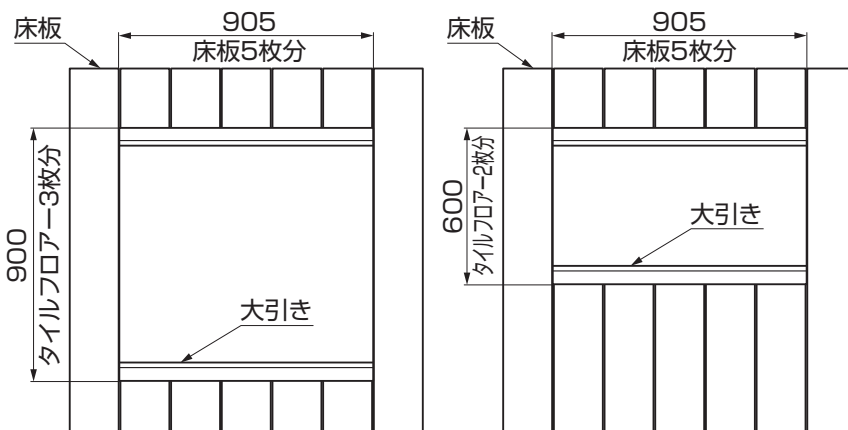


図11-3

ポイント

- 床板5枚分をあけて床板を取付けてください。

11. つづき

11-2 床板の固定 ※図は側面幕板A取付材の場合を示します。

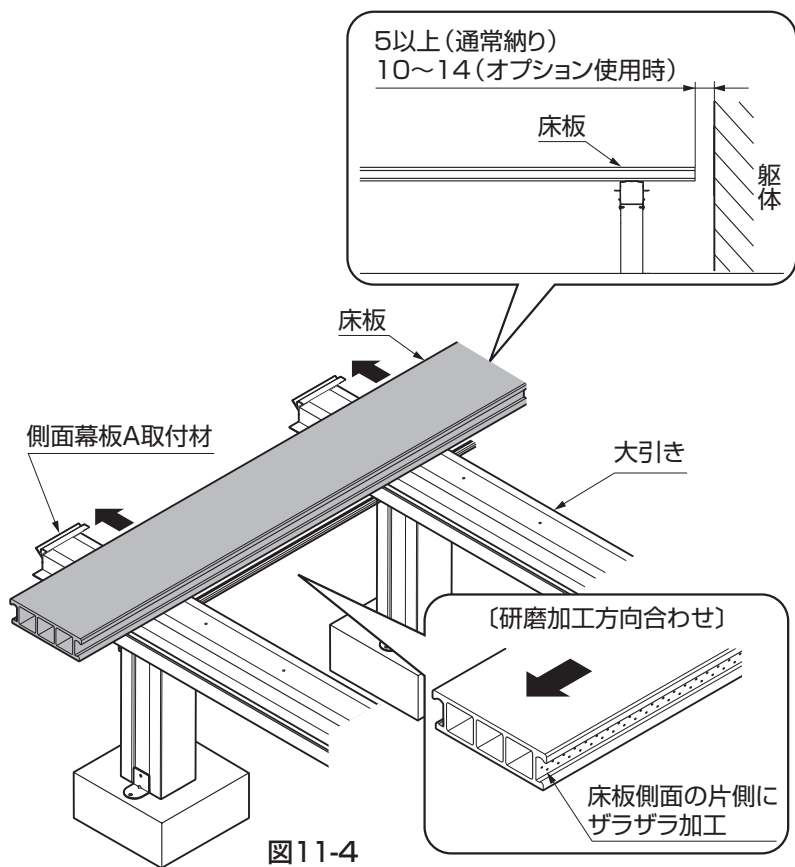


図11-4

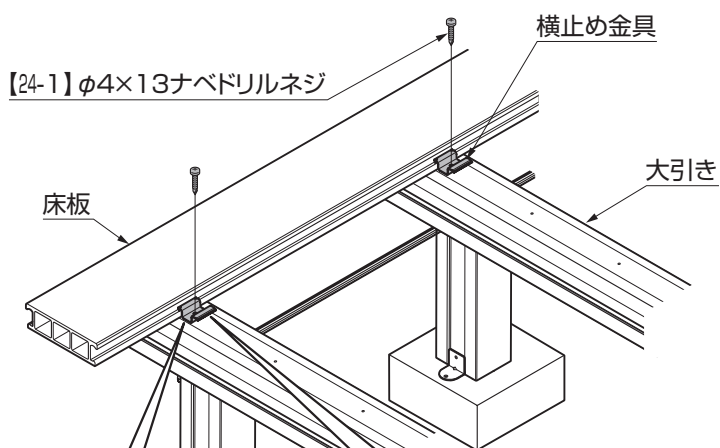
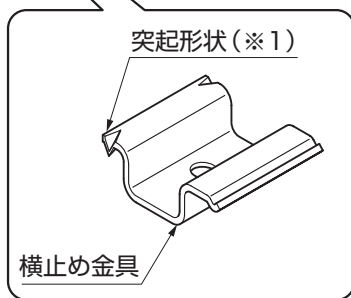
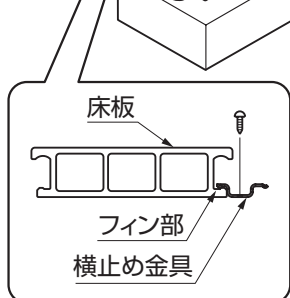


図11-5



①床板を大引きの側面幕板A取付材、または側面幕板B取付材に差し込んでください。

ポイント

- 床板表面は研磨加工がされており、研磨方向によっては色がちがって見える場合があります。床板施工時に床板側面の片側にあるザラザラした面を合わすと研磨方向がそろいます。
- 床板と躯体等はすき間をあけてください。
- 通常納り:5mm以上
- 躯体側隙間塞ぎ材(オプション)使用時:10~14mm

②横止め金具を床板のフィン部に乗せて、【24-1】で下孔の位置に取付けてください。

ポイント

- 突起形状(※1)のある側を、床板のフィン部に取付けてください。

11. つづき

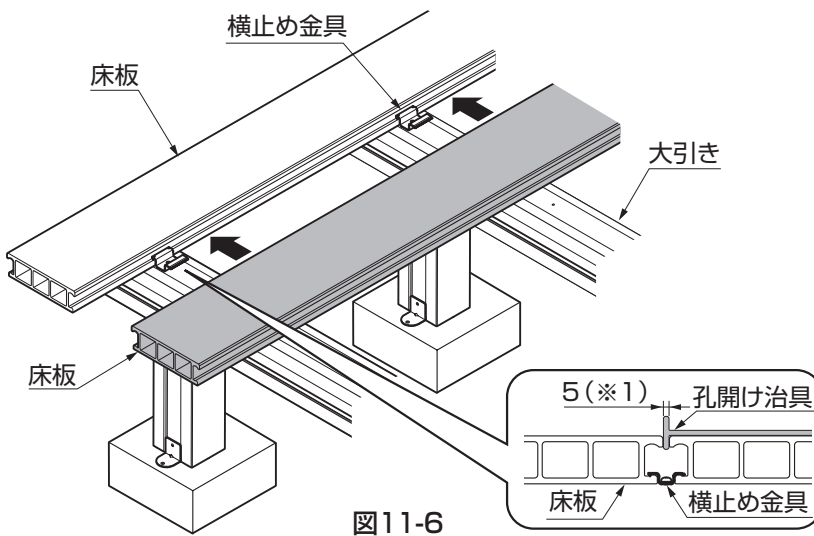


図11-6

- ③床板同士のすき間が5mm(※1)になるように、床板を横止め金具に差し込んでください。

ポイント

- 床板のすき間は孔開け治具で確認できます。
- 入りにくい時はゴムハンマーで軽くたたいて入れてください。

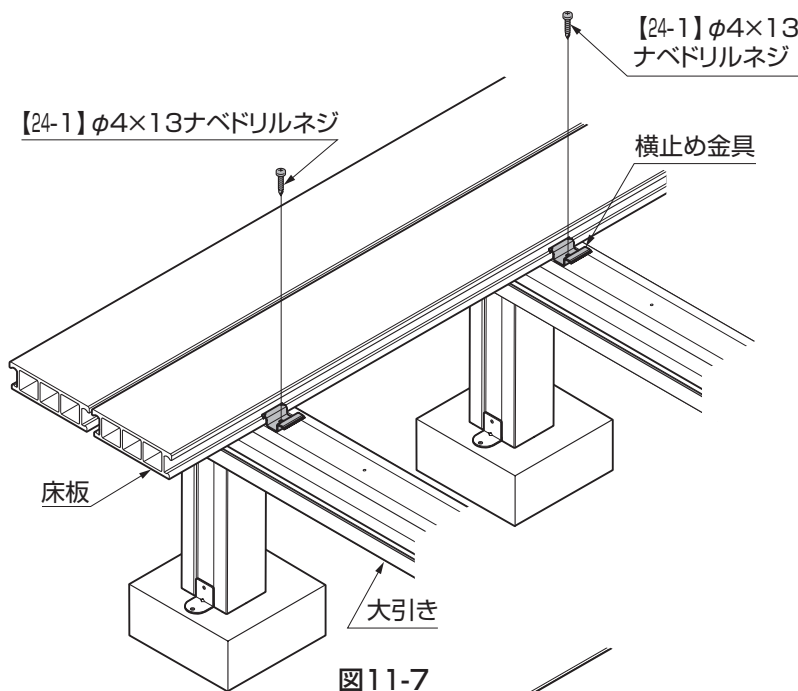


図11-7

- ④2枚目以降も横止め金具を【24-1】で大引きの下孔の位置に取付けてください。

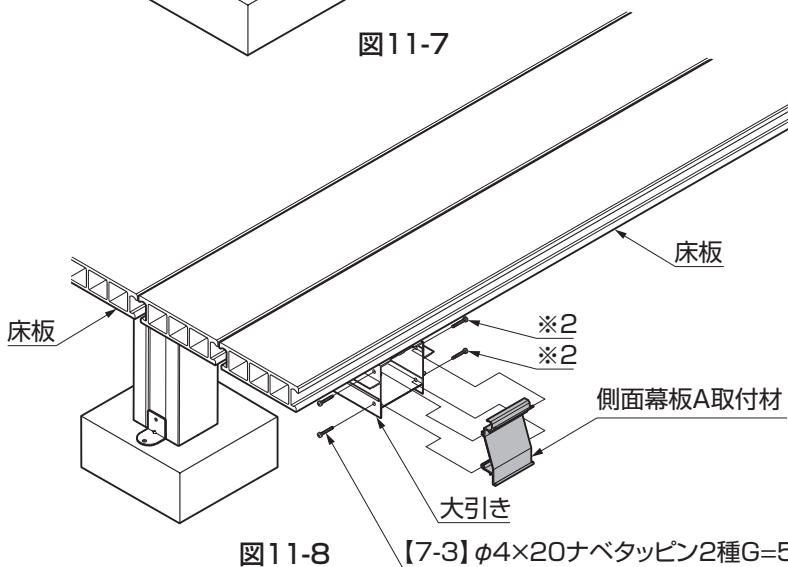


図11-8

- ⑤側面幕板A取付材または側面幕板B取付材を大引きに【7-3】、または【8-2】で取付けてください。

ポイント

- 正面幕板取付材(大引き固定用)を使用する場合、【7-3】は2本止め(※2)してください。

11. つづき

11-3 横止め金具で固定できない場合

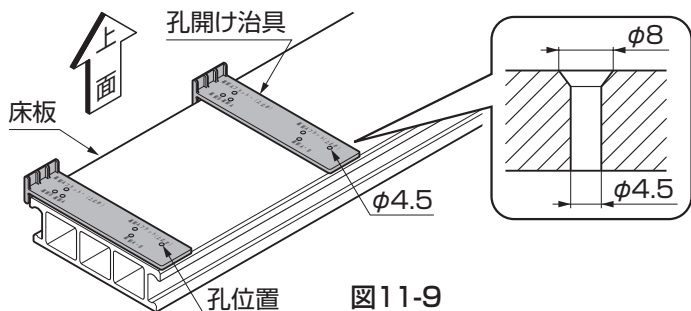


図11-9

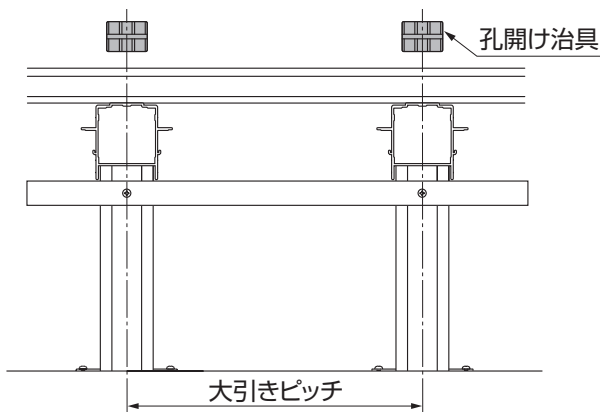


図11-10

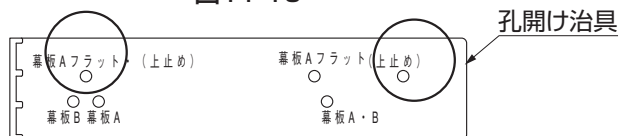


図11-11

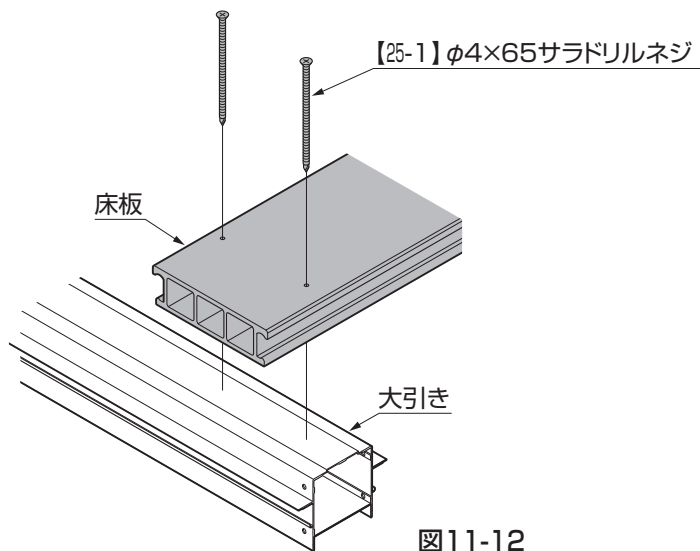


図11-12

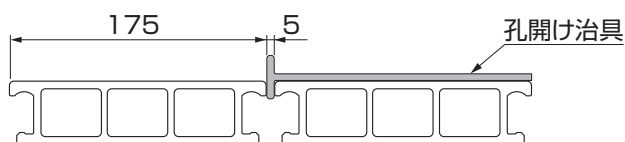


図11-13

①床板を「3.基本寸法」を参照して、大引きのピッチで孔開け治具を使って、φ4.5の貫通孔をあけてください。
(図11-9、図11-10参照)

ポイント

- 孔開け治具の○印の孔を使ってください。(図11-11参照)
- 床板先端と孔開け治具の向きを逆にしない様注意してください。

②床板上面のφ4.5の孔にφ8サラ取り加工をしてください。

③床板を大引きに、【25-1】で固定してください。

ポイント

- 電動ドライバー等での締め付け過ぎに注意してください。締め込み過ぎると床板が割れるおそれがあります。
- 孔開け治具を使って、床板と床板のすき間を5mmにしてください。
(図11-13参照)

11. つづき

11-4 入隅納りの場合

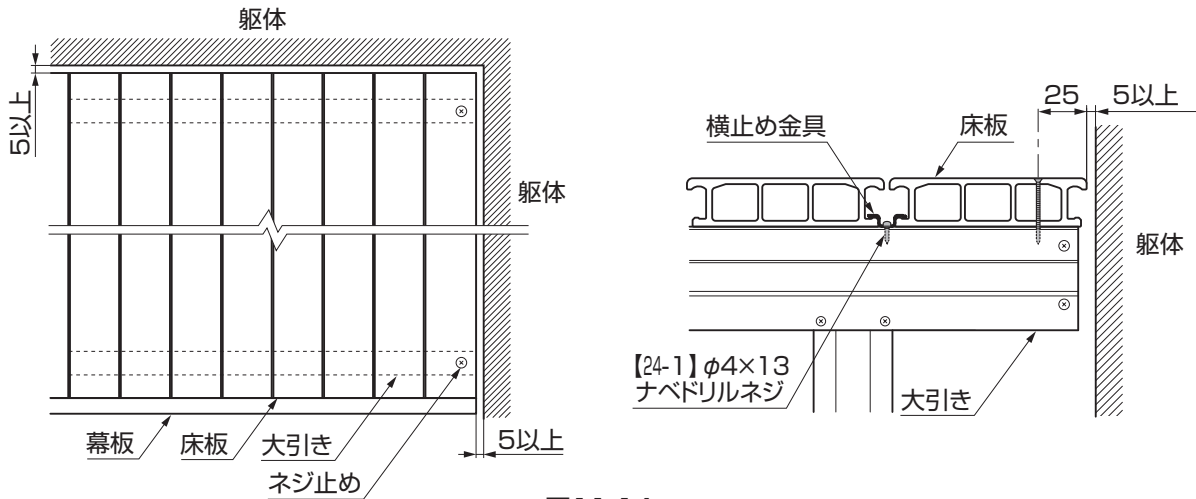


図11-14

- ① 躯体と床板・幕板のすき間を5mm以上あけてください。
- ② 床板の躯体側は「11-3 横止め金具で固定できない場合」および「19. 横止め金具の付け替え(オプション)」を参照のうえ固定してください。

11-5 床板の縦連結の場合

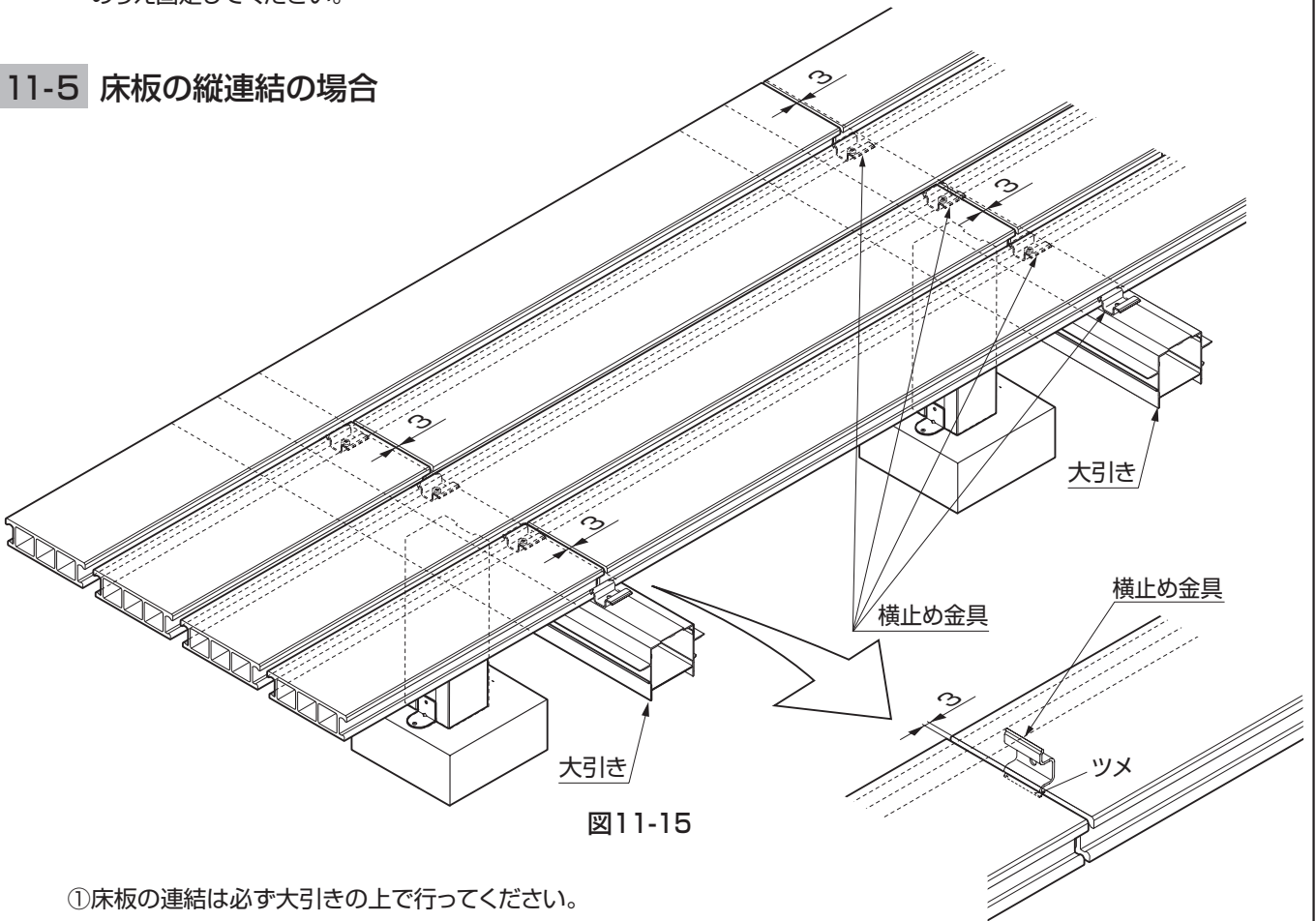


図11-15

図11-16

- ① 床板の連結は必ず大引きの上で行ってください。
 - ② 床板連結部のすき間は3mmにしてください。
 - ③ 連結部の床板小口は軽く(1mm以下)面取りをしてください。
- ※ 図11-15は床板を干鳥で張った場合です。目地をそろえて床板を張る場合も同様にしてください。
 ※ 横止め金具を図11-16のように治具として使うと目地が3mmになります。

12. くり貫き部幕板の取付け **オプション**

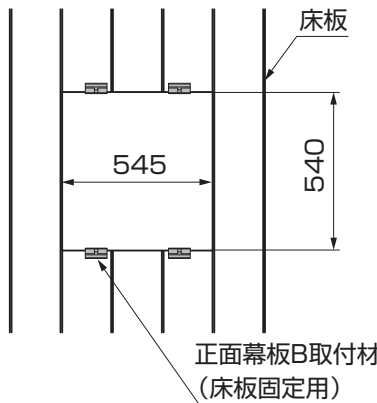


図12-1 3枚抜きの場合

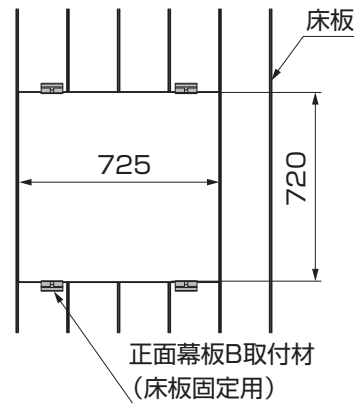


図12-2 4枚抜きの場合

ポイント

- 床板に内寸法545mm×540mm、または725mm×720mmあいているか確認してください。(図12-1、図12-2参照)

- ①正面幕板B取付材(床板固定用)を床板の4ヶ所にはめこんでください。(図12-1、図12-2参照)

位置決めライン①(※1)

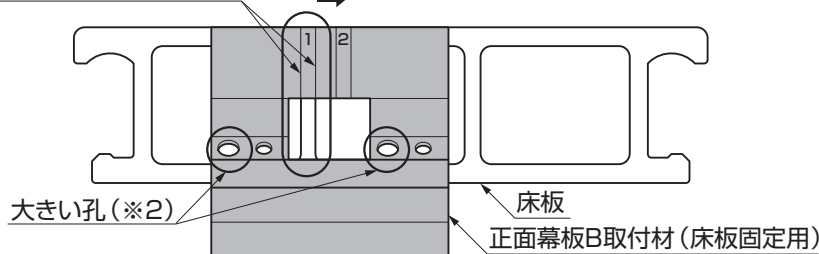


図12-3

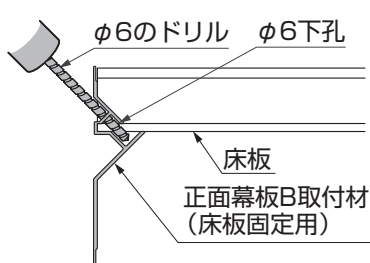


図12-4

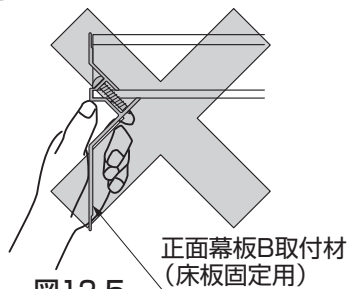


図12-5

ポイント

- 正面幕板B取付材(床板固定用)がずれないように押さえながら孔をあけてください。

- ②正面幕板B取付材(床板固定用)を床板中空部にはめこみ、同取付材の左側位置決めライン①(※1)に床板リブを合わせ、左側の孔(※2)に従ってφ6の下孔をあけてください。

ポイント

- 床板に下孔をあけるとき、正面幕板B取付材(床板固定用)には孔をあけないように注意してください。

位置決めライン②(※3)

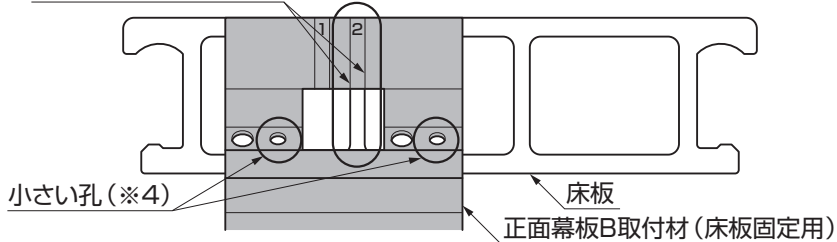


図12-6

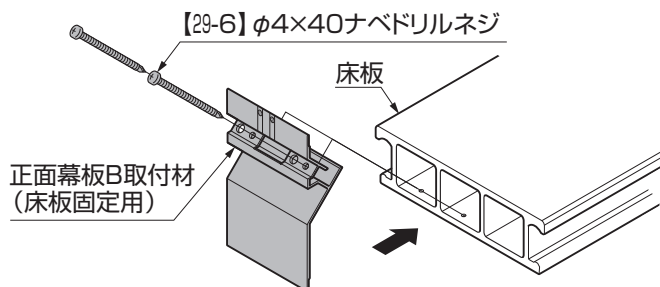


図12-7

注意

- 正面幕板B取付材(床板固定用)の下部を持って【29-6】で固定してください。上部を持つと貫通したネジ先で手を傷つける場合があります。

- ③正面幕板B取付材(床板固定用)を右側位置決めライン②(※3)に床板リブを合わせ、右側の孔(※4)へ【29-6】で固定してください。

12. つづき

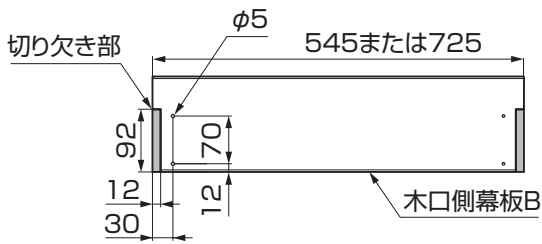


図12-8

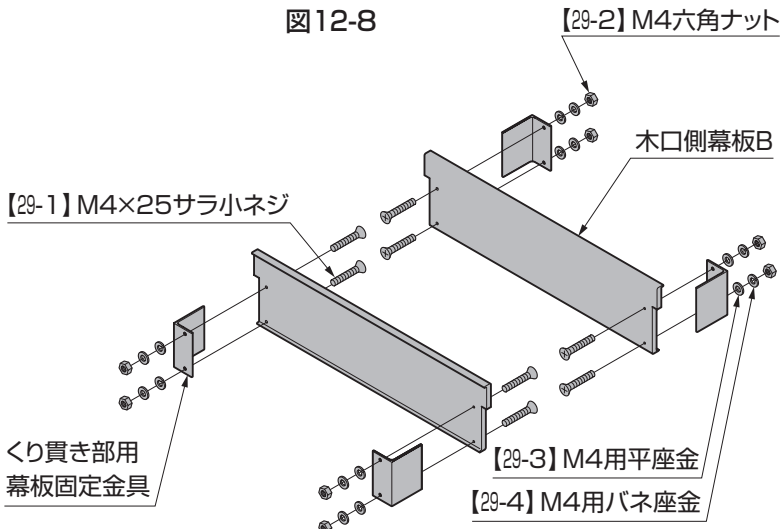


図12-9

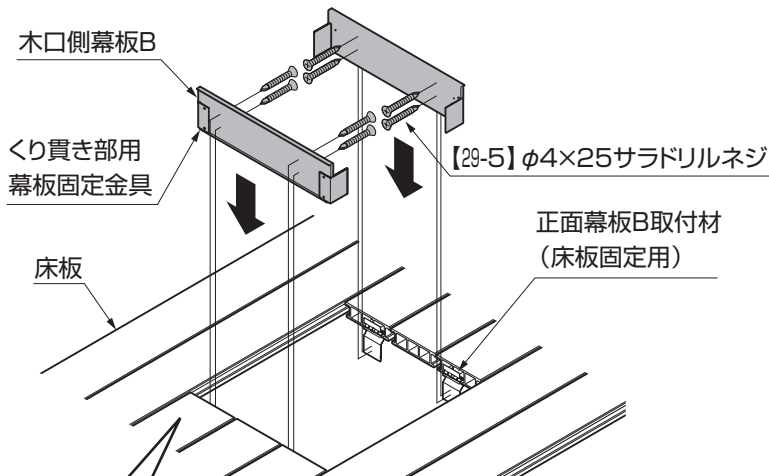


図12-10

④ 幕板Bを545mm、または725mm幅で切断してください。

⑤ 木口側幕板Bの両端に切り欠き加工をして、4ヶ所、φ5の下孔をあけてください。(図12-8参照)

⑥ 木口側幕板Bの両端にくり貫き部幕板固定金具を【29-1】、【29-2】、【29-3】、【29-4】で固定してください。

⑦ 木口側幕板Bを正面幕板B取付材(床板固定用)に、【29-5】で取付けてください。

12. つづき

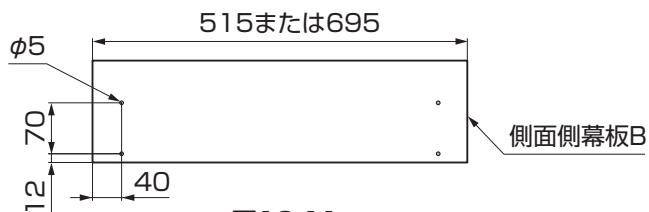


図12-11

⑧幕板Bを515mm、または695mm幅に切断してください。

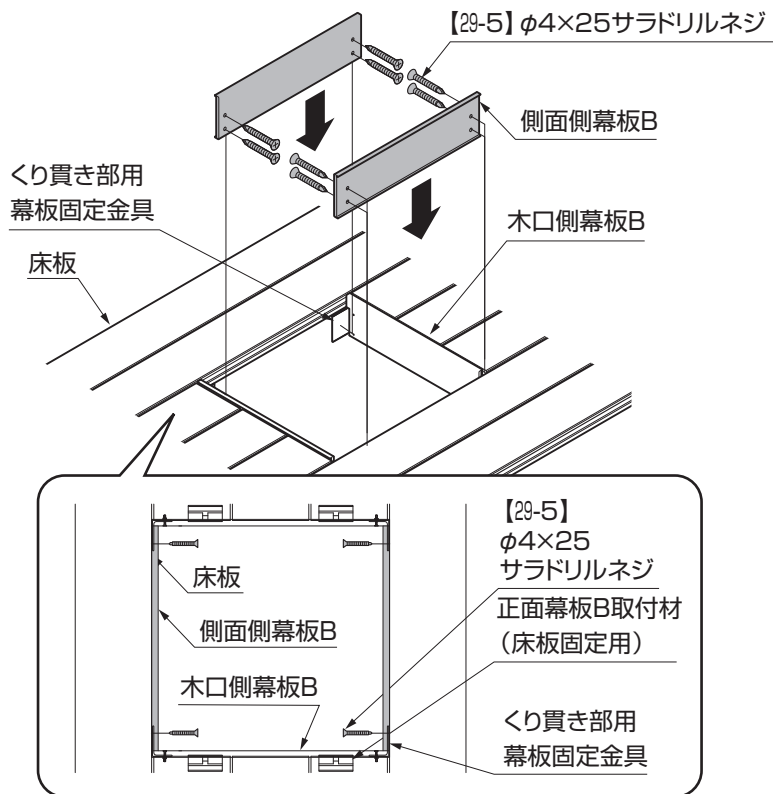


図12-12

⑨側面側幕板Bの両端に4ヶ所、φ5の下孔をあけてください。(図12-11参照)

⑩側面側幕板Bを、くり貫き部用幕板固定金具に【29-5】で取付けてください。

13. タイルフロアーの取付け **オプション**

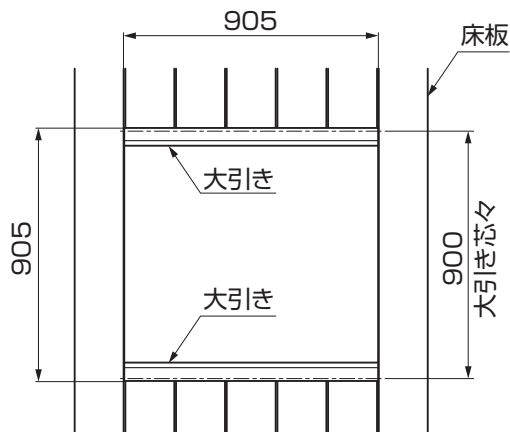


図13-1

ポイント

●床板に内々寸法905×905mmあいているか確認してください。

13. つづき

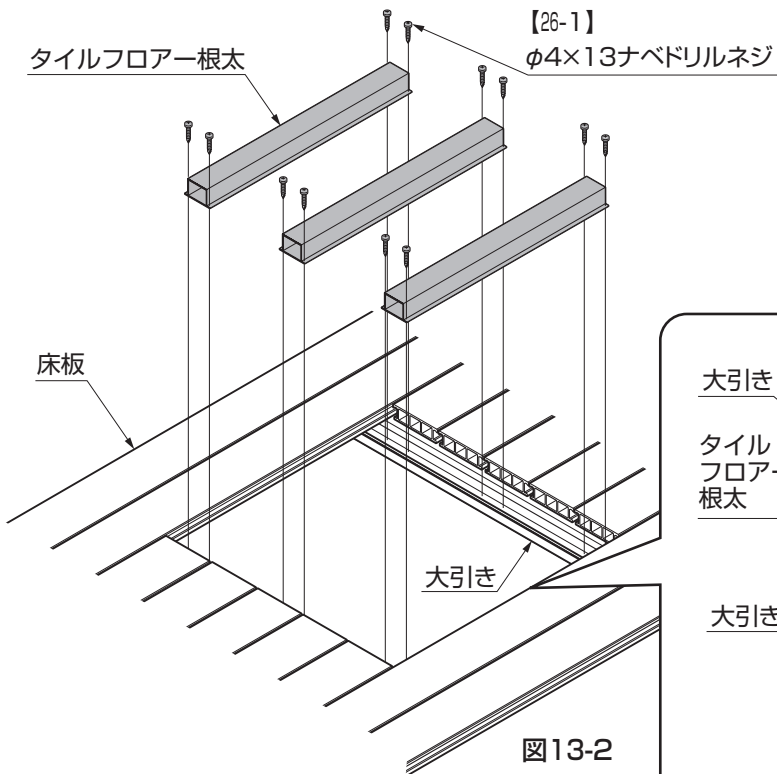


図13-2

- ①タイルフローア-根太を大引きに、400mmピッチで3つ【26-1】で取付けてください。(図13-2参照)

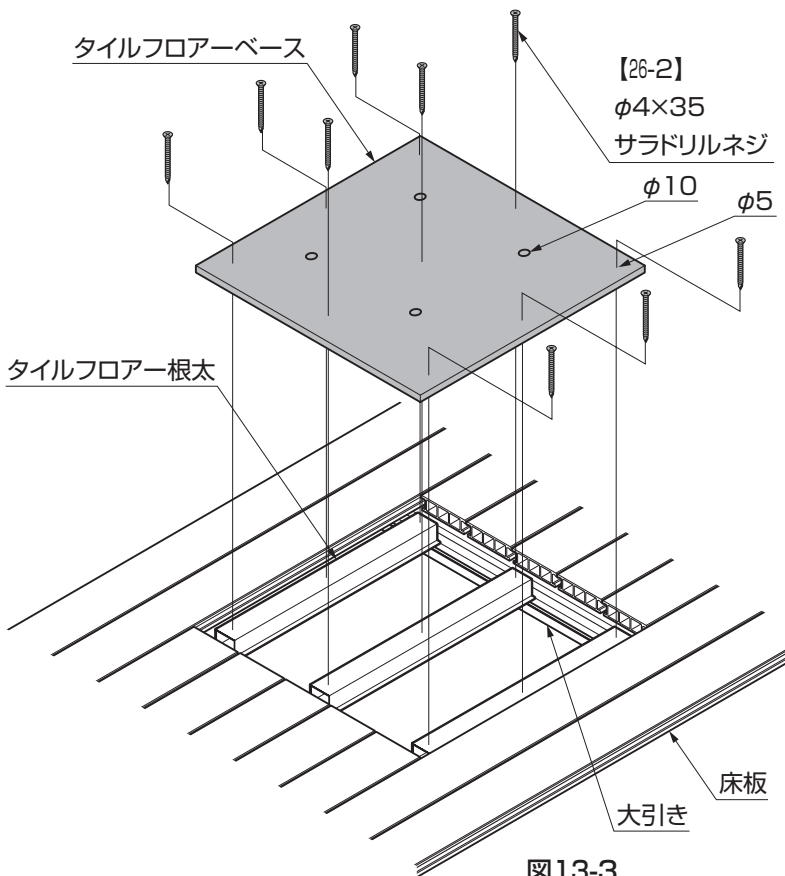


図13-3

- ②タイルフローア-ベースを、タイルフローア-根太に【26-2】で固定してください。
 ③タイルフローア-ベースに4ヶ所、 $\phi 10$ の水抜き孔をあけてください。

ポイント

- 水抜き孔はタイルフローア-根太をさけてあけてください。

13. つづき

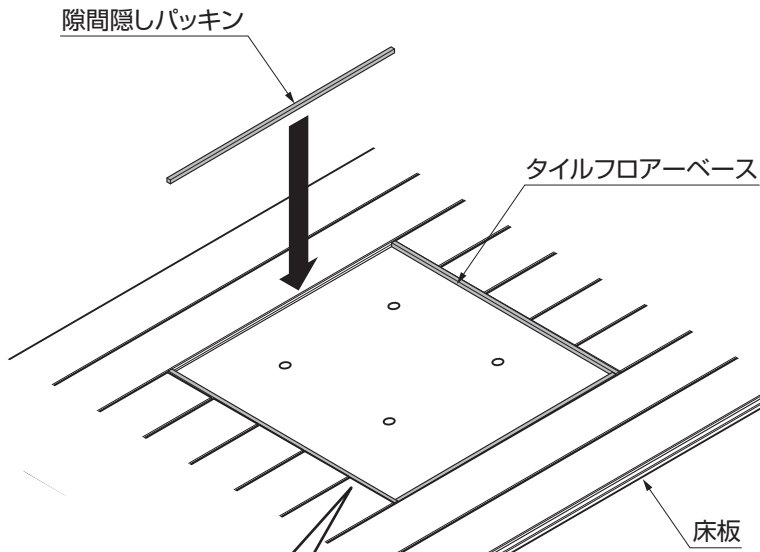
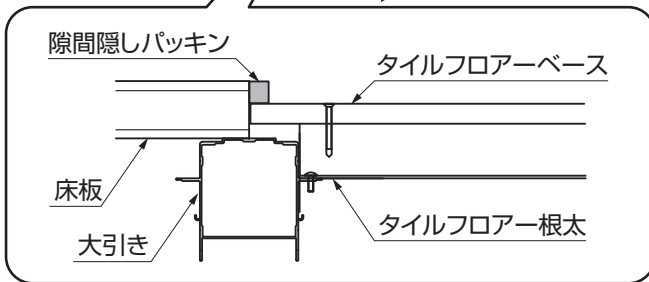


図13-4



④隙間隠しパッキンの「りけい紙」をはがして床板の側面に、4ヶ所貼り付けてください。

ポイント

●タイルフローアのサイズにあわせて、隙間隠しパッキンは切断してください。

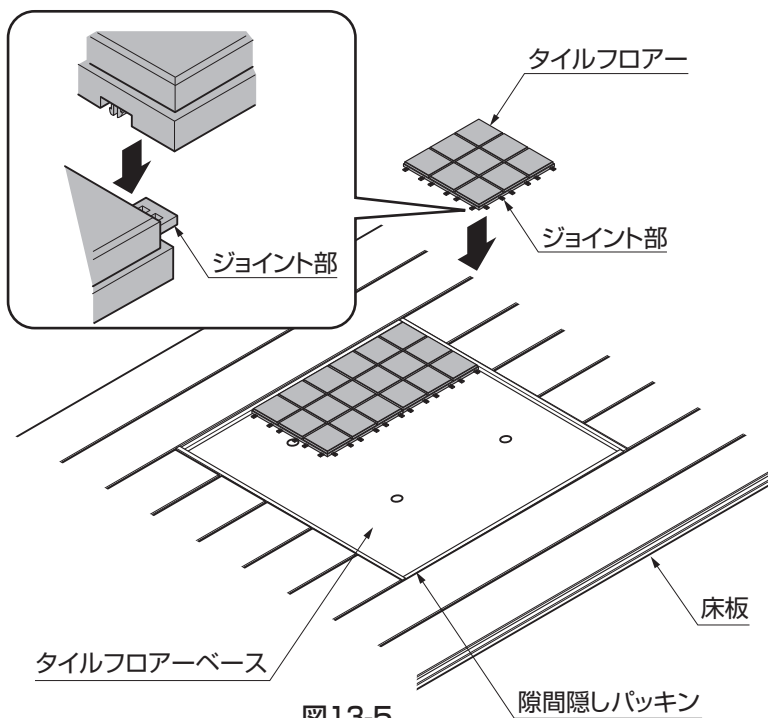


図13-5

⑤タイルフローアの梱包にある施工方法に従って、タイルフローアを連結して敷き詰めてください。

ポイント

●必要のないジョイント部はカッターで切り落としてください。

14. 正面・コーナー幕板取付材の取付け

14-1 正面幕板取付材の取付位置の確認

(1) 幕板Aの場合

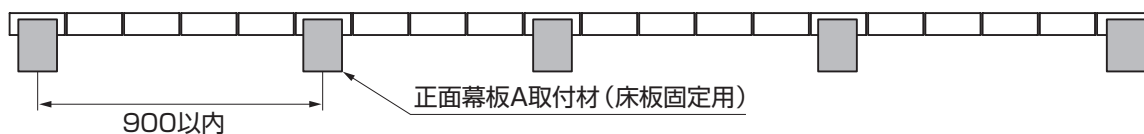


図14-1

(2) 幕板Bの場合

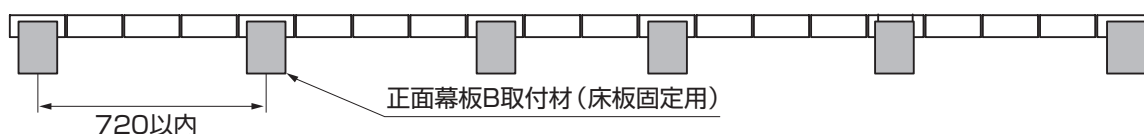


図14-2

幕板取付材位置

幕板接続位置

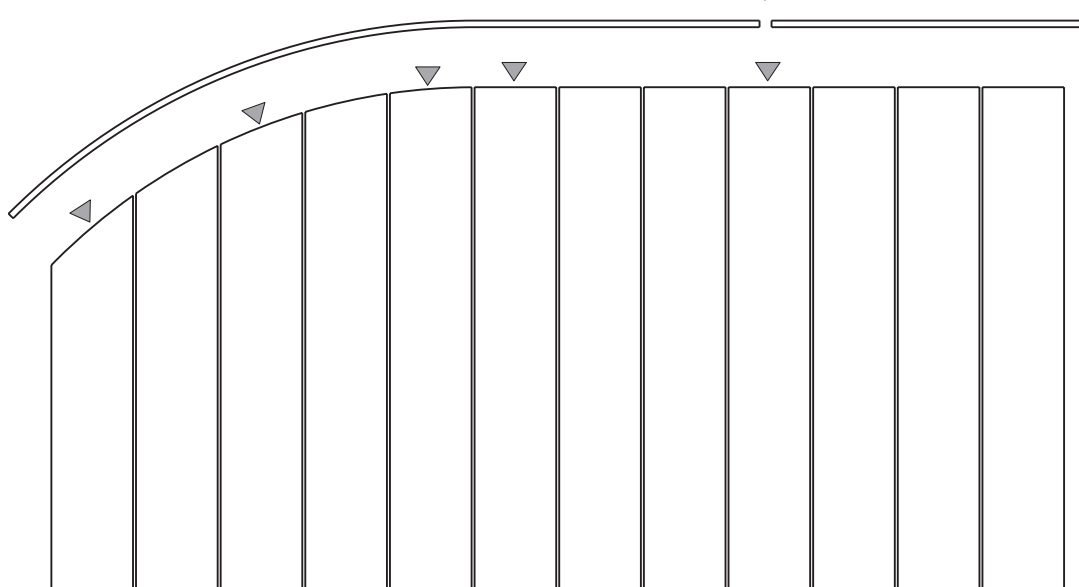


図14-3

- ①正面幕板A取付材(床板固定用)、または正面幕板B取付材(床板固定用)を取付ける位置を確認してください。
(図14-1、図14-2参照)

ポイント

- 取付位置は幕板Aでは床板3枚おきの箇所と床板4枚おきの箇所、幕板Bでは床板2枚おきの箇所と床板3枚おきの箇所がありますので、注意してください。
- コーナー(角度切り直線)部は1~2つおきに取付けてください。
- 正面幕板A取付材(床板固定用)または正面幕板B取付材(床板固定用)は、直線部・コーナー部の始まりと終り、および幕板接続部には必ず取付けてください。

ポイント

- Rコーナー部はコーナー幕板A取付材またはコーナー幕板B取付材を1つおきに取付けてください。
- Rの大きさが途中で変わる場合はそれぞれのRの始まりと終りにコーナー幕板A取付材またはコーナー幕板B取付材を取付けてください。

14. つづき

14-2 幕板取付材の取付け

(1) 正面幕板A取付材（床板固定用）の場合

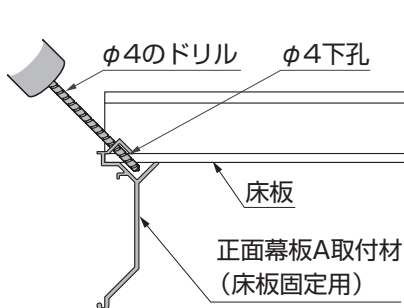


図14-4

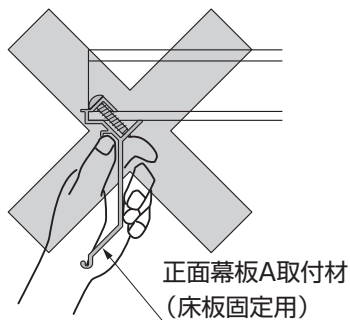


図14-5

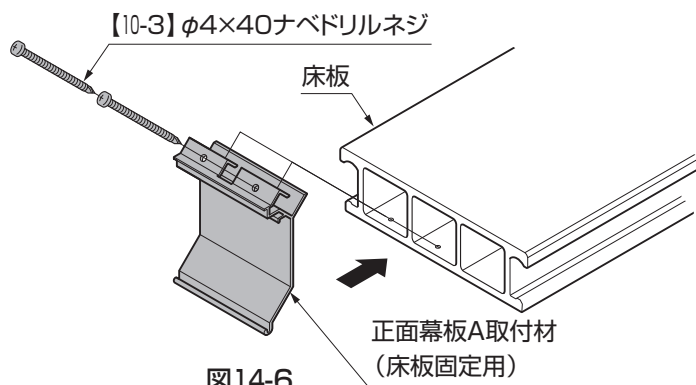


図14-6

(2) 正面幕板B取付材（床板固定用）の場合

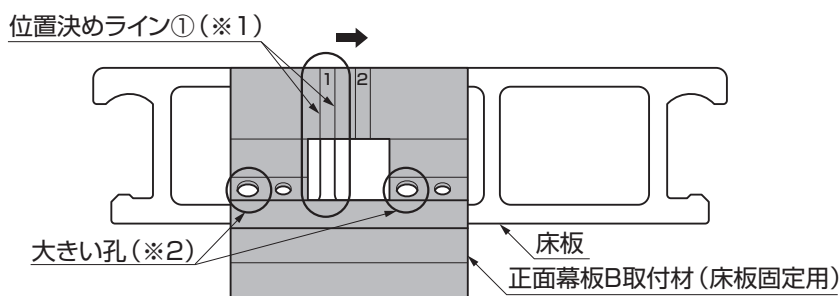


図14-7

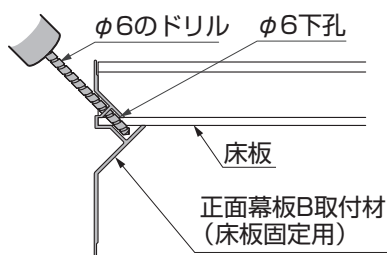


図14-8

ポイント

●正面幕板A取付材（床板固定用）がずれないように押さえながら孔をあけてください。

①正面幕板A取付材（床板固定用）を床板中空部にはめこみ、正面幕板A取付材（床板固定用）の孔に従って床板下面にφ4の下孔をあけてください。

ポイント

●下孔は、正面幕板A取付材（床板固定用）にはあけないでください。

注意

●正面幕板A取付材（床板固定用）の下部を持って、【10-3】で固定してください。上部を持つと貫通したネジ先で手を傷つける場合があります。

②正面幕板A取付材（床板固定用）を、床板中空部に【10-3】で固定してください。

ポイント

●正面幕板B取付材（床板固定用）がずれないように押さえながら孔をあけてください。

①正面幕板B取付材（床板固定用）を床板中空部にはめこみ、同取付材の左側位置決めライン①(※1)に床板リブを合わせ、左側の孔(※2)に従ってφ6の下孔をあけてください。

ポイント

●床板に下孔をあけるときの、正面幕板B取付材(床板固定用)には孔をあけないように注意してください。

14. つづき

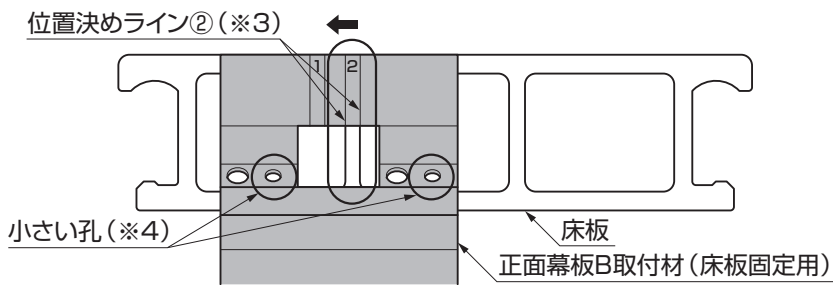


図14-10

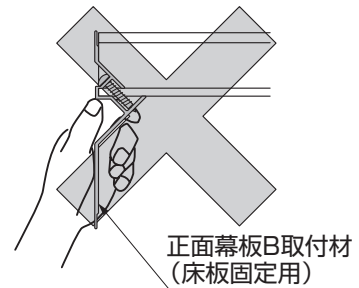


図14-9

⚠ 注意

- 正面幕板B取付材 (床板固定用) の下部を持って、【11-2】で固定してください。上部を持つと貫通したネジ先で手を傷つける場合があります。

- ② 正面幕板B取付材 (床板固定用) を右側位置決めライン② (※3) に床板リップを合わせ、右側の孔 (※4) へ【11-2】で固定してください。

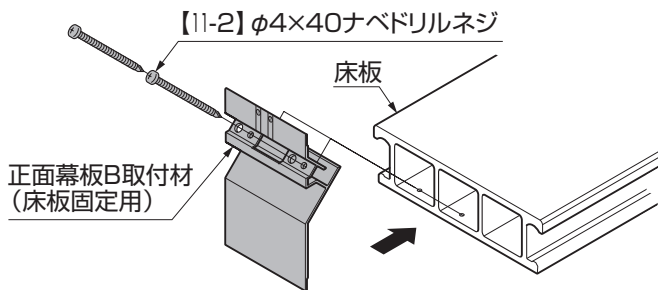


図14-11

(3) コーナー幕板A取付材 (角度切り用) の場合

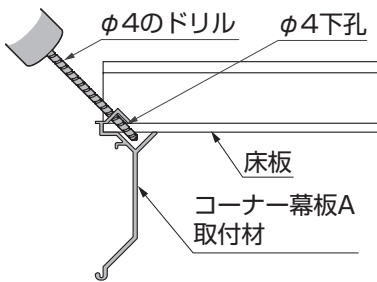


図14-12

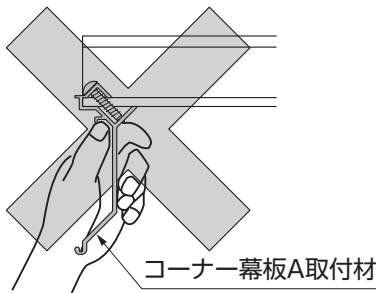


図14-13

🔑 ポイント

- コーナー幕板A取付材がずれないように押さえながら孔をあけてください。

- ① コーナー幕板A取付材を床板中空部にはめこみ、コーナー幕板A取付材の孔に従って床板下面にφ4の下孔をあけてください。

🔑 ポイント

- 床板に下孔をあけるときの、コーナー幕板A取付材には孔をあけないように注意してください。

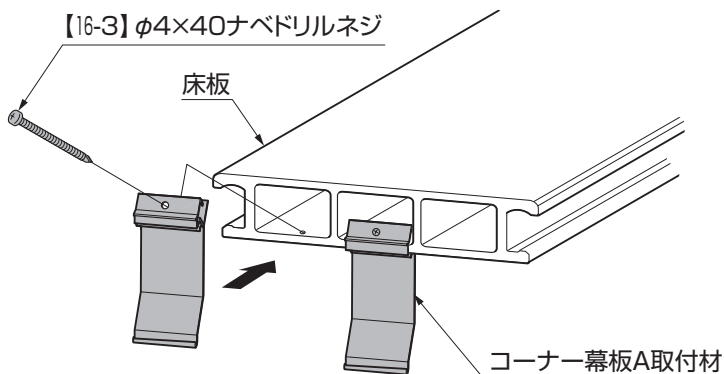


図14-14

⚠ 注意

- コーナー幕板A取付材の下部を持って【16-3】で固定してください。上部を持つと貫通したネジ先で手を傷つける場合があります。

- ② コーナー幕板A取付材を、床板中空部2ヶ所に1つずつ【16-3】で固定してください。

14. つづき

(4) コーナー幕板B取付材セット (R用/角度切り用) の場合

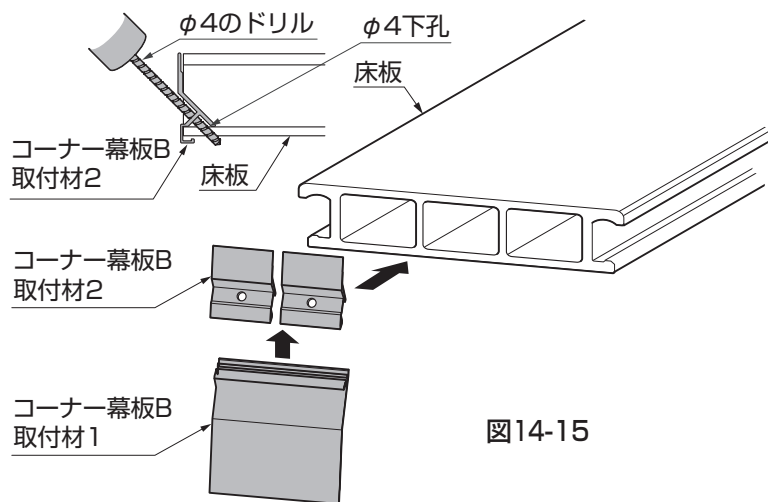


図14-15

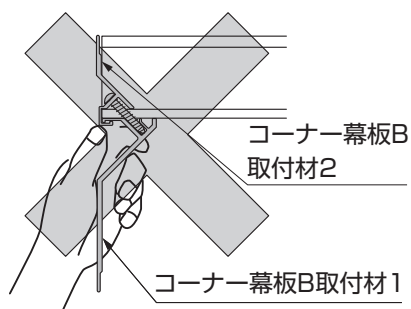


図14-16

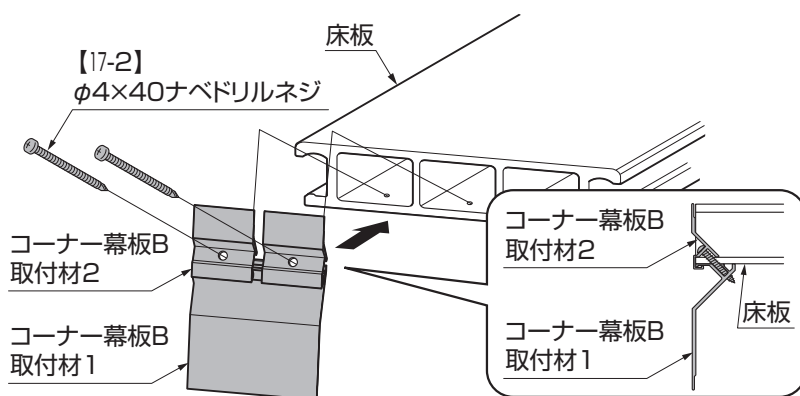


図14-17

ポイント

●コーナー幕板B取付材2がずれないように押さえながら孔をあけてください。

- ①コーナー幕板B取付材2を床板中空部2ヶ所に1つずつはめこみ、コーナー幕板B取付材2の孔に従って床板下面にφ4の下孔をあけてください。
- ②コーナー幕板B取付材1をコーナー幕板A取付材2にひっかけて取付けてください。

注意

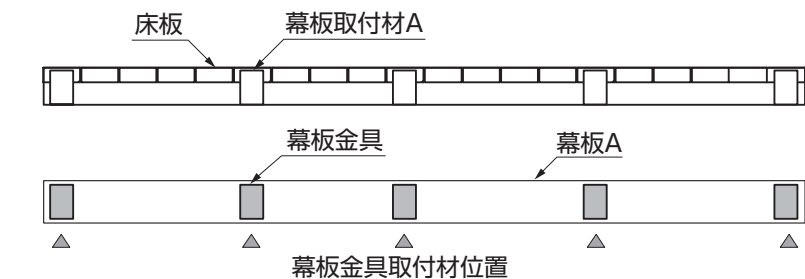
●コーナー幕板B取付材1の下部を持って【17-2】で固定してください。上部を持つと貫通したネジ先で手を傷つける場合があります。

- ③コーナー幕板B取付材1を取付けたコーナー幕板B取付材2を床板中空部に【17-2】で固定してください。

15. 幕板の取付け

15-1 幕板Aの場合

(1) 幕板金具の取付け



幕板金具取付材位置

図15-1

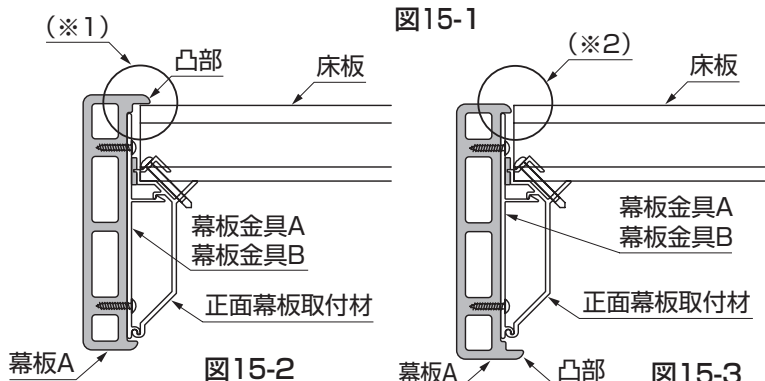


図15-2

図15-3

①幕板取付材の位置を確認して、幕板金具Aまたは幕板金具Bを取付ける位置を確認してください。

ポイント

- 幕板Aの凸部を上にも幕板金具を取付けると、幕板と床板の隙間(※1)を隠すことができますが、床板との段差ができます。(図15-2参照)
- 幕板Aの凸部を下にも幕板金具を取付けると、床板はフラット(※2)になります。(図15-3参照)

ポイント

- 幕板金具Aには、クッション材(※4)をフィンから5mmあけて貼り付けてください。
- フリーコーナー部の場合は、幕板金具Bを【16-1】で取付けてください。

②幕板金具Aまたは幕板金具Bを幕板Aに当てて、 $\phi 3.5$ の下孔をあけてください。

ポイント

- 幕板金具Aまたは幕板金具Bをあてる際は、幕板Aのへこみの上側(※3)につき当たるようにしてください。

③幕板Aの上下を確認して、幕板Aに幕板金具Aまたは幕板金具Bを、【10-1】または【16-1】で固定してください。

①幕板金具Aまたは幕板金具Bに、 $\phi 4.5$ の下孔を2ヶ所あけてください。

ポイント

- 幕板金具Aには、クッション材(※4)をフィンから5mmあけて貼り付けてください。
- フリーコーナー部の場合は、幕板金具Bを【16-1】で取付けてください。

②幕板金具Aまたは幕板金具Bを幕板Aの端部より半分出るようにあてて、 $\phi 3.5$ の下孔をあけてください。

③幕板Aの上下を確認して、幕板Aに幕板金具Aまたは幕板金具Bを、【10-1】または【16-1】で固定してください。

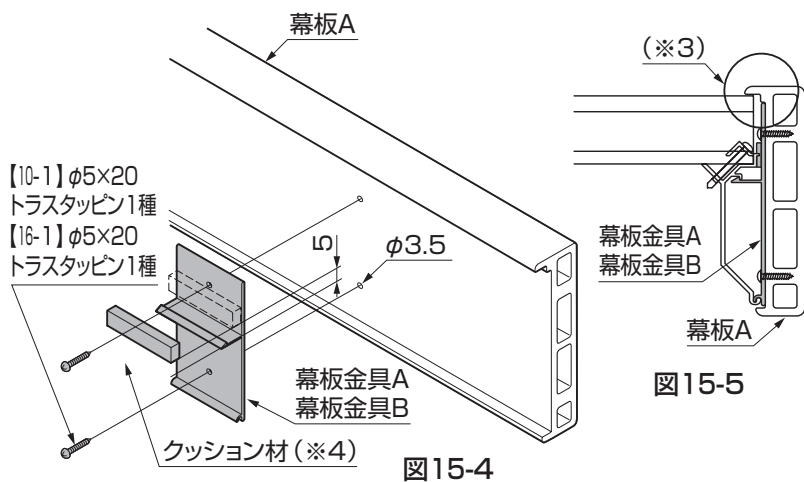


図15-4

図15-5

(2) 連結部の場合

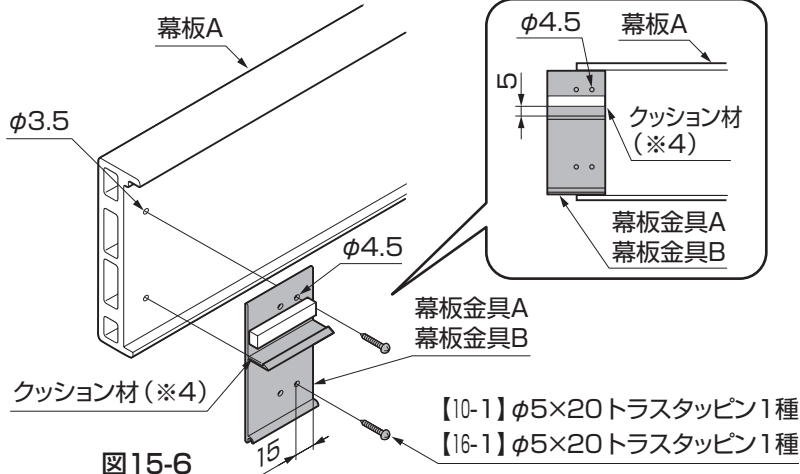


図15-6

【10-1】 $\phi 5 \times 20$ トラスタッピン1種
【16-1】 $\phi 5 \times 20$ トラスタッピン1種

15. つづき

(3) 直線・90度コーナーの場合

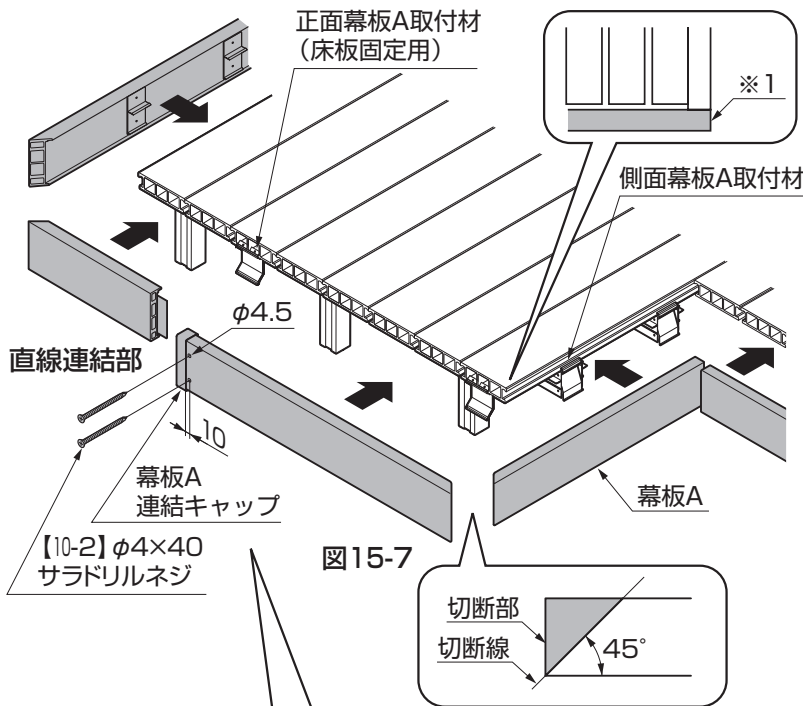
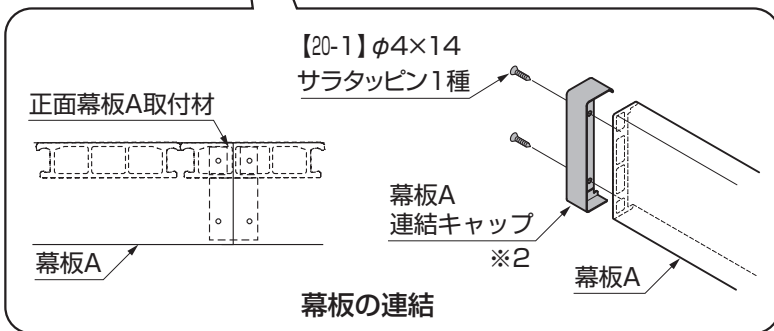


図15-7



幕板の連結

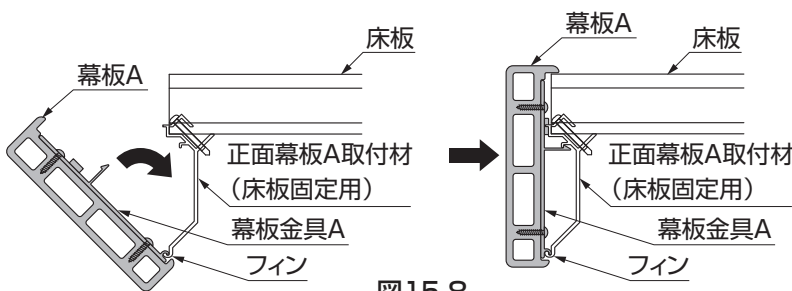


図15-8

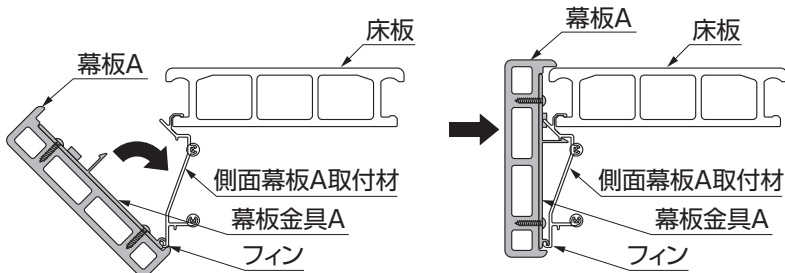


図15-9

ポイント

- デッキ上にフェンスを取付ける場合は、フェンス取付け後に幕板を固定してください。

- ①90°コーナー部の端部は、45°に切断加工してください。

ポイント

- 正面部の幕板Aを取りはずす可能性がある場合は、正面部側の幕板を優先に取付けてください。(※1)

ポイント

- 幕板Aの連結は、幕板A取付材 (床板固定用) のある箇所で行ってください。(図15-7参照)
- 幕板Aの切断寸法は、間口方向優先で指示しています。
- 幕板A連結キャップは後から施工する幕板Aに取付けてください。(※2)

- ②正面幕板A取付材 (床板固定用) のフィンに、幕板金具Aをひっかけてから押しつけて取付けてください。

- ③側面幕板A取付材のフィンに、幕板金具Aをひっかけてから押しつけて取付けてください。

15. つづき

(4) 90度コーナー（出隅仕様）の場合

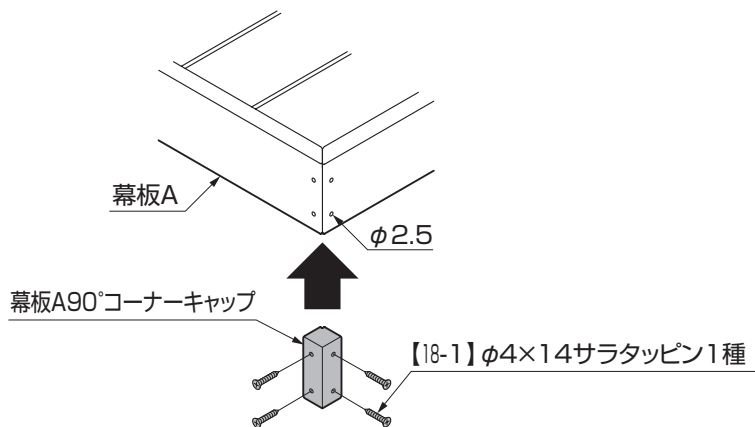


図15-10

- ①幕板A90°コーナーキャップを幕板Aコーナー一部に当てて、幕板Aにφ2.5の下孔をあけてください。
- ②幕板Aコーナーキャップを、【18-1】で取付けてください。

(5) 90度コーナー（入隅仕様）の場合

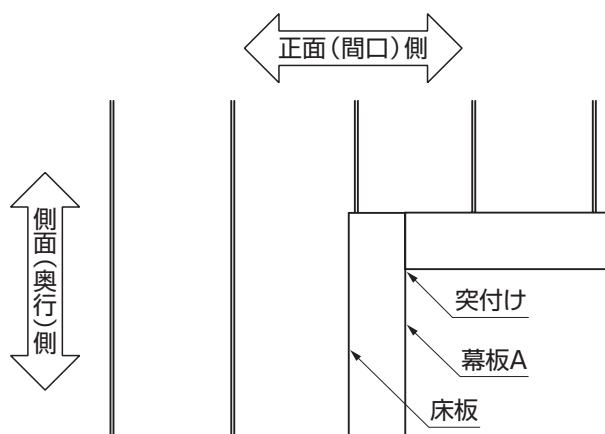


図15-11

- ①入隅コーナーの場合には、奥行側の幕板を床板端部に合わせて切断し、その幕板へ正面側の幕板をつき当てて切断します。
- ②幕板A入隅キャップをコーナー部に当てて位置を確認し、幕板Aにφ2.5の下孔をあけてください。
- ③コーナーキャップを、【18-1】で取付けてください。

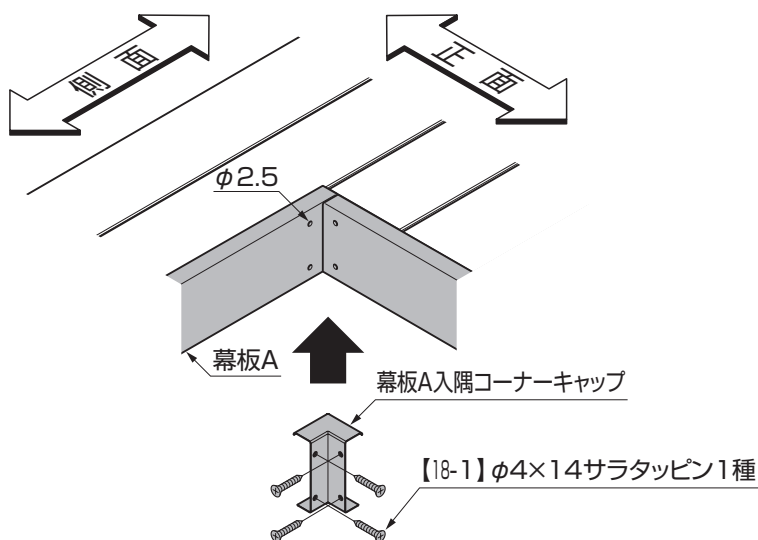


図15-12

15. つづき

(6) フリーコーナー部の場合

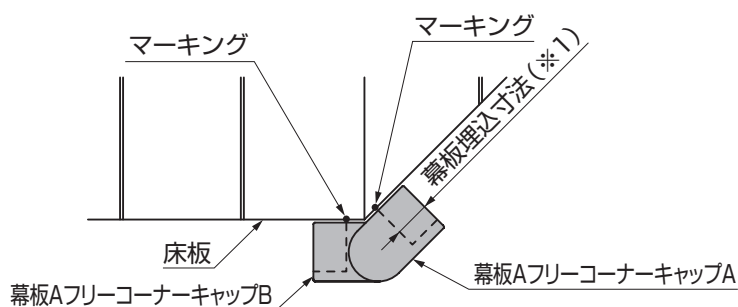


図15-13

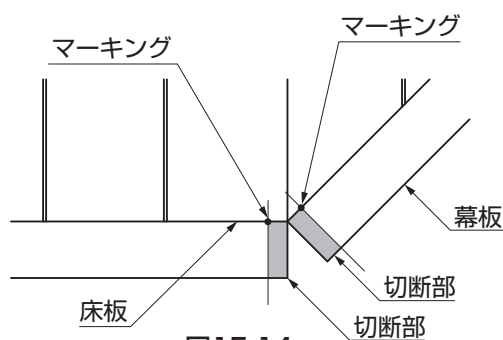


図15-14

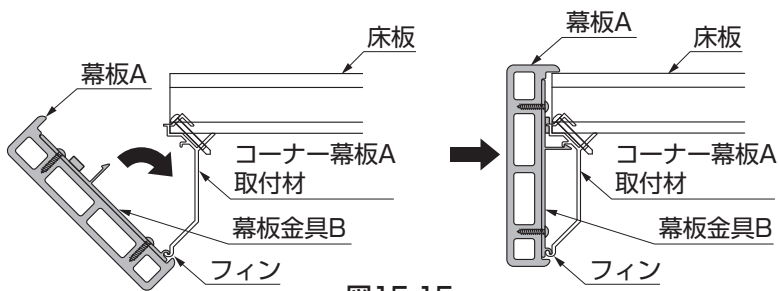


図15-15

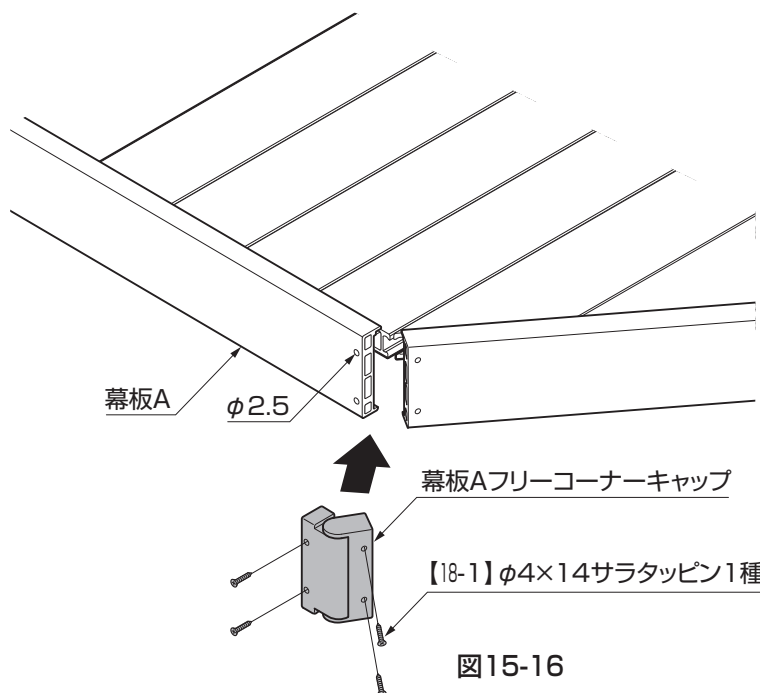


図15-16

ポイント

- 幕板Aフリーコーナーキャップの取付可能角度範囲は、135°～225°です。

補足

- 幕板Aフリーコーナーキャップは分離していますが、幕板に固定した段階で一体になります。

- ①幕板AフリーコーナーキャップAと、幕板AフリーコーナーキャップBを組んで、床板のコーナー部に当ててください。
- ②幕板埋込寸法(※1)を測って、床板にマーキングしてください。
- ③幕板をマーキングした部分で切断してください。
- ④コーナー幕板A取付材のフィンに、幕板金具Bをひっかけてから押しつけて取付けてください。
- ⑤幕板Aをコーナー幕板A取付材に、押し込んで取付けてください。
- ⑥幕板Aフリーコーナーキャップを、幕板Aフリーコーナー部に当てて、幕板Aにφ2.5の下孔をあけてください。
- ⑦幕板Aフリーコーナーキャップを幕板Aに、【18-1】で取付けてください。

15. つづき

15-2 幕板Bの場合

(1) 直線・90度コーナーの場合

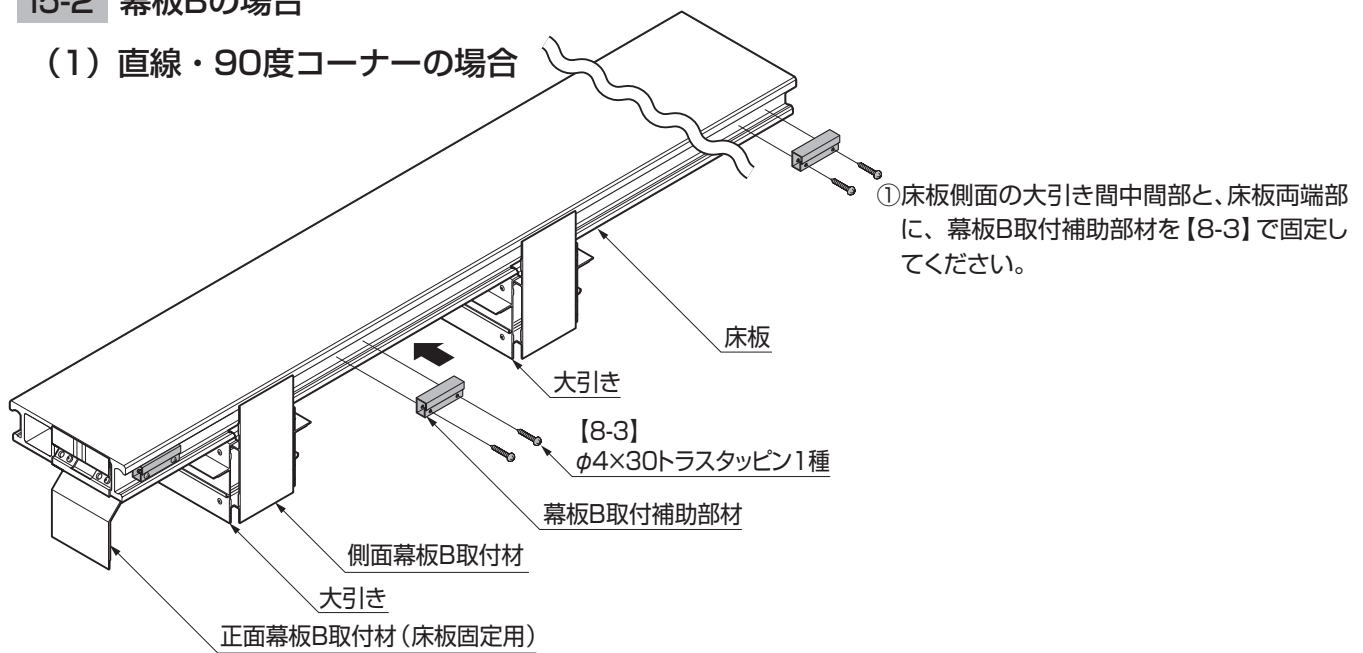


図15-17

①床板側面の太引き間中間部と、床板両端部に、幕板B取付補助部材を【8-3】で固定してください。

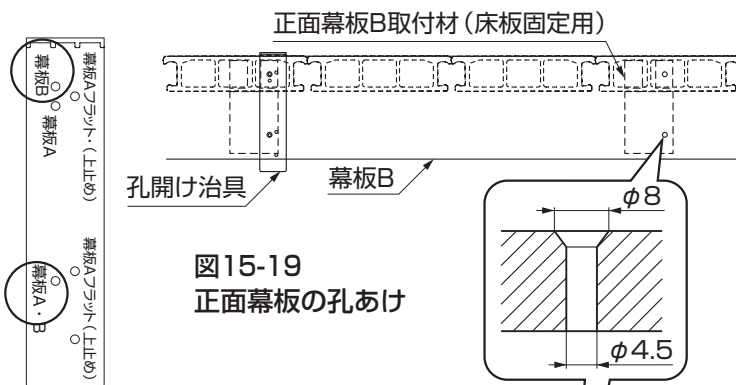


図15-19
正面幕板の孔あけ

ポイント

- デッキ上にフェンスを取付ける場合は、フェンス取付け後に幕板Bを固定してください。
- 孔開け治具の○印の孔を使ってください。(図15-18参照)

図15-18
孔開け治具

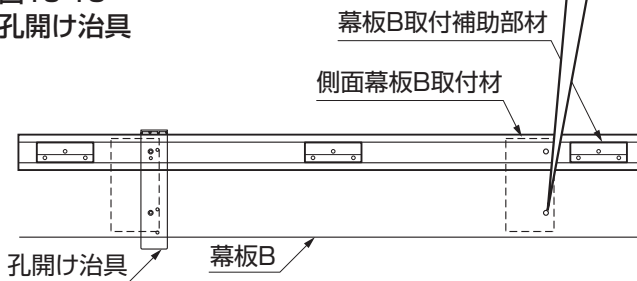


図15-20 側面幕板の孔あけ

②孔開け治具を使って、正面幕板B取付材(床板固定用)が付いている部分に、φ4.5の下孔とφ8サラ取りを幕板Bにしてください。(図15-19参照)

③孔開け治具を使って、側面幕板B取付材と幕板B取付補助部材が付いている部分に、φ4.5の下孔とφ8サラ取りを幕板Bにしてください。(図15-20参照)

15. つづき

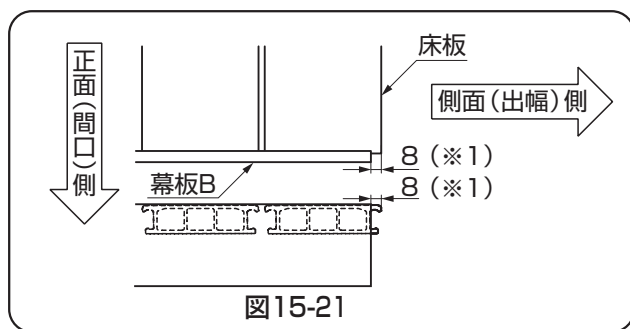


図15-21

ポイント

- 正面側端部の幕板Bは床板から8mm (※1) デッキ内側の納まりになります。(図15-21参照)
また側面側端部の幕板Bは床板と同寸法になります。

- ④正面の幕板Bを、正面幕板B取付材(床板固定用)に【11-1】で固定してください。

ポイント

- 正面の幕板Bは、上下2ヶ所の取付けになります。

- ⑤側面の幕板Bを側面幕板B取付材と幕板B取付補助部材に、【8-1】で固定してください。

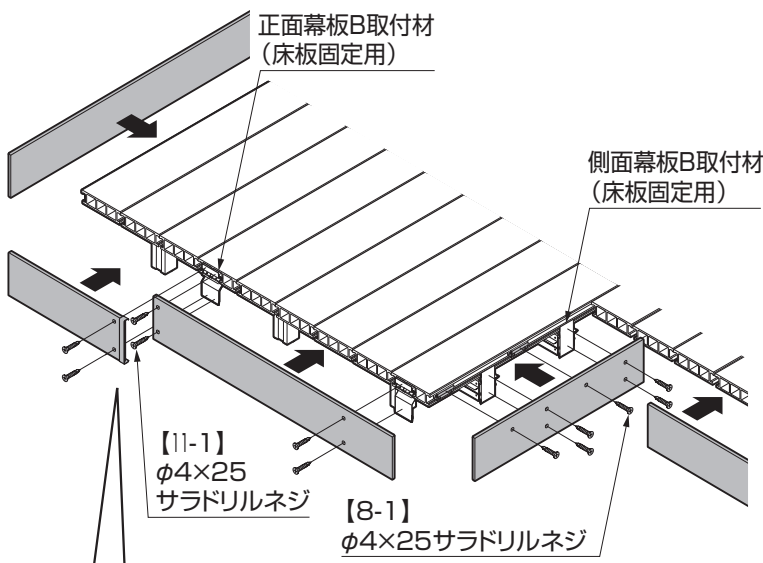


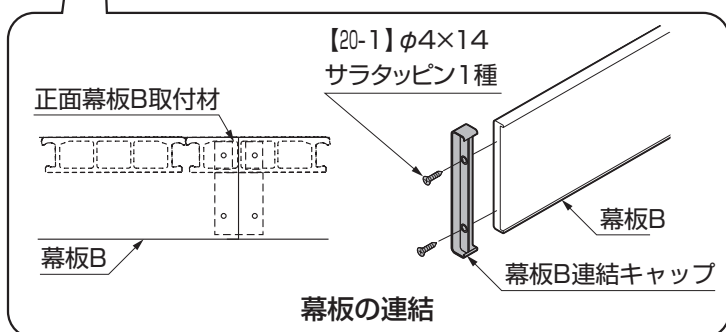
図15-22

ポイント

- 側面の幕板Bは大引きに取付けている側面幕板B取付材へは上下2ヶ所、幕板B取付補助部材へは上1ヶ所の取付けとなります。

ポイント

- 幕板Bの連結は、幕板B取付材(床板固定用)のある箇所で行ってください。(図15-22参照)
- 幕板Bの切断寸法は、間口方向優先で指示しています。



15. つづき

(2) 90度コーナー（出隅仕様）の場合

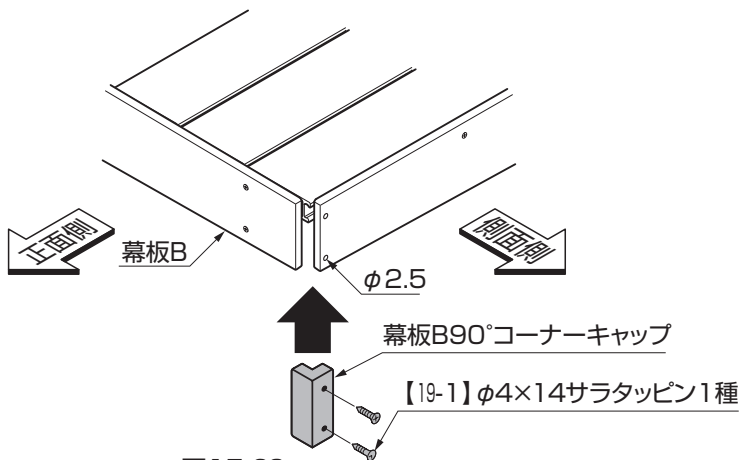


図15-23

- ① 幕板B90°コーナーキャップを幕板Bコーナー部に当てて、デッキ側面側の幕板Bにφ2.5の下孔をあけてください。
- ② 幕板B90°コーナーキャップを幕板Bに【19-1】で取付けてください。

(3) 90度コーナー（入隅仕様）の場合

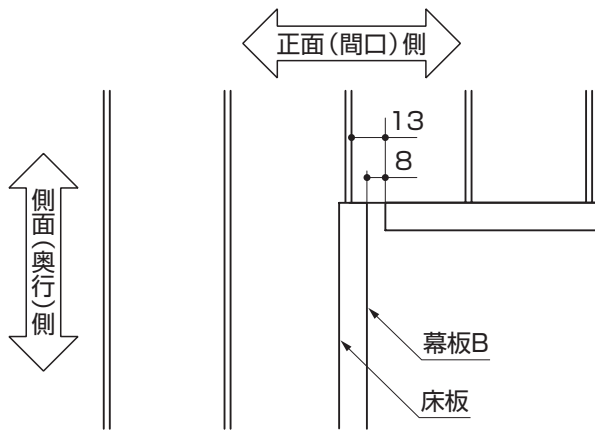


図15-24

- ① 入隅コーナーの場合には、側面側の幕板を床板端部と合わせ、正面側は床板-「13」mmの納まりになります。
- ② 幕板Bの側面に当たる側へ、キャップ内側のくぼみ位置にφ4.5の孔を2ヶ所あけ、その孔に表面からφ8のサラ取り加工をしてください。
- ③ 幕板B入隅キャップを、キャップの上下を確かめてコーナー部に当てて位置を確認し、幕板Bにφ2.5の下孔をあけてください。
- ④ コーナーキャップを、【19-1】で取付けてください。

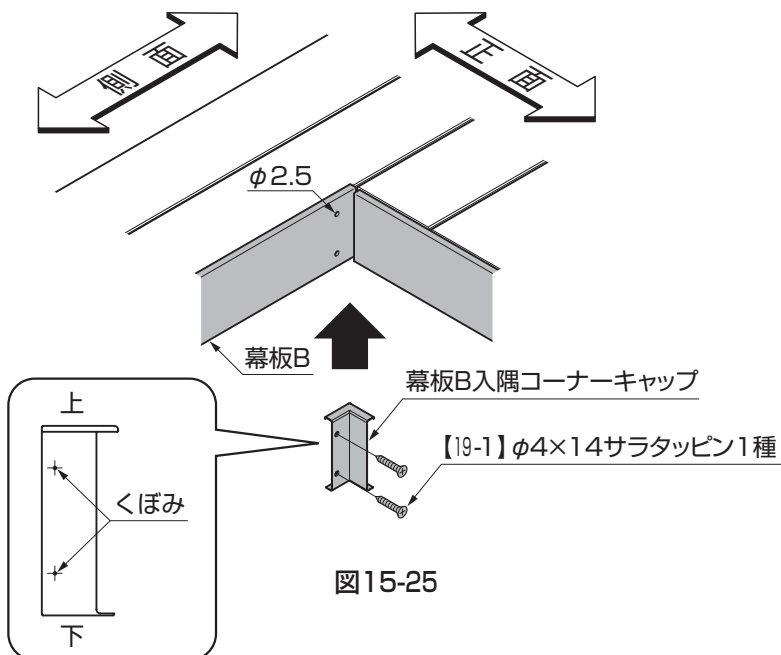


図15-25

15. つづき

(4) フリーコーナー部の場合

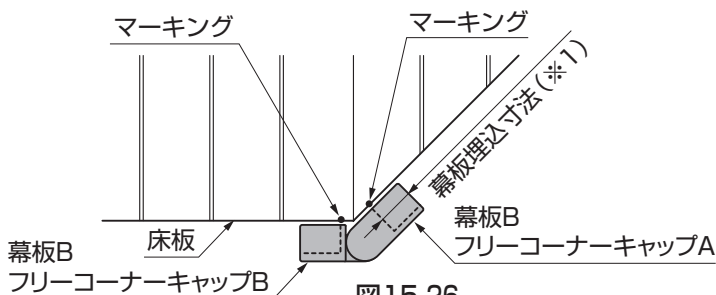


図15-26

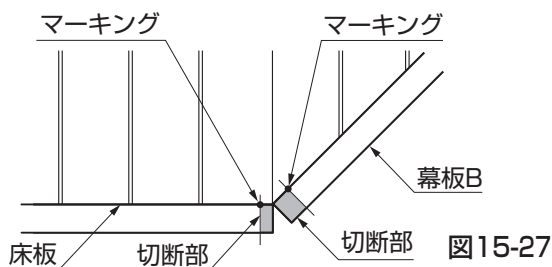


図15-27

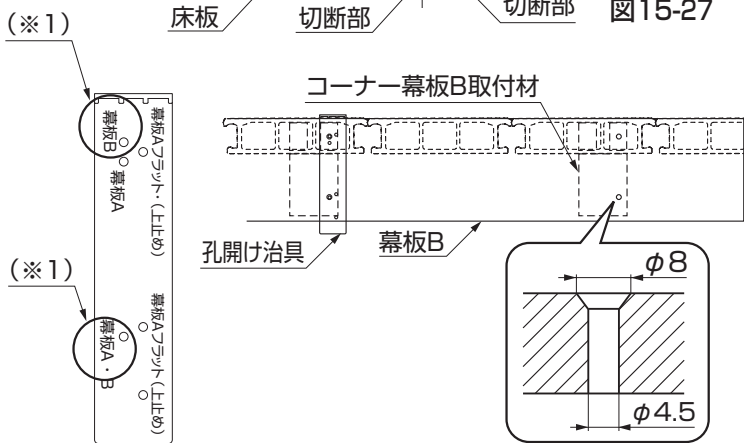


図15-28 孔開け治具

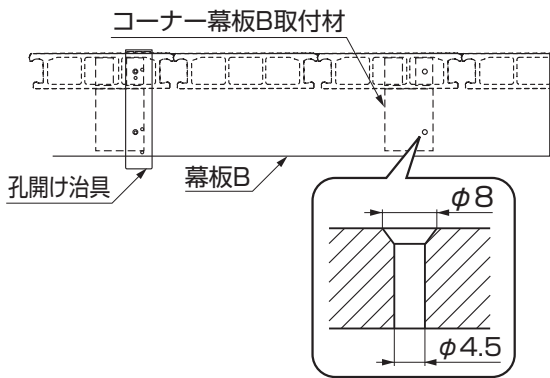


図15-29 幕板の孔あけ

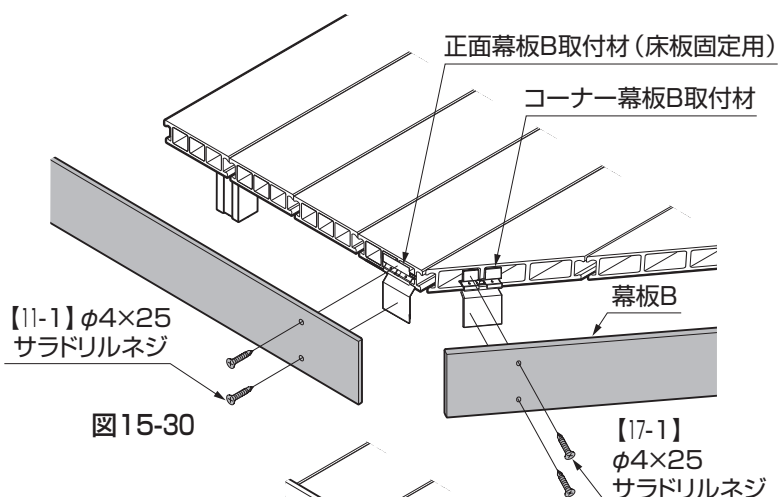


図15-30

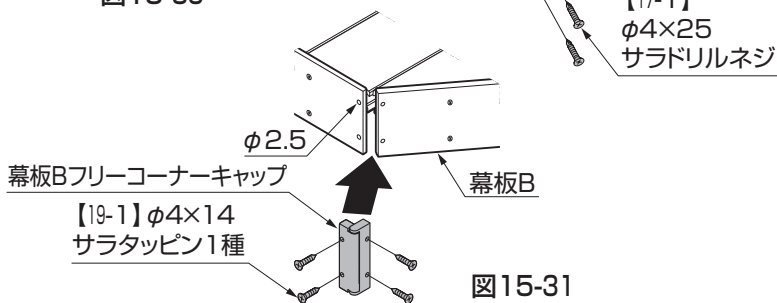


図15-31

ポイント

●幕板Bフリーコーナーキャップの取付可能角度範囲は、135°～225°です。

補足

●幕板Bフリーコーナーキャップは分離していますが、幕板に固定した段階で一体になります。

- ①幕板BフリーコーナーキャップAと幕板BフリーコーナーキャップBを組んで、床板のコーナー部に当ててください。
- ②幕板埋込寸法(※1)を測って、床板にマーキングしてください。
- ③幕板Bをマーキングした部分で切断してください。

ポイント

●孔開け治具の○印(※1)の孔を使ってください。(図15-28参照)

- ④孔開け治具を使って、コーナー幕板B取付材が付いている部分に、 $\phi 4.5$ の下孔と $\phi 8$ のサラ取りを幕板Bにしてください。(図15-29参照)

- ⑤幕板Bを正面幕板B取付材(床板固定用)に、【11-1】で固定してください。

- ⑥幕板Bをコーナー幕板B取付材に、【17-1】で固定してください。

- ⑦幕板Bフリーコーナーキャップを幕板Bフリーコーナー部に当てて、幕板Bに $\phi 2.5$ の下孔をあけてください。

- ⑧幕板Bフリーコーナーキャップを幕板Bに、【19-1】で取付けてください。

15. つづき

(5) R納まりの場合

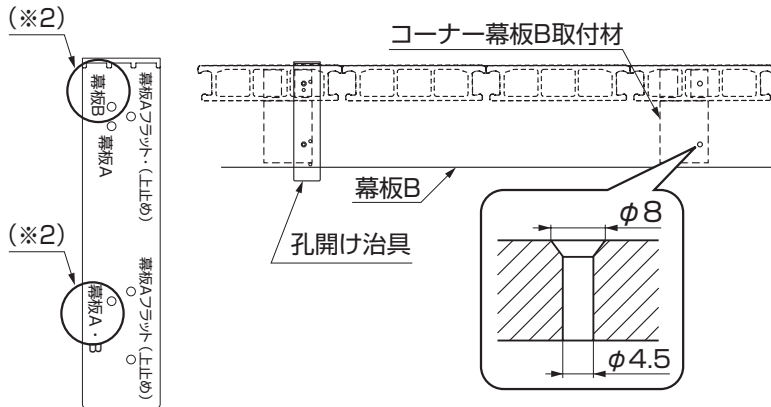


図15-32
孔開け治具

図15-33 幕板の孔あけ

- ①孔開け治具を使って、コーナー幕板B取付材が付いている部分に、φ4.5の下孔とφ8のサラ取りを幕板Bにしてください。(図15-33参照)

ポイント

- 孔開け治具の○印(※2)の孔を使ってください。(図15-32参照)

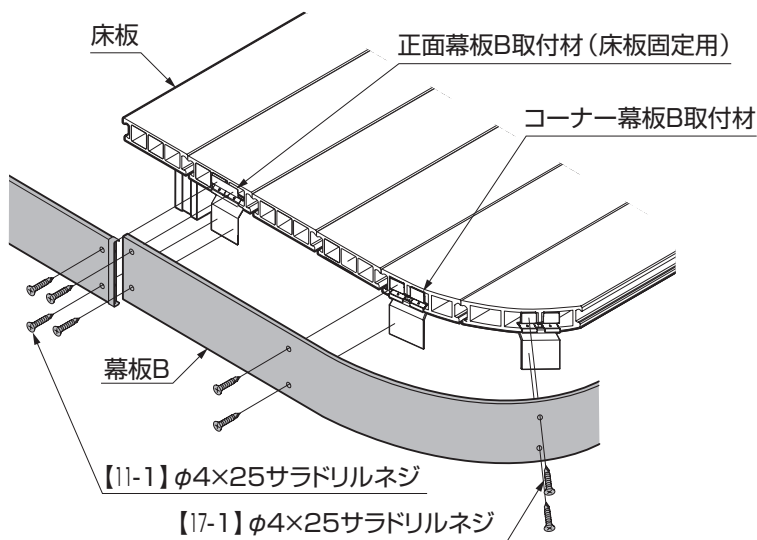


図15-34

- ②幕板Bを正面幕板B取付材(床板固定用)に、【11-1】で固定してください。
- ③コーナー幕板B取付材を、コーナー部の始まりと終わり、その間は1枚おきを目安に取付けてください。
- ④幕板Bをコーナー幕板B取付材に、【17-1】で固定してください。

ポイント

- R納まりの場合は、幕板Bは必ず直線部で連結してください。
- R部分の半径は、800mm以上にしてください。

16.床下化粧材の取付け **オプション**

※床下化粧材を取付ける位置の束柱芯々寸法は900mm以内にしてください。

16-1 床下化粧材の切断

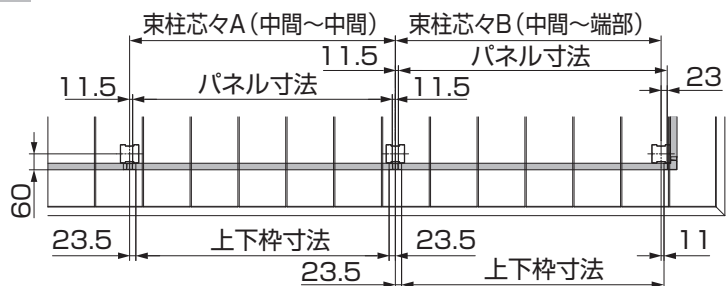


図16-1

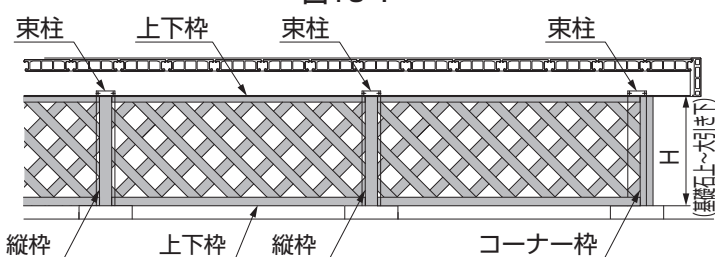


図16-2

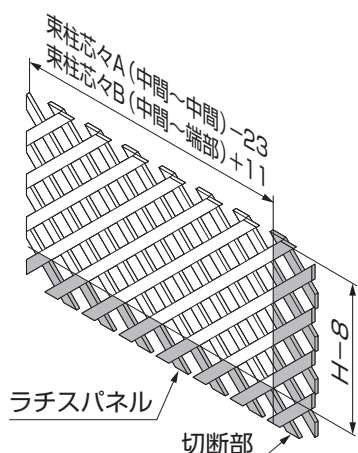


図16-3

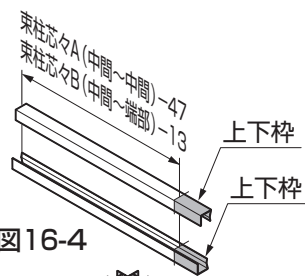


図16-4

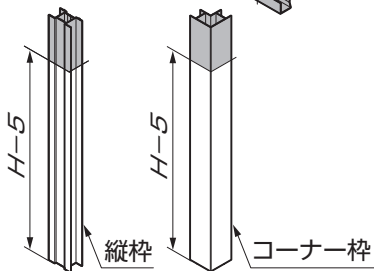


図16-5

- ①束柱芯々A (中間～中間) 寸法を実測して、ラチスパネルを「束柱芯々A (中間～中間) 寸法」-「23」mmの長さに切断してください。
- ②束柱芯々B (中間～端部) 寸法を実測して、ラチスパネルを「束柱芯々B (中間～端部) 寸法」+「11」mmの長さに切断してください。
- ③H寸法を実測してラチスパネルを「H-8」mmの長さに切断してください。
- ④上下枠を「束柱芯々A (中間～中間) 寸法」-「47」mmの長さに切断してください。
- ⑤上下枠を「束柱芯々B (中間～端部) 寸法」-「13」mmの長さに切断してください。
- ⑥縦枠とコーナー枠を「H-5」mmの長さに切断してください。

16-2 縦枠の取付け

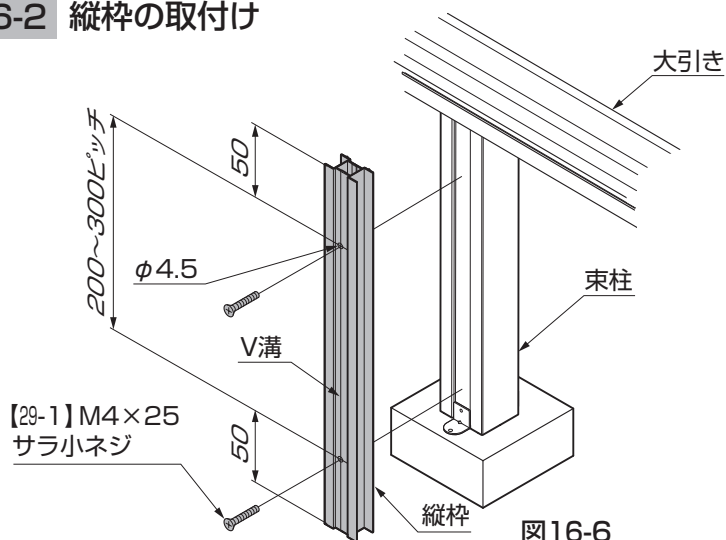


図16-6

ポイント

●縦枠を1ヶ所のみ取付けて、ラチスパネル、上下枠を取付け終えてから次の縦枠、コーナー枠を取付けてください。

- ⑦縦枠の両端から50mmの位置、および200～300mmピッチにV溝にあわせて、φ4.5の孔をあけてください。
- ⑧中間にある束柱の中心に縦枠を、【29-1】で固定してください。

16.つづき

16-3 ラチスパネル、上下枠の取付け

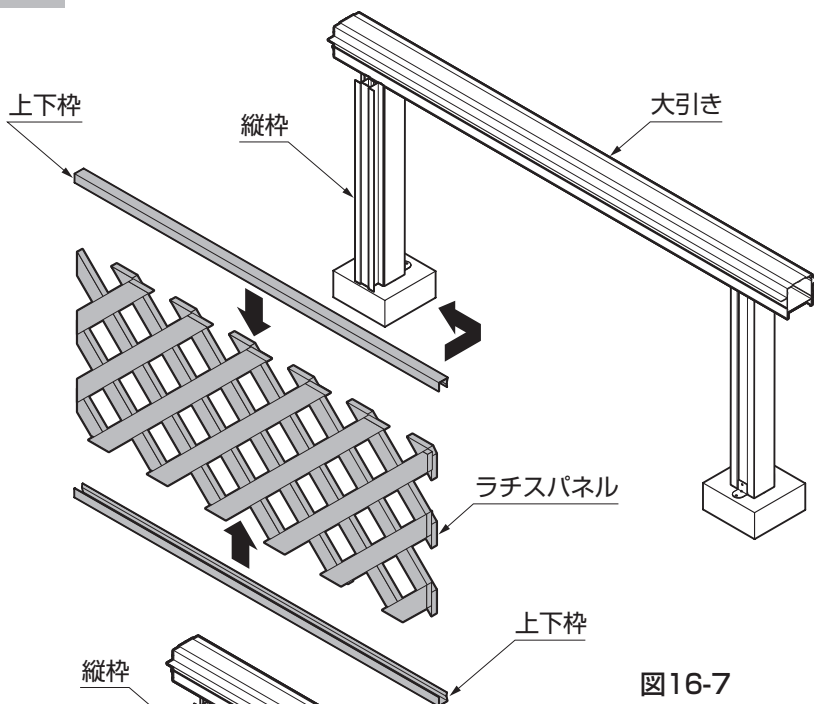


図16-7

- ①ラチスパネルに上下枠を取付けてください。
- ②縦枠にラチスパネルを差し込んで取付けてください。

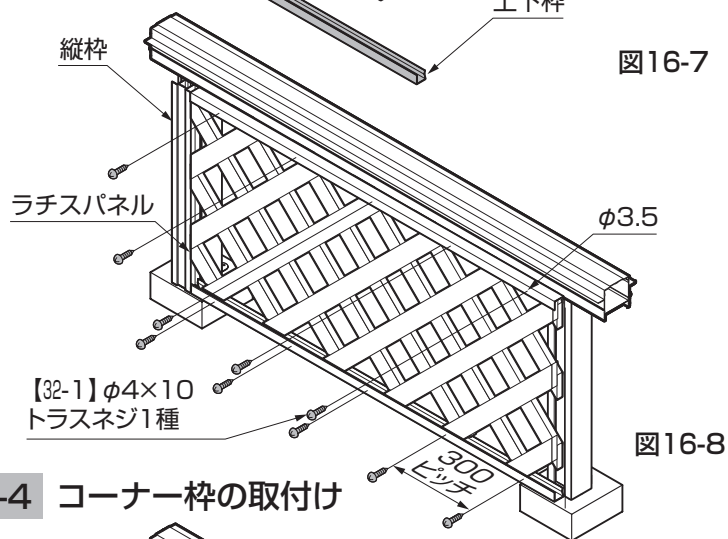


図16-8

- ③上下枠に約300mmピッチで、φ3.5の下孔をあけてください。
- ④ラチスパネルと上下枠を、【32-1】で固定してください。

16-4 コーナー枠の取付け

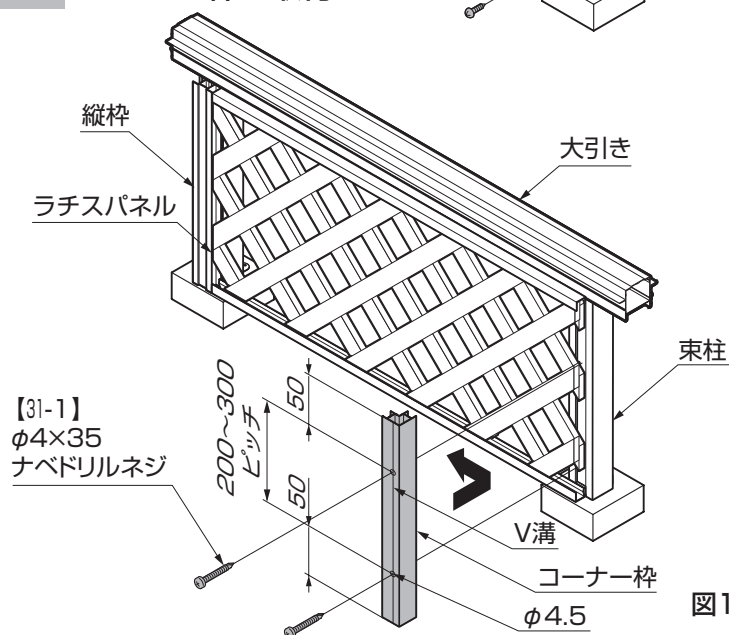


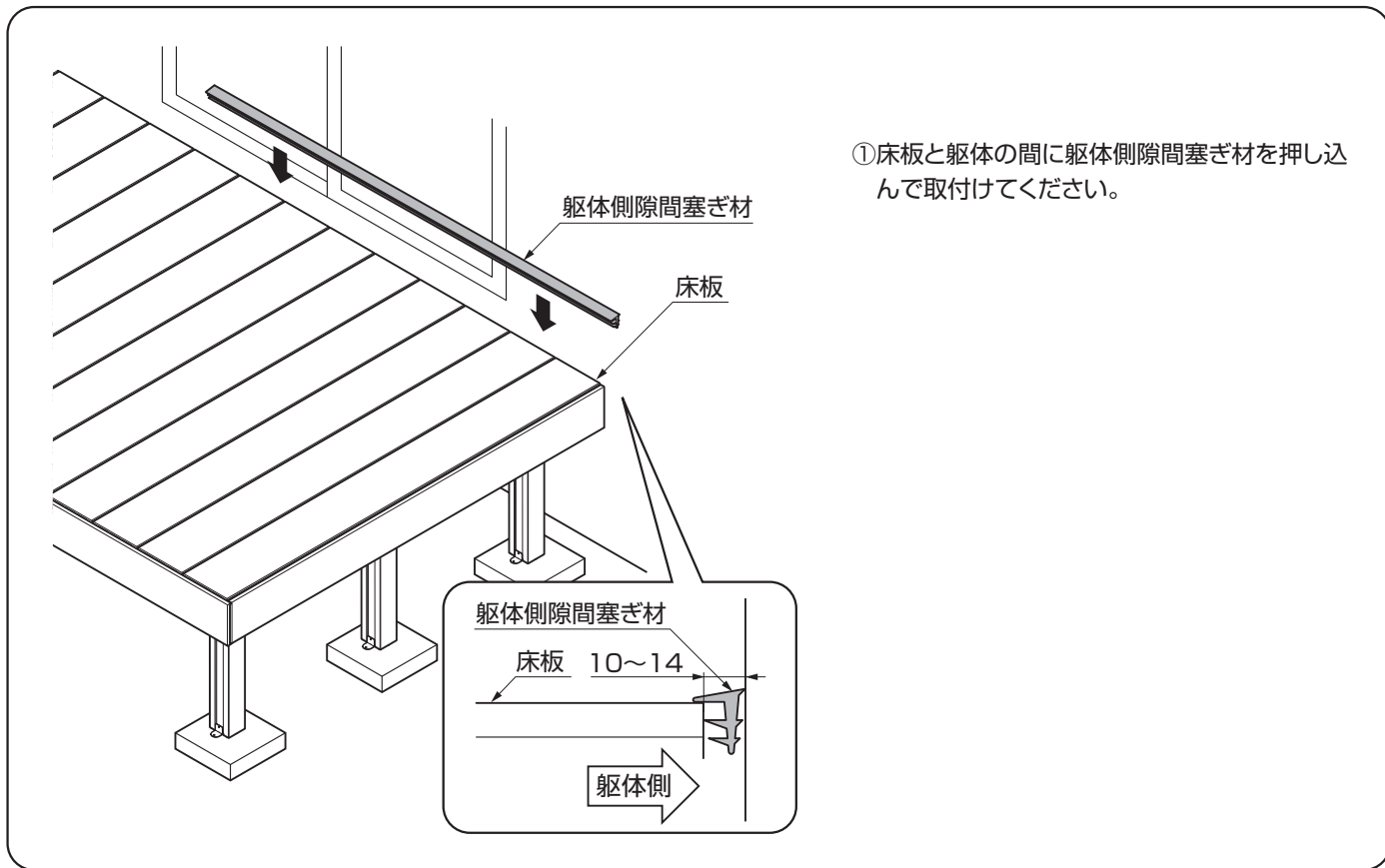
図16-9

ポイント

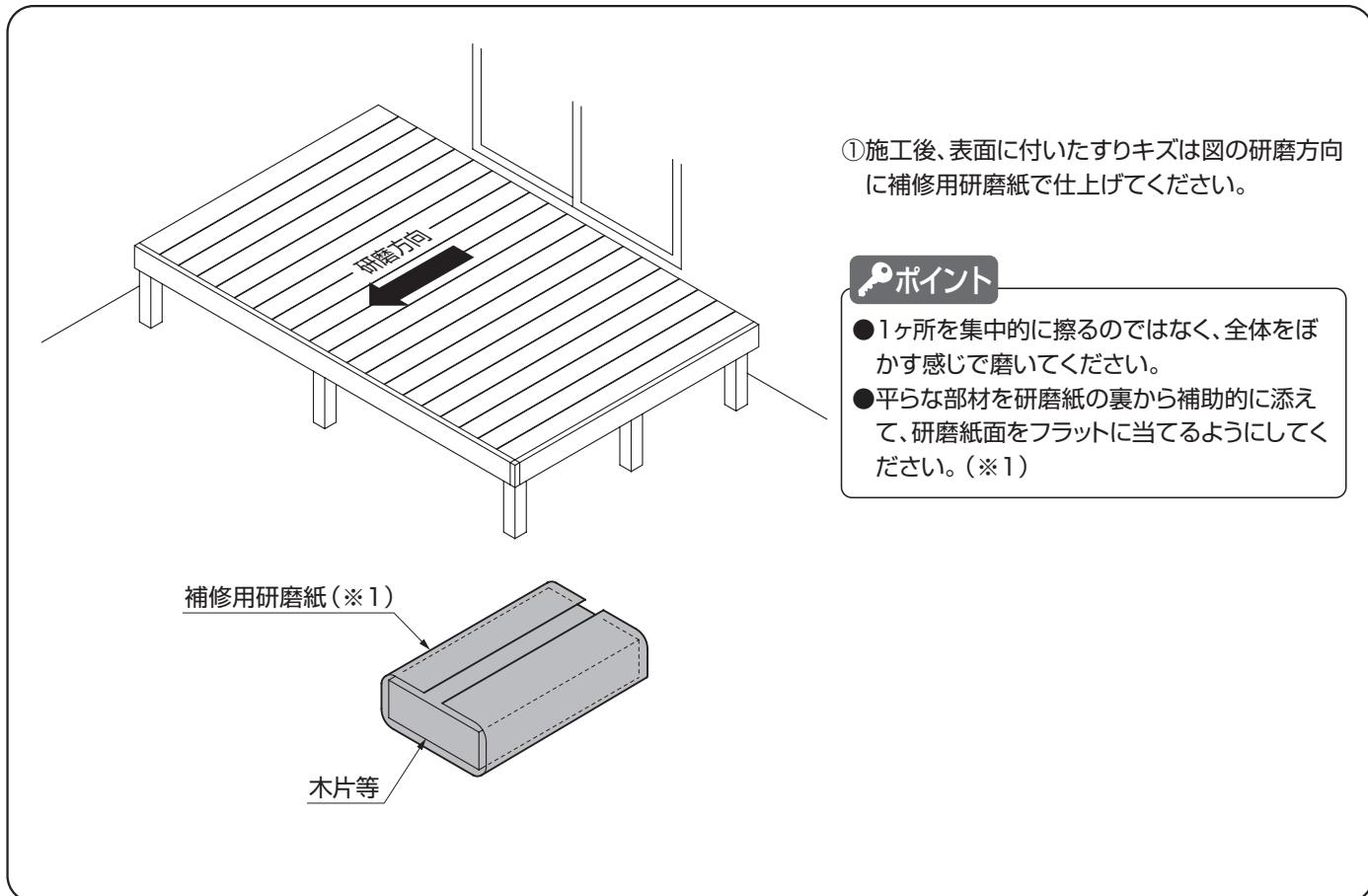
●縦枠を1ヶ所のみ取付けて、ラチスパネル、上下枠を取付け終えてから次の縦枠、コーナー枠を取付けてください。

- ⑤コーナー枠の両端から50mmの位置、および200~300mmピッチにV溝にあわせて、φ4.5の孔をあけてください。
- ⑥ラチスパネルにコーナー枠を差し込んで取付けてください。
- ⑦端部にある束柱とコーナー枠を、【31-1】で固定してください。

17. 躯体側隙間塞ぎ材の取付け **オプション**



18. 施工後の仕上げ



19. 横止め金具の付け替え オプション

※床板を全面施工後に横止め金具を大引きに改めて固定するための作業です。

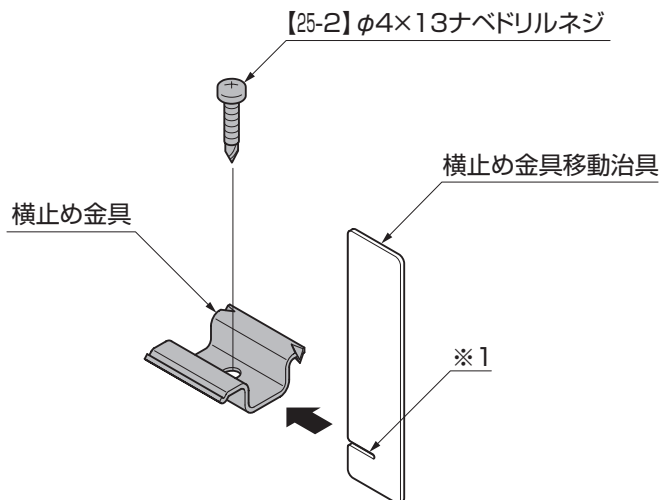


図19-1

- ①横止め金具の孔に【25-2】を入れてから、横止め金具移動治具の溝(※1)に横止め金具を差込んでください。

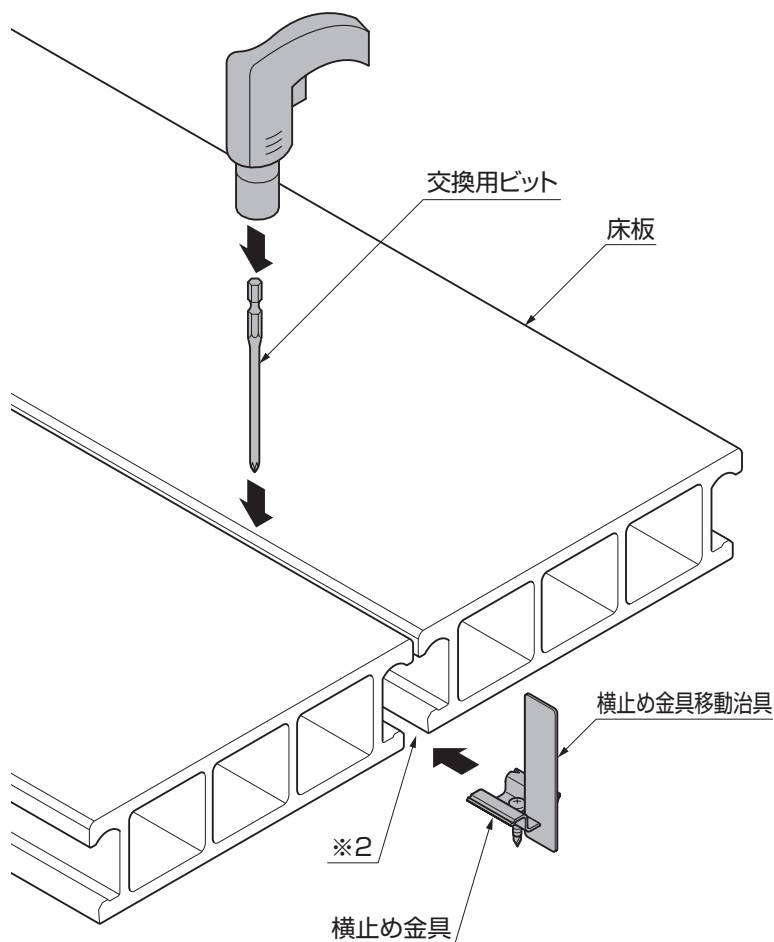
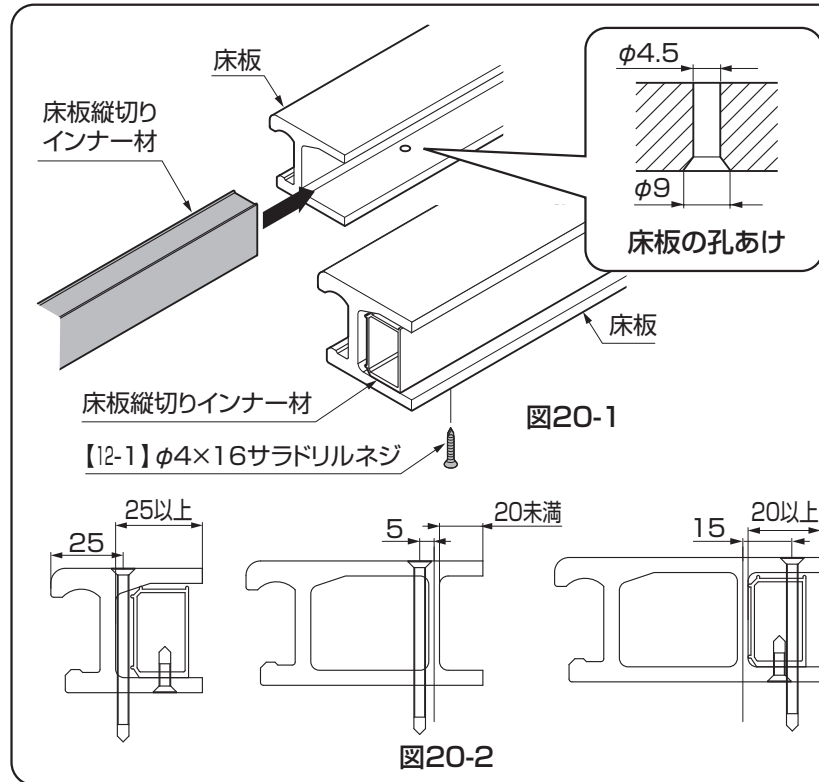


図19-2

- ②デッキ前面の目地の隙間(※2)から横止め金具を入れてください。

- ③交換用ビットを目地上部から差込み、横止め金具を固定してください。

20. 床板縦切りインナー材の固定 **オプション**



ポイント

●幅調整の為の床板の縦切りや45°以上のカットが必要になった場合には、必ずこの作業を行ってください。

- ①床板縦切りインナー材を必要な長さに切断してください。
- ②床板の床板縦切りインナー材を固定する位置にφ4.5下孔とφ9サラ取りをしてください。
- ③床板縦切りインナー材を【12-1】で固定してください。

ポイント

- 床板端部を残した切断の場合は、リブからの持ち出しが25mm以上の場合にインナー材を使用してください。
- 床板端部以外の切断の場合は、リブからの持ち出しが20mm以上の場合にインナー材を使用してください。

